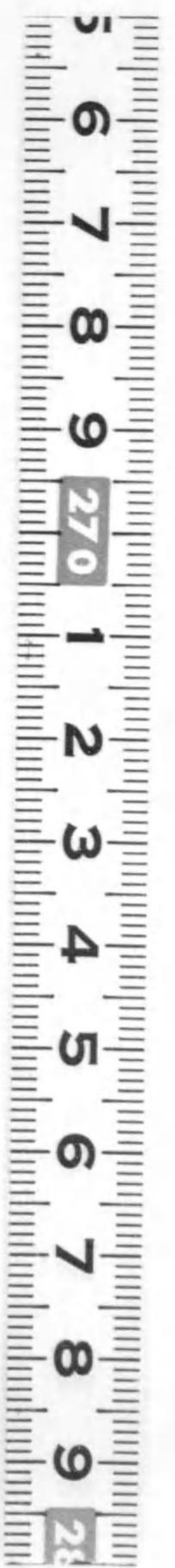


325
425



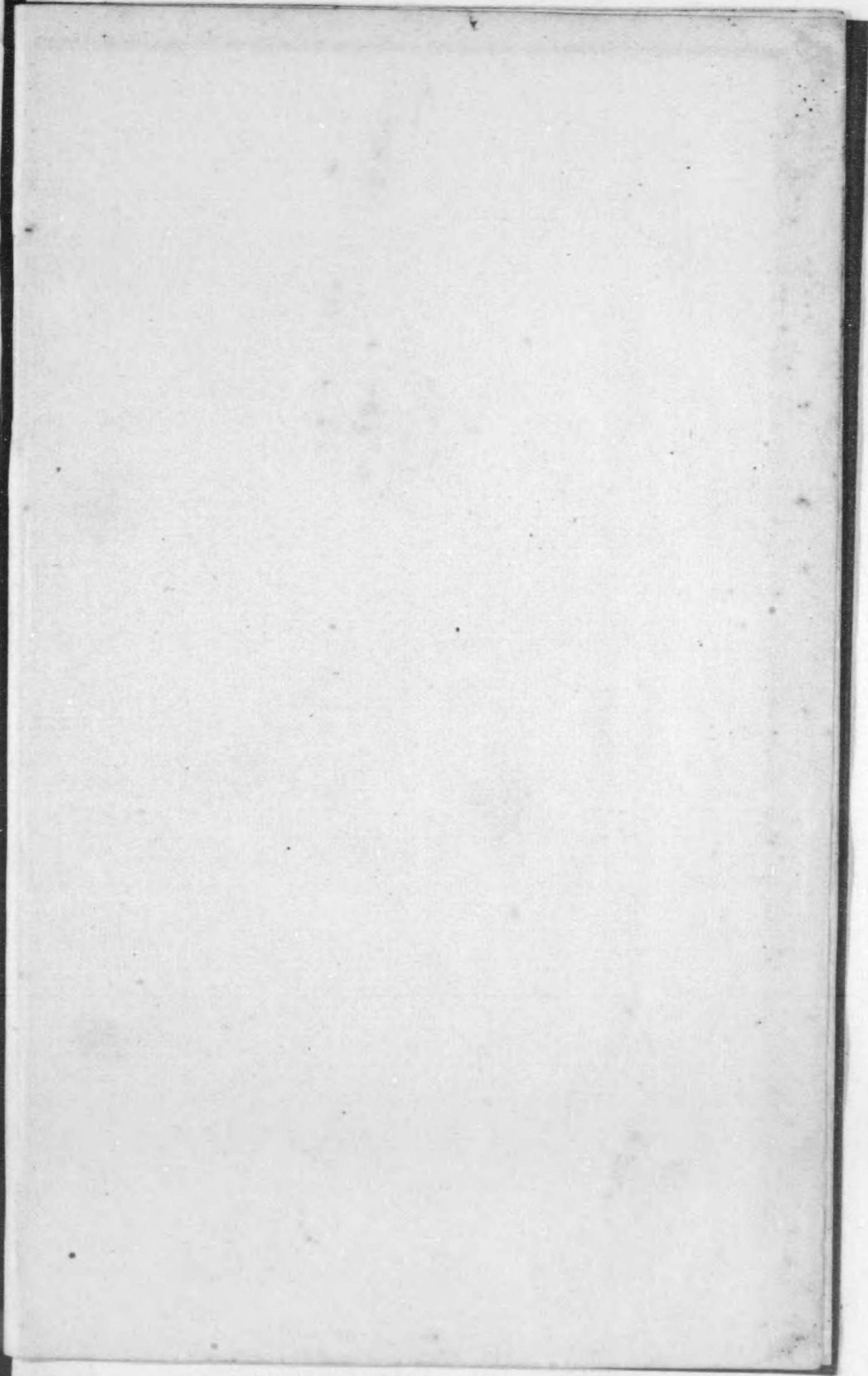
始



15. 2. 10

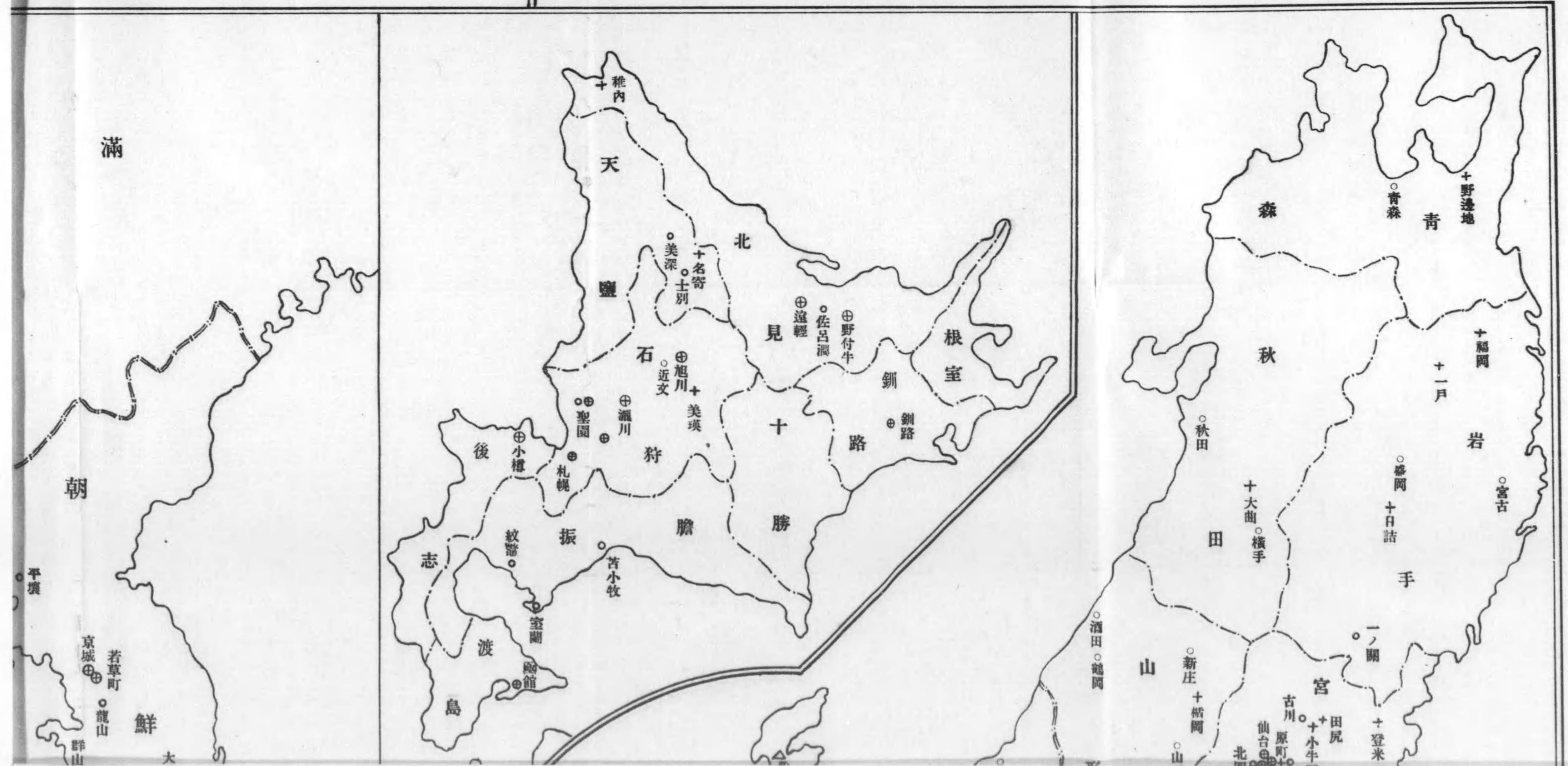
大正
十四年

日本基督教會年鑑



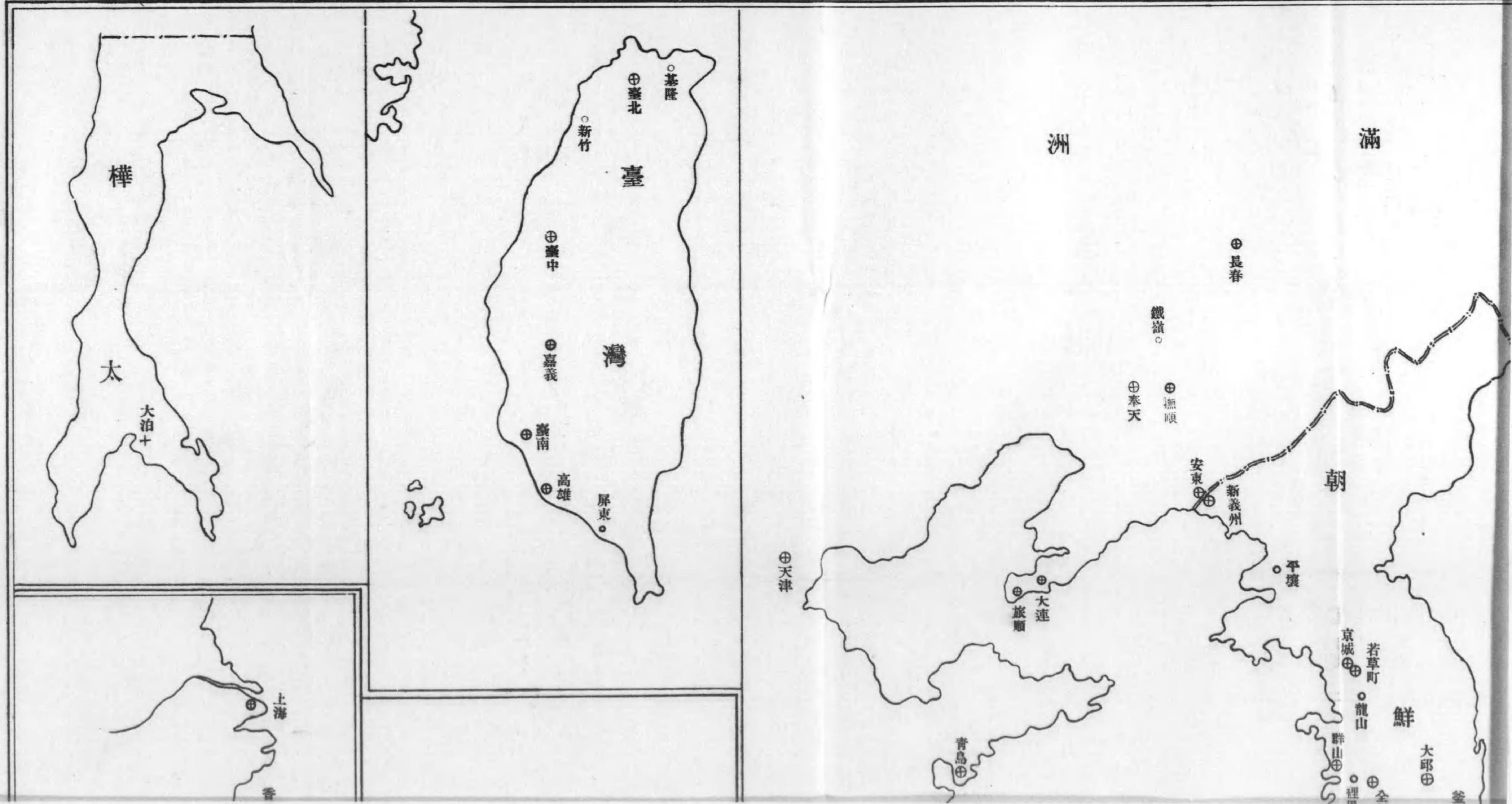
日 本 基 督 教 會

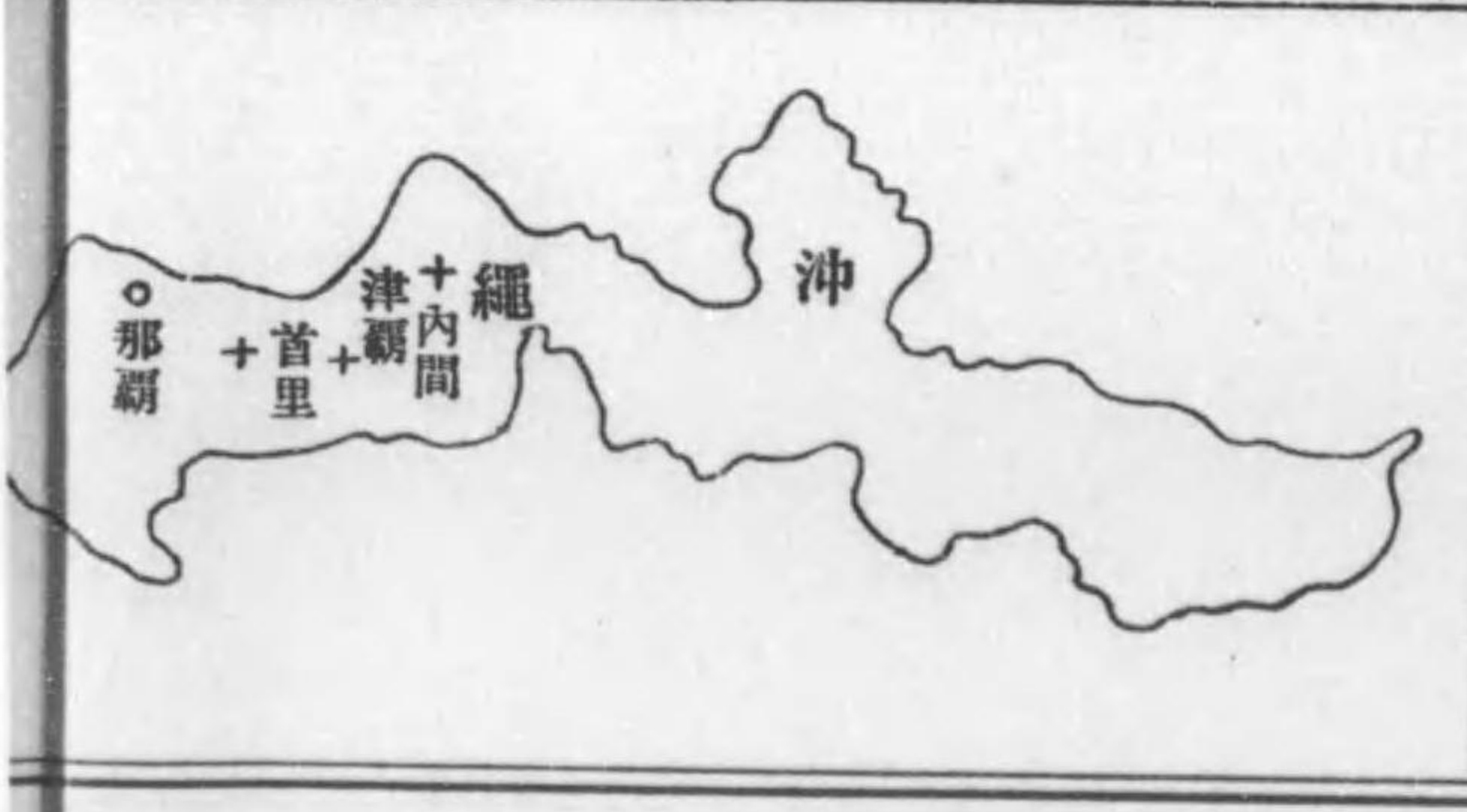
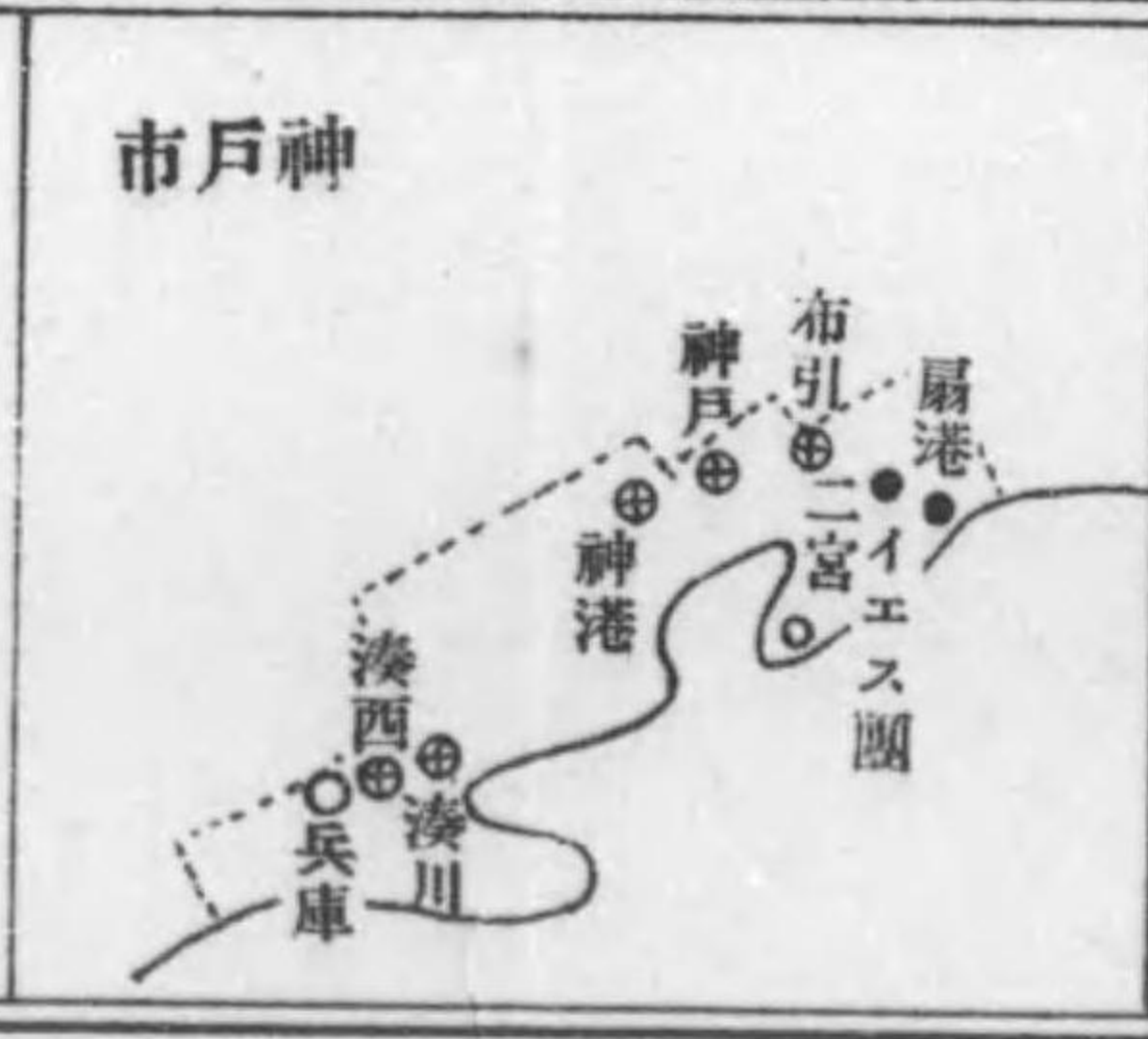
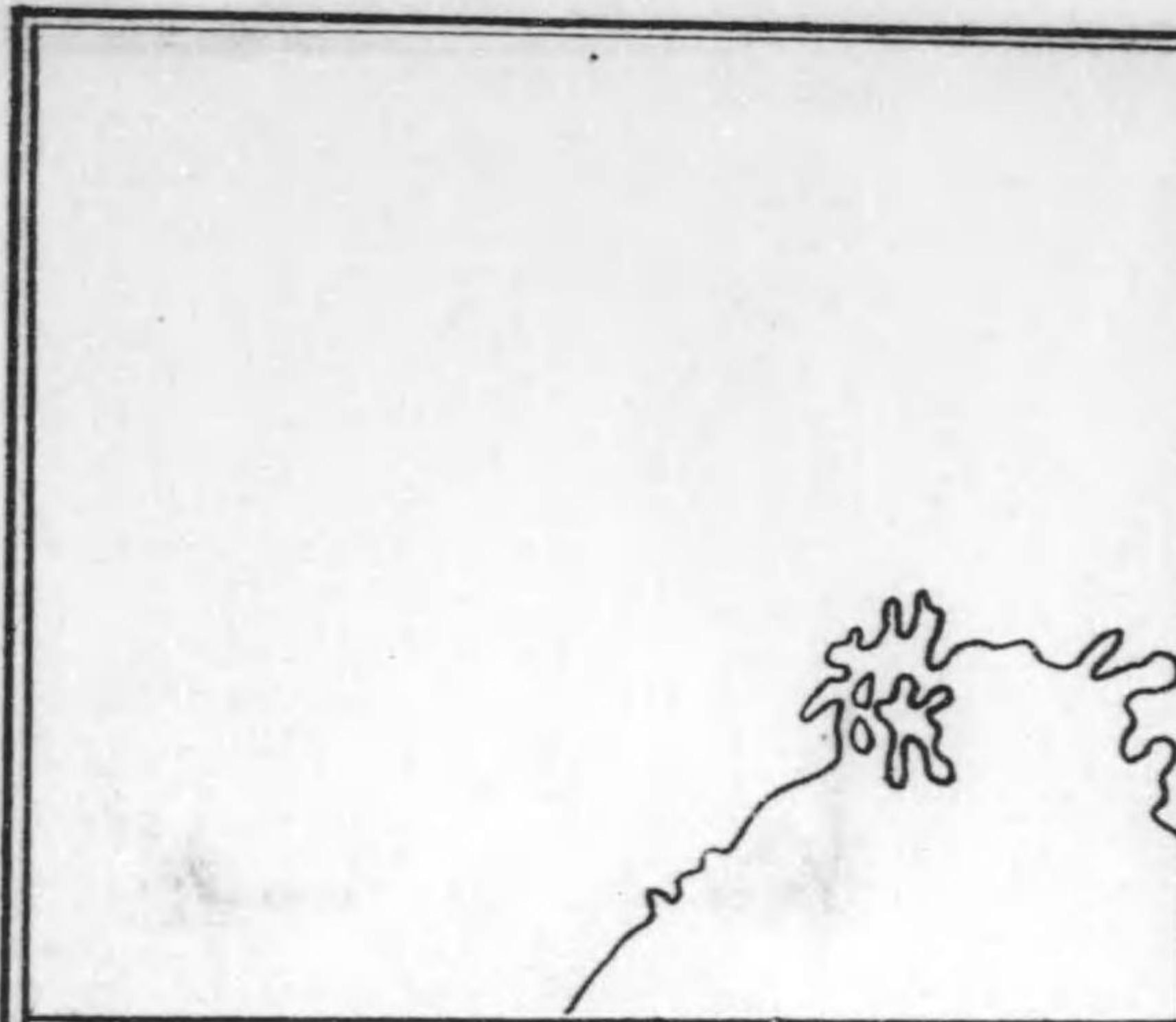
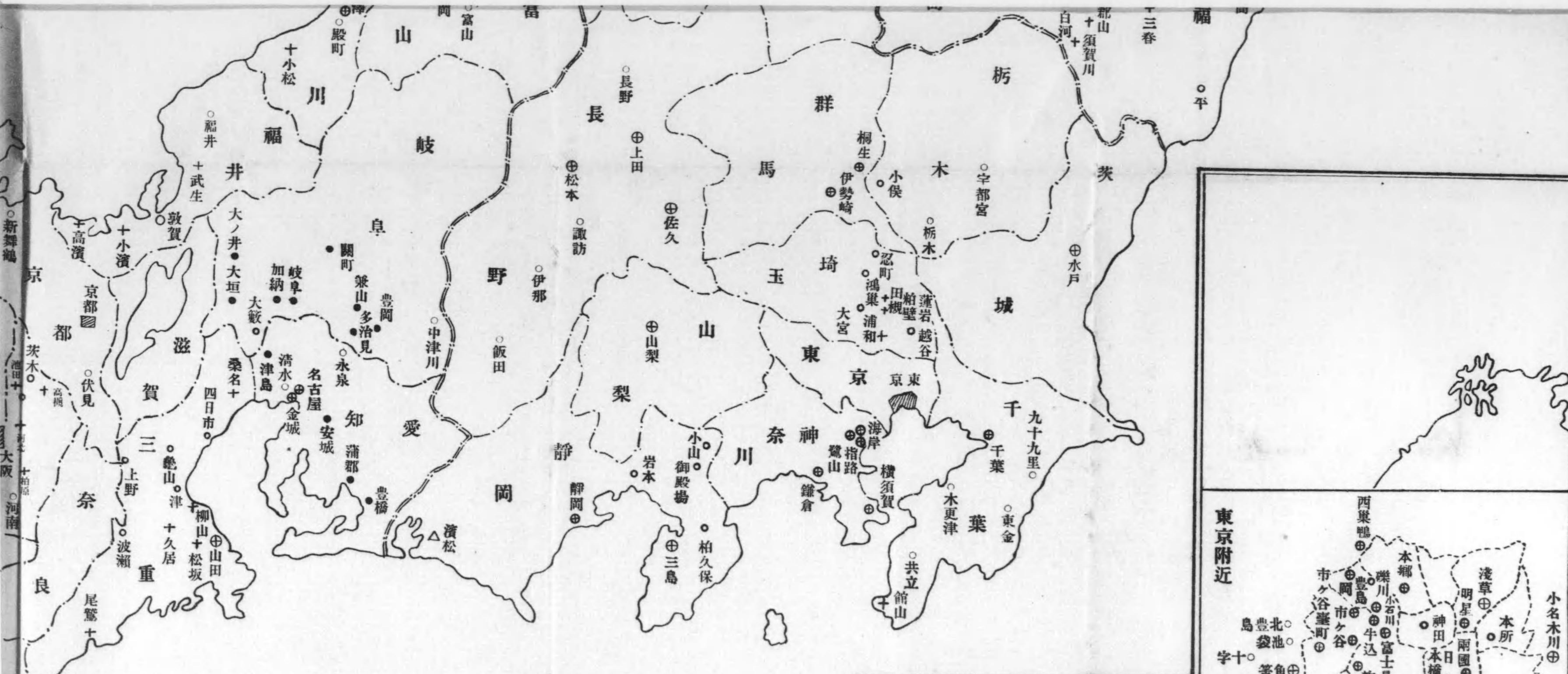
大 正 十 四 年 八 月 調 查

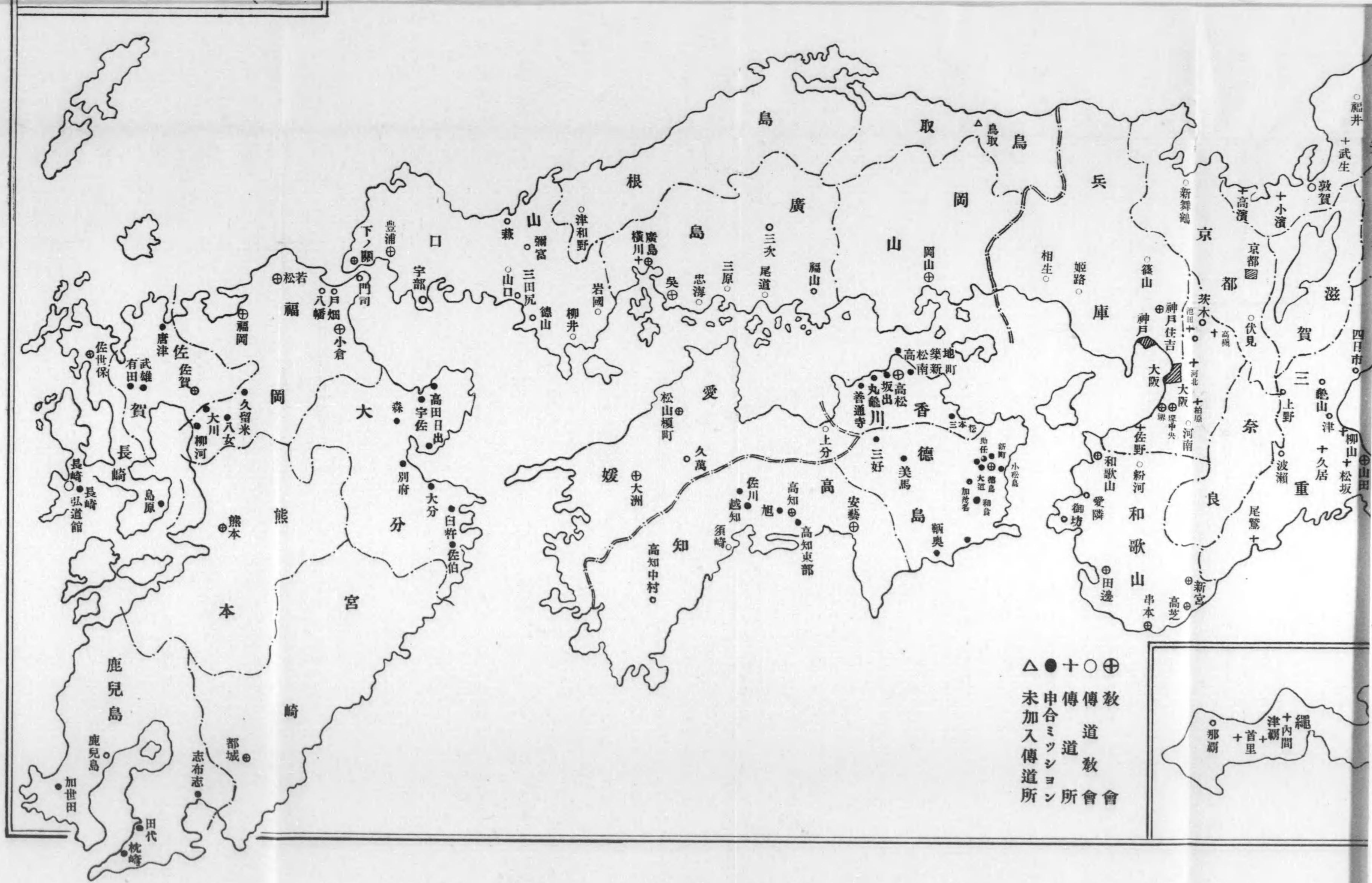


基督教會地圖

正十四年八月調查

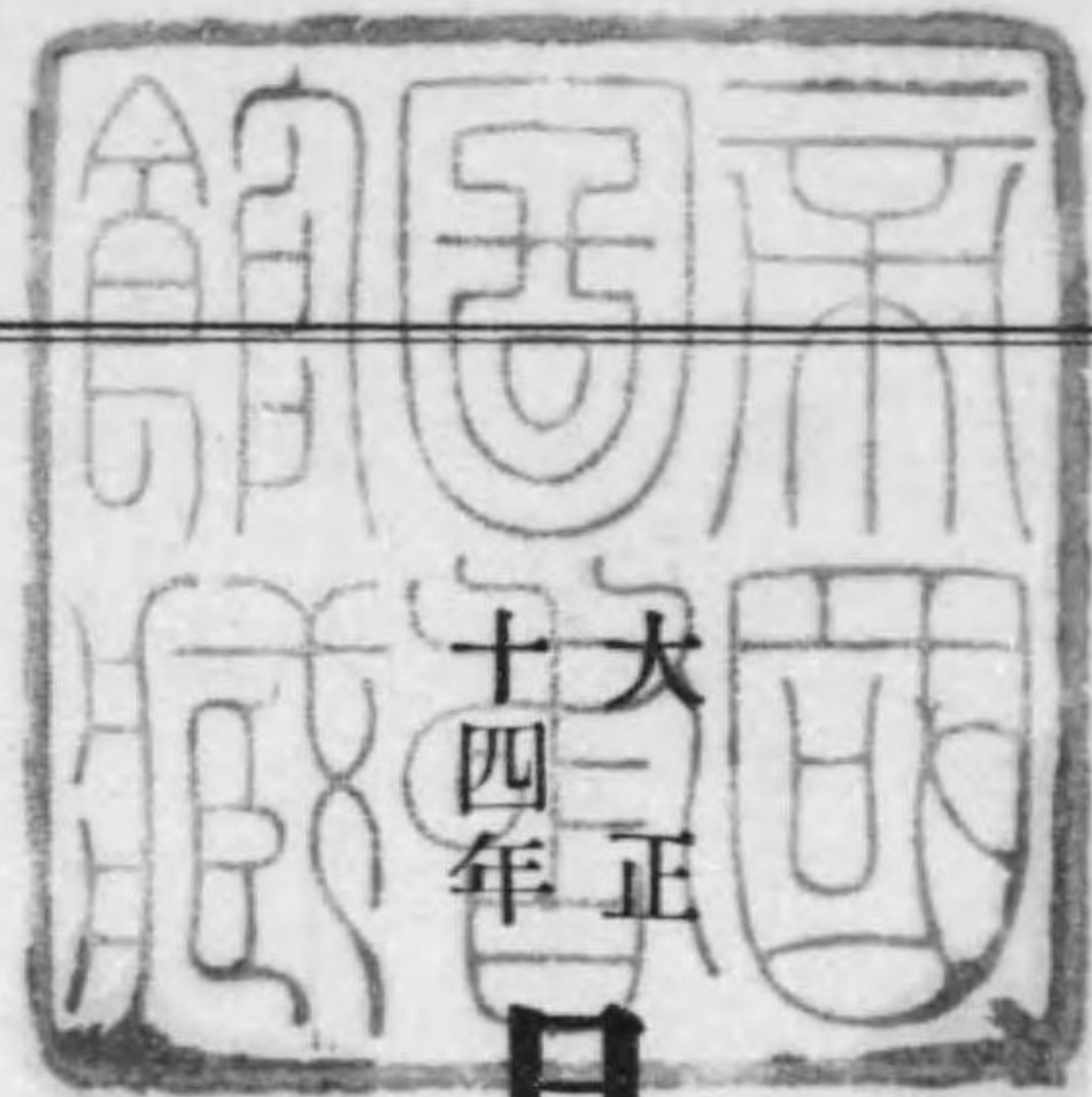






△ ● ⊕ ⊙
 未加入傳道所
 申合ミツション
 傳道所
 教會





大正十四年

日本基督教會年鑑

日本基督教會大會事務所

大正
14. 10. 3.
寄贈

〃 會 寄贈本



目次

第一 日本基督教會畧史…………… 一頁

第二 大會及中會役員…………… 三三

第三 各教會、牧師、神學教師及教師試補、日曜學校長、役員…………… 三六

第四 關係諸ミッション宣教師…………… 一九

第五 大正十三年度統計表…………… 二六

第六 日本基督教會關係教育事業…………… 五二

第七 日本基督教會關係社會事業…………… 五七

第八 日本基督教會關係新聞雜誌…………… 五七



日本基督教會手鑑



目次

第一章 日本基督教の歴史

第二章 日本基督教の発展

第三章 日本基督教の普及

第四章 日本基督教の組織

第五章 日本基督教の活動

第六章 日本基督教の地位

第七章 日本基督教の将来

第八章 日本基督教の意義

第一 日本基督教會略史

第一節 緒言



世界の大勢氣運の進歩は端なくも我が日本鎖國の關門を打破し、さしも峻嚴なりし徳川幕府の切支丹に對する禁制の法網も何時しか破綻を生じ、開國と前後して、舊き切支丹の復活を促し、新しき基督教の傳來を見るに至りぬ。嘉永六年北米合衆國水師提督ペルリの來朝以來開國の機漸く熟し、安政五年七月日米通商條約を結ぶに當り、米國全權公使タウンセントハリスの強硬なる談判に因り、幕府は我國に在留する外國人に對して切支丹禁制を解くに至れり。日本國米利堅合衆國通商條約第六條に曰く、

日本にある亞米利加人、自ら其國の宗法を念じ、禮拜堂を居留地の内に置くも障りなく、並に其建物を破壊し亞米利加人宗法を自ら念ずるを妨ぐるることなし、亞米利加人日本人の堂宮を毀傷することなく、又決して日本神佛の禮拜を妨げ、神體佛像を毀つ事あるべからず。双方の人民、互に宗旨に付きての爭議ある可からず日本長崎に於て踏繪の仕來りは既に廢せり。

此の條約により外國人には日本國內に於て宗教の自由を許されしも、内國人は勿論其恩恵に浴する能はず、依然として切支丹禁制の下に束縛されしなり。又幕府時代に切支丹教徒檢舉の方法として強行し來りし有名なる踏繪の仕來りの廢棄されしは、日本條約締結の前年即

ち安政四年阿蘭陀の全權公使ドンカル、コルテアスと日本長崎奉行との間に取換はされし覺書により。其布令の文に曰く、

踏繪は向後相廢すと雖も、キリスト教法を傳へ、キリスト宗門其他外國宗門の書籍、畫並びに像を日本へ輸入する儀不相成事。

安政四年丁巳八月

長崎奉行

當時阿蘭陀全權公使は頻りに切支丹禁制の解除を幕府に迫りしも我が全權は頑として應ぜず、若し阿片と基督教との二大害物の輸入を防止することを得ば容易に外國人に交易を許すべしと語りしとぞ。然るに幕府全權の此の言葉を傳聞したる新教の宣教師にして當時偶々長崎に來合せ居たるエス、ウエルス、ウイリアムス（支那在留の學士）イ、ダブルユ、サイル、（上海水兵館の牧師）ヘンリー、ウイード（米國軍艦ミネソタ號の牧師）等は阿片と基督教とを同一の有害物と誤解する所の日本人に對し一日も速に眞正の基督教を傳へてその謬見を正さざるべからずと感じ、三人協議の上、各々其所屬の傳道局に飛檄して宣教師の派遣を促し、尋いで新教宣教師の渡來を見るに至りぬ。

第二節 最初の宣教師

日米條約既に成り尋いで英、蘭、佛、露の諸國と條約を結び、神奈川、函館、長崎、新潟の四港を開くや、新教各派の基督教宣教師は相踵いで日本に渡來せり。安政六年即ち西曆一八五九年より文久三年即ち一八六三年に至る五ヶ年間に來朝せし宣教師を列擧すれば先づ新

教の宣教師にして最初に渡來せしものをジョン、リッギンス及びチャニンング、ムーア、ウイリヤムとす。彼等は米國プロテスタント、エビスコパル教會より派遣されし宣教師にして、始め支那に傳道し居りしが、日本の開港條約成るや、直に日本に移されし者にして、リッギンスは一八五九年の五月（安政六年）長崎に來り、數句を経て後ウイリアムスも亦來る。同年十月十八日米國プレスビテリアン教會のゼー、シー、ヘボン夫婦神奈川に着任し、同年十一月一日米國ダッチ、レホルム教會のエス、アール、ブラオン及びデー、ビー、シモンズの二人亦神奈川に來る。而して同教會のギトウ、フルベツキは少し遅れ同年十一月七日を以て長崎に來着し、翌一八六〇年（萬延元年）に至り米國バプチスト、フリー、ミッシェン、サイチーのゴブル夫妻神奈川に來る。これらはいちはやく最初日本傳道に着手せし米國基督教四大教派の代表者なり、尋いでダッチレホルムズのゼームス、バラ夫妻は一八六一年（文久元年）十一月を以てプレスビテリアン教會のデビット、タムソンは一八六三年（文久三年）を以て神奈川に到着し各々その所屬教會の宣教師に合しぬ。

第三節 日本人の宣教師に對する待遇

基督教嚴禁の日本に渡來せし最初の宣教師等が如何なる待遇を受けしやは、問はずして明なり、彼等は徳川幕府より注意人物として取扱はれ、その一舉一動は常に嚴密なる當局者の監視の下にありて、自由に日本人民と交際する能はざるのみならず、語學教師を招聘する事さへ頗る困難を感じたり。偶々其招聘に應じて來るものあれば豈圖哉彼等は其筋の内命を受

けたる政府の探偵にして宣教師の舉動を探り、邪宗門の秘密を摘發せんが爲ならんとは、されど宣教師は毫も意に介せず、彼等に就て日本語を研究し來りしが談偶々聖書翻譯の事に及べば、彼等は覺わす兩手を頸に當て、これ生命にかゝはる大罪なりと叫び皆戰慄して逃げ去りしと云ふ。普通人民に於ては基督教に對して格段好惡の念あらざりしも、從來の傳説によりて之を魔法視し唯徒に之を恐怖せしのみなりしが、武士浪人輩に至りては基督教を嫌惡すること蛇蝎よりも甚しく、一般外國人に對する敵愾心も亦劇しくして、外國人とさへ見れば蠻夷、毛唐人等あらゆる惡罵を浴せかけ、或は背後より礫を擲げ、甚しきに至りては之を殺害するに至りぬ。斯る人氣の際に處して宣教師等は何等直接傳道に着手する能はず、宣教師の準備として日本語研究の傍ら漢譯の聖書若くは基督教に關する漢譯の書類を頒布し或は有志の青年に外國語を教授し、若くは聖書の翻譯教書の編纂に従事せり。有名なるヘボン、語林集成の編纂されしは此の間のことなりき。當時宣教師に取りて最も必要なりしことは、基督者の紳士たるの人格を以て日本人民の信任を得ると日本語を研究して布教の準備をなすことにてありき。

第四節 最初の信者

此の如き宣教困難の時期に在りて邦人の基督教に歸依せしもの數名あり、これ即ち日本に於ける基督教會の初穂にして將來の大收穫を預表するものとして宣教師間に多大の期待を齎せり。其中最初に信徒となりし者を矢野元隆とす、彼は元來針醫を業とせしものなりしが、

徳川幕府の紹介によりて博士ブラオンの日本語教師となり、後轉じてバラ博士の教師となり、支那譯聖書より約翰傳を日本文に重譯せしことあり、元治元年（一八六四年）十月病床に於いてバラ師より受洗し、同年十一月下旬を以て死せり、慶應二年（一八六六年）五月十二日五旬の節なる芽出度日に於て肥前佐賀藩の重臣村田若狹守は其弟綾部恭と共に長崎に於てフルベッキ博士より受洗せり。傳ふる所によれば彼が其後に於ける信仰益々健全に成長し其死するの日まで（明治五年）忠實に主に事へ、朋友子弟の間に熱心傳道せしと云ふ。同年春肥後の人庄村某監督ウイリアムスより洗禮を受く、後年政治論勃興せし時熊本の相愛社と稱する團體に加はり政論の爲め一時入獄したる中村六郎は異名同人なりと云ふ。明治元年の夏佛僧清水某は長崎に於てフルベッキより受洗し、粟津高明、鈴木貫一の二人は横濱に於てバラより受洗し、明治二年二月小川義綏、鈴木鉦次郎、島屋だいの三人は横濱に於てタムソンより受洗し、仁村守三は長崎に於てエンソルより受洗す。エンソルはジー、チヨルチ、ミツシヨンの派遣宣教師として明治二年一月長崎に來りし人なり、其他横濱に於てバラ若くはブラオンより洗禮を受けたるもの數名あり、安政六年宣教師渡來の時より明治五年日本基督教會設立の時に至るまでの十三年間日本に於て信者となりし者は殆んど以上の人々十數名なりき。

第五節 最初の迫害

長崎地方に於て舊天主教徒の復活は當局者の注意を喚起し同地方を始め、横濱に、東北に、

舊教信者若くは之に關係あるもの、檢舉投獄せらるゝもの尠なからず。就中明治の初年には長崎浦上の天主教徒二千餘人は其信仰を固守して神佛に轉宗せざるの故を以て、西南の廿一藩に御あづけとなり種々の迫害を蒙りしが、獨り天主教徒のみならず新教の信者若くは之に關係あるものも同じくその災厄に罹れり。佐賀の村田若狭の一族は藩主閑叟侯の庇護によりて窘迫を免かれしが、清水某の如き、二川一膽の如き、市川榮之助夫妻の如き、其著しきものなり、清水某はフルベッキより長崎に於て受洗せし佛僧なりしが明治元年邪宗門を信ずとの故を以て捕へられ處々の牢獄に繋がるゝこと五ヶ年にして終に放免せらる。二川は後姓を小島と改む。彼初め宣教師エンソルを暗殺せんとの陰謀を懷き、僞りて基督教に歸依するの志あるかの如く装ひ、エンソルに近づきしが、基督教の教義を聽くに及び大に感服する所あり、爾來改心して之が研究に務め傍らエンソルの出版事業を援助しつゝありしに、突然官の捕ふる所となりて東京に護送せられ、禁獄せらるゝこと數年、明治五年頃米國公使並に福澤諭吉等の斡旋によりて赦免せらる。市川榮之助は其家にへボン譯の馬可傳を所持せしとの故を以て捕へられ、其妻松子は其夫榮之助が基督教徒となりしを官に訴へざりしとの故を以て縛せられ、夫妻共に京都の獄に投せられしが榮之助は牢死し、松子は後に至りて赦免せられたり、然るに不思議にも京濱の地に於てはしばしば迫害ありとの警告に接せしのみにて一人の檢舉せられしものなく、唯東京に於て聖書研究組なる團體の解散を命せられし外、何等の窘迫なく、學生の宣教師に就きて基督教を聽き、聖書を學ぶ者漸次に加はり、中には内心既

に信仰を起せしものありき。而して間接に基督教に好意を寄する者官民の間に次第に其數を増し、學者福澤諭吉、中村正直、西周、森有禮の如きは基督教禁止の理由なきを論じ宗教自由放任主義を主張せり。當時中村正直は英國に遊びて親しくその文物を觀察し、歐洲文明の根本は基督教に基因するを看破し、外臣某より大日本天皇陛下に奉るの書を擬草して天下に發表し、學者間の問題となり、保守派の人々をして切齒扼腕せしめたりしが時勢は駸々として進で止まず宣教師の勞苦空しからず終に基督教會の設立を見るに至りき。

第六節 日本基督公會の設立

日本基督公會は我が日本基督教會の前身にして又實に日本に於て新教最初の教會なり、明治五年一月、數名の有志者相集りて初週祈禱會を開けり、これ一八七二年一月即ち明治四年十二月横濱居留外人の同地に催せし萬國福音同盟會の新年初週祈禱會に倣ふて催せしものなりしが、宣教師に關係ある洋學生の出席するもの多くして意外の盛況を呈し、祈禱につぐに祈禱を以てし、熱誠あふるゝばかりにして感興盡くる時なく一週間の祈禱會は延いて數週間の長きに亙りて尙已まず、中には感泣して以て神に訴へ日本に聖靈の降臨あらんこと尙初代教會設立當時の如くならんことを祈りしものありしが遂に聖靈の降臨となりて數名の回心者を興し、爰に日本に於る最初の基督教會を生出するに至りぬ。此れ實に明治五年陽曆三月十日なりき。此の時洗禮を受けし者は押川方義、吉田信好、篠崎桂之助、櫛部漸、竹尾忠男、大坪正之助等以下九名にして、先に洗禮を受けたる所の小川、仁村の二名と合して會員十一

名なりき、而して小川義綏選ばれて最初の長老となり、仁村守三執事となり、宣教師ゼームス、バラは殊に教會設立に與つて努力せしを以て聘せられて假牧師となる、其組織は米國長老教會の憲法に倣ひたれど政治上に於ては外國何れの教派にも屬せざる非教派主義を標榜し日本獨立の教會として建設したるものにして名づけて日本基督公會と稱す、其遵奉せし所の信條は頗る簡單にして聖書を標準として新教各派に共通の要義を採用し、爰に新教各派合同の基礎を据へ十字架の旗飾を鮮明にし將來日本に設立せられんとする各派の教會を打て非教派主義の一團となし其勢力を集注して以て日本の宗教界に活躍奮闘し因て以て日本に基督の靈的王國を建設せんとする崇高遠大なる目的にてありき、その理想を實現するの難易如何は固より問ふ所にあらずしなり。

第七節 日本傳道の進歩

切支丹禁制の中に生れ出でし日本基督公會は其信仰に於て其組織に於て極めて幼稚なりしと雖も、内宣教師に對しては非教派主義を主張し、外異教徒に對しては死を決して基督の福音を宣傳せんとす、その意氣當るべからざるものありし。恰も好し明治政府は基督公會設立の翌年即ち明治六年二月二十四日の布告を以て國內處々に掲げありし基督教禁制の高札を撤去し、尋いで先きに捕へし天主教徒を放還したり、これ固より基督教を公認したるにあらずりしも、これより政府の基督教に對する態度大に緩和し殆ど黙許の姿となり傳道上非常の便宜を與へたり。隨て日本に於て基督教の宣布漸次擴張して設立當時僅に十二名の會員を有せ

し横濱日本基督公會は明治六年の末に至り大人六十二人小兒十三人の多數となり（翌七年には百十九人となる）其中より長老小川義綏、粟津高明等七人は東京に移り、同所にて洗禮を受けし高橋六郎（安川亨）と合して、同年九月二十日を以て東京公會を組織す、後の新榮教會是なり、その遵奉せし信條規則は横濱公會のそれと同一にして、時に之を横濱公會の支會と稱す、小川義綏選ばれて復た長老となり、米國プレスビテリアン派の宣教師デビット、タムソン假牧師となる。初め鐵砲洲に會堂を有したりしが、後築地新榮橋の傍らに新會堂を建築してこゝに移れり。これより基督教の勢力次第に振ひ教會の設立各所に頻々たりき。

第八節 宣教師會の決議

初め横濱基督公會が非教派主義を標榜して設立せらるゝや、其快舉は外國宣教師に深刻なる印象を與へたるもの、如く、教會設立後六ヶ月即ち明治五年九月横濱に會合せし第一回宣教師會は満場一致を以て左の如き決議をなせり、曰く。

夫れキリストの教會はキリストに在て一體たり、プロテスタント教徒間の諸派分立の如きは偶然の出來事にして、キリスト信徒の精神的一致を妨げず。然れども既にキリスト教國に於ても尙此れが爲め教會の一體たることを曖昧にするの嫌ひあり。況んや諸派分立の歴史を了解せざる異教國に於てをや。且つそれ吾等宣教師等は顯著なる差別より生ずる弊害を避けんが爲めに傳道の方法を一定せんことを希望するが故に、吾等は本會議に由て與へられたる此の最初の機會を利用して自今吾等の援助に由て設立せらるべき日本の諸教會

に於ては成るべく其名稱及び組織を同一ならしむべく努力せんことに同意す。即ち其名稱は基督公會と云ふ合同的のものとなし、其組織は各教會の政治を其會員の協賛に由り教師職及び長老職に由り執行せらるべきものとす、右決議す。

此の會議に出席したるものは宣教師、長老、女教師等にして當時日本に傳道し居たる各宗派の代表者を殆ど總て網羅したるものなれば、其決議は最も有力なるものなりき。爰に於て非教派宗教の前途坦々として平地を行くが如く、將來日本に於ては歐米に見るが如き宗派分立の弊を避くることを得べしとの希望に充されたり。

参考、當時日本に宣教師を派遣し居たる教派は前に掲げたる四教派即ち米國プレスビテリアン派、ダツチレホルムド派、米國監督派、自由浸禮派の外英國のジー、チヨルチミツシヨン及びアメリカンポールドの二傳道局にして前者の最初の宣教師エンソルは明治二年一月を以て長崎に來着し、後者の最初の宣教師デー、シー、グラインは同年十一月を以て神戸に來任す、而して第一回宣教師會議に出席したる者は米國プレスビテリアン派よりはヘボン、タムソン、ルーミス、カラゾルス、ミロルの五人、レホルムド派よりはエス、アール、ブラオン、フルベツキ、ゼームス、バラ、スタウト、ウルフの五人、アメリカンポールドよりはデー、シー、グライン、オー、エム、ギユリツキ、デビス、ベリー、ゴルドンの五人其外英國領事館の假牧師サイル、在上海の監督教會の宣教師ロベルト、ネルソン在留外國人の組織し居たる東京横濱一致教會の長老艦長ワトソン、醫士エリオット、教師

グリフエス、横濱日本基督公會の長老小川義綏(?)婦人一致傳道局のブライン夫人、クロスピー嬢、ビヤソン夫人及び數名の宣教師夫人なりき。而してバプチスト派の宣教師が參列せざりしは其派唯一の宣教師ゴブルが米國へ歸省中なりしが故なり、ジー、チヨルチ、ミツシヨンのエンソル、ブルンサイドは出席せざりしも通信によりて此の會議と聯絡をなせり、而して當時大阪に居りしと思はる、米國監督派の監督ウイリアムス、宣教師エー、アール、モリスの列席せざりしは何故なるか明ならず。

第九節 非教派主義の経緯

然るに爾來諸ミツシヨン各自の傳道著しく進歩せしより、諸派宣教師中自派の教會を設立せんと企圖する者あり、隨て宣教師會議の決議案に對し種々の解釋を試むるものありて是非の議論紛々たり、而してレホルムド派の宣教師は舉て日本基督公會に協力せんとしプレスビテリアン派の宣教師は二派に分れタムソン一派は非教派主義を賛成して日本基督公會と行動を共にせしにかゝはらずカザルス等の一派は自派の教會を建設せんと試み、明治六年十二月三十日本國傳道局の訓令により日本長老會(中會)を設立し夫の決議案に對して自由行動を取るに至り、非教派主義に一大龜裂を生じたり。爰に於て日本基督公會は明治七年の初め更に改めて非教派的獨立主義を固守することを決議し、東京、横濱在留の各派宣教師に書面を贈り、或は使者を派して、協和寛容以て日本基督公會の主義を扶掖せんことを勸告し、更に書を米國、プレスビテリアン教會及びレホルムド教會に贈りて、其派遣せる宣教師バラ、

タムソンの日本基督公會の爲に盡力するを認許されんことを以てし殊に又當時米國に在りて會衆派（組合教會）に屬し神學を學びつゝある新島七五三太（襄）の歸朝近きにありと聞き、横濱公會は衆議の上氏を牧師に招聘すべきことを可決し直に招聘書を發送せしが終にその承諾を得るあたはざりき。是れ實に明治七年二月のことなりき。

第十節 非教派主義者の努力

此の如く日本基督公會が非教派主義に熱心して勸諭これ努めしにかゝはらず、各派宣教師の態度は多く教派主義に傾きたり、此の際東京公會假牧師タムソンの如きはプレスビテリアン派宣教師中に在りて殆ど孤立の姿となり、四面楚歌の中に在りて奮闘努力せしは偉と云ふべし。然れども大勢非教派主義に否にしてその前途陰影濃密なる者なりき。既にして關西の地に神戸、大阪兩公會の設立せられしとの（神戸公會は明治七年四月十九日大阪公會は同年五月廿四日設立せらる）報に接するや是實に空谷の跫音にして非教派主義の爲に一條の光明を認め爾來互に通信してその交際を睦まじくせしが更に相會して協議する所あらんと欲し、明治七年十月神戸、大阪、東京、横濱の四公會は各々代員を派して横濱に會して、一般公會の共通規則及び信條を採用し、毎年相會して教務を議するの約を結び、第二回の會合を神戸に開くことを決議して散會し、以て公會の基礎を強固にせんと試みたり。然るに次回の會期に先立て神戸公會は書面を以て政治上の合同を非として先きの決議を取消し期日に至り（明治八年四月）横濱公會の代員バラ、奥野の神戸に至るや、阪、神公會の代員デビス、新島の二

人は之に會し先きに採用したる公會信條には、同意なし難き節ありとの故を以て斷然合同を謝絶し、その會合は單に親睦を厚ふするの集となり、何等公會の政治的事務を取扱ふこと能はざりき。蓋し阪、神の公會はアメリカンボード（組合派）の援助によりて設立したるものにして、箇々教會の獨立主義を主張し、政治上の合同を非とし、先きの宣教師會議の決議に對し解釋を異にしたるより起りしが如し、爰に於て名稱を同ふして其主義を異にせる二箇の公會關の東西に分立するの奇觀を呈し、教派分立の勢を増長するに至り、かくて加へて其頃新に日本の傳道に着手せしメソヂスト派バプテリスト派等の其教派を盛に擴張せんとするあり、非教派主義中の有力者の一人なる長老本多庸一は弘前日本基督公會を率ひメソヂスト派に轉會するあり、東京公會の長老粟津高明の母教會より分離して別に教會を組織するあり、諸派の教會續々として設立せらるゝあり、教派主義の勢いよゝ盛にして、非教派主義の實現ますゝ困難となりぬ。

第十一節 諸教會の設立

此の際に於て我が日本基督教會に關係ある教會の設立せられしものを擧ぐれば左の如し。

○日本基督公會に屬せしもの

- 一 青森縣弘前日本基督公會、明治八年八月設立、會員十五名、横濱公會の會員本多庸一がその郷里弘前英學校の教師メソヂスト派宣教師イングと協同盡力して組織したるものなり、本多庸一最初の長老たり。

- 二 長野縣上田日本基督公會、明治九年十月八日設立、會員三十七名、横濱公會の會員並にレホルムド派宣教師等の努力によりて成りしものにて稻垣信之が最初の長老たり。
- 三 長崎縣長崎日本基督公會、明治九年十二月二十三日設立、會員十二名、長崎在留のレホルムド派の宣教師の盡力によりて起りしものなり、瀬川淺最初の長老たり。

右の中弘前公會は後メソヂスト派へ轉せり。

○日本長老公會に屬せしもの

- 一 横濱住吉町教會（後の指路教會）明治七年九月十三日設立、會員十八名プレスビテリアン派宣教師の盡力によりて成りしものなり、南小柿洲吾最初の長老たり。
- 二 東京第一長老教會、明治七年十月設立、會員不詳、プレスビテリアン派宣教師カロザルスの盡力により起りしものなり、明治九年四月二派に分離し一は露月町教會となり他は獨立の銀座教會となれり。
- 三 千葉縣法典教會、明治八年十二月設立、會員九名。
- 四 東京府品川教會、明治十年六月十一日設立、會員二十二名。
- 五 千葉縣大森教會、明治十年七月二十一日設立、會員四十八名。

第十二節 一致教會の設立

基督教會分立の趨勢以上の如く旺盛にして非教派主義振はざるの時に際し、日本基督公會と日本の長老教會と相合同して一大教會を組織しては如何との議内外人の間に起り、先づ日

本長老教會に關係ある米國プレスビテリアンミッションは、日本基督公會に關係あるレホルムドミッションに對して合同一致の交渉を開始したり、これ實に明治九年五月の事なりき。レホルムドミッションは此交渉に應諾して協議會を開き、且つ同じく長老政治を採る所のスコットランド、ユニナイテッド、プレスビテリアンミッションに對し其加入を勸諭し之が承諾を得たり、此ミッションの日本傳道を開始したるは明治七年三月にして其最初の宣教師はロベルト、デビンソン醫學博士ヘンリー、フオールツ夫妻及びヒュー、ワデル夫妻なりき。斯くて英米兩プレスビテリアン、ミッションは、各二名の委員を擧げて日本基督公會の憲法改正委員たるタムソン、ミロルと會し（篠崎桂之助も憲法改正委員の一人なりしが合同の内相談には與からざりき）合同一致の基礎たるべき教會政治の編成、信條の選定に着手し、其草案成るに及び之を日本基督公會及び長老教會に提出してその採否を討議せしに双方其議論百出して殆ど否決せんとするの形勢なりしが、漸くにして議まとまり終にその採用する所なれり。初め委員等が憲法信條草案を編成するに當り最も議論ありし問題は新設合同教會の名稱、外國宣教師等の日本の基督教會に對する關係等なりき。就中その採用すべき信條に關して最も困難を感じたりしが、熟議の末終にウエストミンスターの告白、ドルト大會の經典、ハイデルブルグ大小問答を採用するに決せり、而して又日本人の間に最も異論ありしも此等の信條を採用する事にてありき。當時新潟に在りて蘇國の醫士バームを援けて傳道しつつありし押川方義はこの信條採用に異議を唱へ、斷然分離して仙臺に趣き獨力布教に従事せり。

第十三節 第一回の中會

斯くて明治十年十月三日日本基督公會及び長老教會所屬の各箇教會の代員（八名）及び關係諸ミッションの宣教師（十二名）は横濱海岸教會堂に會合せり、これその教會政治（憲法）に規定せる第一回の中會にして爰に日本基督一致教會の成立を見るに至れり、是の會議に於て議長は最初日本に於て教會合同の議を主張せしブラオンの豫定なりしが、長崎よりの汽船延着の爲め、舊日本基督公會のタムソン議長となりて議場を整理せり、而して此の中會に於て舉行決議されし重大事件は東京、麴町、淺草、牛込三教會の設立願を許可したること又小川義綏、奥野昌綱、戸田忠厚の三名を教職に任じたることなり。蓋し日本人にして基督教の教職に任せられしは此の三名を以て初めとす。

第十四節 一大會三中會の組織

明治十四年四月開會したる代議會は、全國を三分して三中會となし、其の上に大會を置きて之を總括することを議定し、左の通り中會區域を劃定したり

- 一 北部中會 東京日本橋以北十二教會を含む
- 一 東部中會 同日本橋以南八教會を含む
- 一 西部中會 中國及び九州に在る三教會を含む

第十五節 宮城中會の建設及び協力ミッションの増加

明治十八年十一月開會したる第三回大會は、宮城縣下仙臺外三教會の加入を容れ、同時に

宮城中會組織の議を決し更に全國を分けて左の五中會となせり。

東京第一中會、東京第二中會、浪花中會、鎮西中會、宮城中會

右宮城縣下四教會の加入と同時に、我が協力ミッションの一となりしはゼルマン、リフオームド、ミッションにして、此のミッションの宣教師は、明治十二年始めて我國に渡來し、押川方義氏等と共に専ら東北地方に傳道したり。

明治十九年、米國南ブレスピテリアン、ミッション、我が協力ミッション中に加入す、此のミッションの最初の宣教師は明治十八年中渡來せり。

明治二十年、米國婦人異邦傳道會、我が協力ミッションに公然加入す。此の傳道會は明治初年よりして實際我教會と協力したる者なるが、茲にその名實を一にせるなり。

明治二十二年、カンバルランド、ブレスピテリアン、ミッション、その所屬教會九個を以て來り協力ミッションに加入す。此は明治十年以來、大阪附近及び紀伊地方に傳道したる者なり。右の如くにして我教會と協力提携せるミッションは都合七個となれるも、明治二十四五年の交、スコットランド一致長老派に屬する宣教師ワデル、デビン氏等病を以て歸國するに至り、前後二十五年間我國のために盡力せる同派は自ら我國より手を引くこととなりぬ。

第十六節 教會名稱の變更及び山陽中會建設

明治二十三年開會したる第六回大會は、日本基督教會の信條及び憲法規則を改定し、同時にその名稱を改めて日本基督教會となせり。

明治二十四年十一月開會したる第七回大會は鎮西中會に屬する數個教會を以て新に、山陽中會建設の議を決したり、茲に全國六中會となる。

第十七節 高知縣下大學傳道

明治二十六年、前大會に於て、高知縣下に一ヶ年間八名乃至十名の傳道者を送りて大に傳道せしむとの決議に従ひ、内外教師を交る／＼同地に派遣し大に傳道したるが、其の結果として百七十人の受洗者と數百人の求道者を起したり。

第十八節 大會常置委員の設置及び中會の合併

明治三十年開會したる第十一大會は、新に常置委員五名を舉げ全般に關する事務を行はしむるの制を立つ。

明治三十一年十月開會したる第十二大會は、東京第一、東京第二の中會を合併して一中會となすの議を決し之を東京中會と稱せしむ。

第十九節 特別傳道

明治三十三年七月開會せる第十三大會は、翌年春季を以て、全國に特別巡回傳道を行ふの議を決し、特に之が爲め委員十三名を舉げて其の事に當らしむ、茲に於て明治三十四年の春より夏へかけ全国各地に巡回傳道盛に行はれ我教勢大に張る。

第二十節 傳道局の大擴張及び北海道中會建設

明治三十四年十月開會したる第十五大會は、傳道局（明治十七年創設）の組織を變更し、

總裁一名理事十名幹事一名會計二名とし、片岡健吉氏を總裁に、貴山幸次郎氏を幹事に舉げ、翌年度豫算金額四千圓を議定したりしが、越へて明治三十五年十月開會せる第十六大會は傳道局事業の擴張を是とし、翌年度豫算金額七千五百圓を議決し、臺灣に傳道地を増加する外に、北清傳道着手を議定したり。

明治三十六年三月、北海道中會、同道に在る四教會を以て創設せらる、茲に於て全國別れて六中會となる（東京、浪花、山陽、鎮西、宮城、北海道）

明治三十六年十月開會せる第十七大會は、傳道局翌年度豫算額金八千圓を議決し、又朝鮮傳道開始を可としければ、翌年二月より釜山に傳道者を送りたり。

第二十一節 戰時傳道と傳道局獨立滿十年祝會

明治三十七年二月我國の露國と戰端を開くや、傳道局理事及び大會常置委員は協議の上、戰時傳道部なるものを特設し、同年四月東京に於て聯合祈禱會を開きたるを手始とし、順次全國要地及び臺灣に傳道し、大に教勢を振起し又出征軍人及びその家族を慰藉したるが、恰かも此の年は我傳道局の獨立後滿十年に相當するを以て、十一月廿七日を卜して東京市神田青年會館に於て滿十年祝會を開きたり。

第二十二節 臺灣特別傳道及び臺灣中會建設

明治三十八年十月東京市芝教會に於て開會せる第十九大會はその年の末より翌年の末まで一ヶ年間臺灣に特別傳道を舉行するの議を決定し、之が實行を傳道局に命じたり。此に於て

局は同島に數回の應援を與へたるが、その効果空しからず、明治三十九年の年末に至り、臺北、臺南、基隆の三教會代員等は臺北に會合して終に日出度臺灣中會建設の式を擧げたり。茲に於て我日本基督教會は全國七中會となる（東京、浪花、山陽、鎮西、宮城、北海道、臺灣）

第二十三節 滿韓傳道と新教會の設立

日露戰役の結果韓國は我が保護國となり、南滿洲亦我勢力範圍内に入る事となり、我傳道局は此等地方に傳道の必要あるを認め、從來の傳道地たる天津釜山の外に新傳道地として大連、營口、安東縣、旅順（以上滿洲）京城、群山（以上韓國）等を選定し、或は之に定住傳道者を送り、或は有力者を派して巡回傳道せしめなごしたるが、天津大連等の各教會は一二年を出でずして獨立自給教會となり、旅順京城等亦近き將來に於て教會組織を見んとする教勢を馴致したり。

第二十四節 特別傳道及び祝謝傳道

明治三十九年十月東京市富士見町教會に於て開會せる第二十回大會が、時勢の要求に鑑みて議決し、之が實行を傳道局に託したる特別傳道は、同年末より翌年九月まで東京市を始めとして全國樞要地二十餘ヶ所に傳道したり。然るに明治四十年十月東京市芝教會に於て開かれたる第廿一大會は、更に特別傳道繼續を議決したりしかば、第二回特別傳道は、同年末より翌年九月まで全國五十餘ヶ所に行はれ我教會の教勢振起に多少貢獻する所ありき。

然るに明治四十一年十月横濱指路教會に於て開會せる第廿二大會は、翌明治四十二年は我國にプロテスタント教宣教開始後五十年に相當すればとて、更に第三次特別傳道舉行の件を議決し、之が實行を傳道局に命せしかば、局は運動の方針を新にし、規模を大にし、傳道資金五千圓を豫算し、自ら主となりて別に祝謝傳道會なる者を設立し、植村正久會長並に實行委員長となり、明治四十二年四月全國より牧師傳道者數十名を東京に招集し盛なる修養會を開き、同時に宣教開始五十年大祝會を催し、之を手始めとして東京及び全國各地方に巡回傳道者を派遣し又は定住傳道者を置きなごし、明治四十三年二月を期して、十個の新獨立教會を得んとて熱心盡瘁したり。其の結果は豫期の如くならざりしも、新に數個の獨立教會を得たるのみならず、掉尾の運動として、明治四十三年三月再び東京に於て盛なる修養會を開き且つ市の中央なる有樂座に於て大演說會を催はし、次で青年會館に大説教會を開きて、新に多數の志道者を得、茲に芽出度祝謝傳道會を終れり。而して又祝謝傳道會の末期に起りしチャプマン氏委託傳道集會は、東京を始め各地に活動して、得たる所の志道者一千餘名の多きを算するに至れり。

第二十五節 協力問題の決定

過去數年間我教會の同人間に紛糾して辯護論議の種子たりし外國ミッション協力問題は、明治四十二年東京市麴町教會に於て開かれたる第廿三大會に至りて全く解決せられたりと云ふべき歟。此大會は曾て大會が下せる協力の定議に基きて正式に協力を申込みたる者の外、

別に我教會と何等かの關係を保持せんことを冀望する外國ミッションのため別に一ケの「申合規約」を定め、此の如きミッションをしてその冀望を達せしむるの途を開きたり。此の設備は從來縁故ありし外友に對し好意を表したるものにて同時に協力問題に結末を着けたるものなり而して數年前より既に協力し來りしもの又は新に協力せしものは、北プレスビテリアンミッション、及びベルマン、リホームドミッションにして、申合規約に従ひしものはダツチ、リホームドミッション及び南プレスビテリアンミッションなり。

第二十六節 憲法規則一部の改正と大會の新局面

數年前より我教會の一大問題たりし憲法規則一部の改正は、複雑なる手續を経て、明治四十二年に至り、彌よその目的を達することとなりしかば、同年十月東京市麴町教會に開かれたる第廿三回大會は、全國各教會の牧師長老神學教授宣教師（以上正議員）教師及び傳道教會代員（以上員外議員）より組織せられ、從來の大會に比してその面目も自ら一新し活氣著しく加はりたるを覺へぬ。

明治四十三年の大會は、教師試験に關する憲法規則を改正し、教師は凡て大會に於て試験を受くることとなり、試験の内容も大に改まり、漸次教役者の品位を高め、其の精選統一を計ることとなりぬ。

第二十七節 外國傳道の着手

明治四十二年はプロテスタント基督教の、我國に傳道を開始せし以來、恰も滿五十年の祝

謝すべき年に當りたれば、同年十月東京に於て開きたる第廿三回大會は、其好記念として新に清國人の間に傳道せんことを決議し、同十一月教師丸山傳太郎を清國の首府北京に派遣したり。

明治四十三年九月朝鮮の併合成るや、新に大邱を傳道地として定任傳道者を送り、更に十月の大會に於ては朝鮮傳道に關して種々劃策する所あり、一には朝鮮の青年傳道者を養成し、一には我が青年傳道者に朝鮮語を學ばしめ、着々朝鮮人の間にも傳道の歩武を進めんことを決議せり。而して有志信徒の集會に於ては、進んで朝鮮傳道後援會なるものを設け、弘く資金を募集し、傳道局の朝鮮に對する傳道事業を應援することとなり。

第二十八節 日曜學校同盟の創設

明治四十四年十月の第廿五回大會は、我が日本基督教會に在る二百七十六個の日曜學校同盟を設け、特別委員を常置して、其の連絡統一發展を計らしむることを決議せり。

第二十九節 家庭禮拜曆の發行

同大會は聖書研究、家庭禮拜等の良習慣を規則正しく養はしめんがため、前大會に於て擧げられたる委員等の編纂に係はる家庭禮拜曆を調査し、明治四十五年一月より之を採用することを可決せり。

第三十節 傳道教會資格標準一定

同大會は傳道教會の資格標準を、現任陪餐者十五名献金年額六拾圓と定め、既設の傳道教

會には向ふ三ヶ年の猶豫を與へて、其の時資格なきものは解散することとし、傳道地の整頓發達の上少からぬ便利と奮勵とを與へたり。

第三十一節 在外長老教會との連絡

同大會は朝鮮臺灣の長老教會に交誼を厚ふするため、大會議長より問安書を送ることゝなしたるが、尙ほ大平洋沿岸の日本人長老教會と將來の連絡を取らんためその方法につき審議したり。

第三十二節 滿洲中會の設立

傳道着手後僅に六年半にて、滿洲部内に三個の獨立教會を見るに至りたれば、明治四十五年六月大連市に於て、日本基督教會滿洲中會は建設せられたり。我教會が海外の傳道に率先盡力して、着々其の効果を擧ぐることは、如何計り一般の傳道心を鼓舞作興せしや知るべからず、吾儕の深く感謝すべき處なりとす。

第三十三節 日本基督教會創立四十年祝會

大正元年十月仙臺に於て大會開會中、仙臺日本基督教會に於て我教會創立の滿四十年祝會を開き、井深、植村二氏の演説、知事、市長及び各ミッション代表者の祝辭あり、數百の來會者皆既往の神恩を感謝し更に將來の希望を堅ふせられたり。

第三十四節 日本基督教會婦人傳道會社

大正二年四月有志婦人に由て創立せられたる同社は、同年十月の大會に同社長渡邊たつ子

より規則書及び現況報告書を添へて、其の承認願を提出せられたれば、大會は感謝と満足とを以て之を承認したり。

第三十五節 朝鮮中會の建設

大正三年十月の大會に於て決議せられたる同中會建設式は、大正四年七月京城に於て舉行せられたり傳道着手後十年餘を經過したり。

第三十六節 日本基督教會總務局の設置

大正三年十月第廿八回の大會は、日本基督教會の庶務傳道財務一切の事務を總轄進捗せしむる目的を以て、總務局設置を決議し、大正四年一月より之を實施することゝせり。隨て從來大會常置委員及び傳道局の執り來れる事務は、一切之を總務局に讓渡することゝなり、同委員等は皆自然に消滅せり。總務局最初の條例にては理事長一名、理事十四名、幹事、會計書記、各若干名なりしが、翌大正四年十月の大會にては、更に條例を改め、理事長一名、理事七名、評議員廿二名、幹事、會計、書記、各若干名となせり。

第三十七節 週一獻金の創始

大正四年第廿九回大會に於て、新に設けられたる總務局評議委員會にては、一週一錢の獻金を普く全國の教會員より集むるの新案を決し、其趣意書及び週一獻金袋を配付して、一般會員に獻金と共に傳道の爲に祈るの習慣を養はんことを獎勵したり。

第三十八節 全國巡回傳道並に新瀉縣下特別傳道

同大會にては全國各派の協同傳道に伴ひ、我教會も總務局をして、全國を廿五區に別ち、悉く之を巡回傳道することを決し、且つ新潟縣下有志の特別資金に依り、同縣下に特に一年四回の有力なる應援傳道をなさんことを決し、大正四五年に互りては、一般に教勢の振起を見るを得たり。

二六

第三十九節 海外傳道之精神再勃興

新開地傳道に銳意率先せる我教會は、近年聊か其意氣沈滞せるやの感ありしが、大正五年十月第卅回の大會に於ては、再び海外傳道の意氣勃興して、一日朝鮮、滿洲及び臺灣生蕃傳道等に關する特別の演說會も開催せられ、一般に其責任使命の重大なることを自覺せしめたり。朝鮮京城に於ける一有力なる朝鮮人教會が、其指導者李源兢氏と共に我が朝鮮中會に入會せるも、此年のことなり。

第四十節 ルーテル宗教改革開始滿四百年記念會

大正六年十月廿八日の日曜を期して、全國日本基督教會は、總務局理事會の提案に基き、各々有益なる記念禮拜若くは講演會を開きたり。

第四十一節 信州五ヶ所の傳道地引受及同縣下特別傳道

大正七年一月より總務局は、米國リホームドミツションより長野松本諏訪伊那飯田の五傳道地を引受くることとなり、特に同縣下有志の特別資金に依りて、一年數回の應援傳道をなすことを決し、一般に教勢の振起を見ることを得たり。

第四十二節 教職者大會

數名の篤志者の寄附に依り、二千餘圓の資金を以て、全國教職者を鎌倉に招集し、大正七年五月十四日より五日間、有益盛大なる修養會を開きたり。

第四十三節 三大集會

大正七年十月東京に於て開かれたる第卅二回大會の際には、奉仕者大會、婦人大會、信徒大會、の三大集會を催し、何れも盛會にてありき、日本基督教會にありて之れまでなかりし集會なりき。

第四十四節 傳道局創立廿五年記念會

大正八年十月の第三十三大會に於て傳道局創立廿五年記念會開かれ、井深、植村二氏の演說、來賓の祝辭あり、盛なる會合にてありき。

第四十五節 傳道局及大會常置委員の設置

同大會に於て傳道局及大會常置委員を復興し、總務局の取りたる事務を分つこととなり、傳道局は理事十二名、幹事、會計を置き、大會常置委員は委員七名を置くこととなり。

第四十六節 憲法規則の改正

從來我が日本基督教會が準據し來りたる憲法規則は明治二十三年の制定にかゝるものなるが、頗る不備の點あると、時代の要求に適應する必要あることにより、之が改正を求むるもの少からず、因て大會は大正三年開かれたる第二十八大會以來、幾度か專任委員を置き、又幾

二七

度かその草案を改めたりしが、終に大正九年開かれたる第三十四大會に至りて、審議の上之を裁定し、大正十年一月一日より之を實施することとなしたり。我が憲法規則制定後滿三十年にしてこの事あるは奇と云ふべし。改正せられたるは、條章の配置、字句、文章の修正を別としてその重なるものを擧ぐれば左の如し。

- 一、從來傳道者として別に一階級をなしたるものを、改めて教師試補となし、准允後十年を經過するも教師の資格を得ざる者は、准允を取消さることあるべしとせしこと。
- 一、從來中會組織に要せらるる獨立教會數は三個以上なりしを、改めて五個以上とせしこと、但し此は大正十四年一月より實施するものとす。
- 一、傳道教會にして一定の資格に達したるものは、大中會に正式に代員を選出する事を得べしとせしこと。
- 一、教師又は教師試補にして日本基督教會以外にその職を奉ずるもの一ヶ年を経るも退會を願出ざる者あらば除名すること。
- 一、從來神學教師は悉く大中會に於て正議員たりしが、之を制限して一神學校毎に二名の正議員を選出し得るものとせしこと、又各中會とも宣教師二名丈けを正議員たらしむることを得とせしこと。
- 一、大會に副議長を置くこと。

第四十七節

大正十年十月の第三十五回大會に於て日本基督教會創立五十年記念に關する左記の決議を爲し尙十月九日午前十時より神戸港教會に於て記念禮拜を行へり。

日本基督教會創立五十年記念に關する決議案

吾國最初の教會たる横濱海岸教會の創立は明治五年三月十日にして今年は正に五十年に相當す此の歴史的好機に開かれたる我日本基督教會大會は適當なる記念の實を擧げ教會の一轉機たらしめんが爲め左の事業を遂行せんことを決議す。

- (一) 來年五月頃、我教會と關係ある米國リフォーム諸教會、長老派諸教會に特使を遣り、日本傳道開始以來の成績等に就て報告し、其好意と努力とに對する感謝の意を表し序を以て彼地諸教會の日本に行ふに最適はしき傳道事業に就て懇談し、從來よりも有効にして一層徹底せる協力を行ひ、若くは少とも其端緒を開く様に爲す事、而して其使者は便宜を見計ひ可成、カナダ及スコットランドの長老派諸教會大會をも訪問する事。但し特使は一名となし、關係ミツシヨンを交渉の上、その代表者の同行を求むる事。
- (二) 内外協力の事業として、東京に日本基督教會記念館を建設する事。
- (三) 本大會より明年の大會期まで傳道局並に中會は記念特別事業を計畫して倍加傳道の達成を期する事。
- (四) 教師の養成、修養のため補助の方法を講ずる事。
- (五) 日曜學校擴張のため方法を講ずる事。

- (六) 來年の大會期中適當の時に於て掉尾の大集會を開く事。
 (七) 此際内外協力の精神を一層徹底せしめんが爲めに特に委員を擧げ、ミッション代表者との協議會を開き適當の方法を講ずること。
 (八) 以上の事業を遂行するため資金五拾萬圓募集する事。
 (九) 以上の事業遂行に就ては、關係ミッションより宣教師四名、大會常置委員、及傳道局理事をして之に當らしむる事。但し必要に應じ委員を増加する事を得。

第四十八節 特使の派遣

我日本基督教會創立及其進歩發達に特別の關係ある海外諸ミッションに對し、感謝の意を表さんか爲めに、特使として三十五回大會に於て選ばれたる大會議長植村正久氏は大正十一年四月十七日横濱解纜の大洋丸にて米國に向け出發せられ、米國カナダ、スコットランドを訪問せられたり。

第四十九節 内外協力傳道

大會決議によりて委員等は、内外協力の精神を熾にし適當なる方法を案出する爲めに、數次熟議の結果現在の日本基督教會傳道局及び關係諸ミッションの傳道機關を統一するの要を認め、諸ミッションを代表する委員及五十年運動常務委員より、各協力の傳道局案を作成發表せり。(提案は省略す)

第五十節 震災救護會

大正十二年九月一日關東大震火災の爲め、我日本基督教會に於ては、左記十四個教會一講義所及び一神學校全部倒壊焼失し、尙ほ他に十三ヶ教會及びミッション關係の女學校等大破を蒙れり、會員の罹災せるもの其の分明なるものみにも、壹千八百七十四人の多きに達せり。

海岸、指路、新榮、芝、兩國、富士見町、明星、淺草、麴町、本所、大田、日本橋、鎌倉、神田、東京神學校

震災後直ちに大會常置員、傳道局理事、東京中會常置員を以て、日本基督教會震災救護會を組織し救護事務に當れり。

第五十一節 第三十七回大會々場の變更

大震災のため大會々場を泉州濱寺に、期日を十一月上旬に變更したり。

第五十二節 宣言書發表表

第三十七回大會は満場一致を以て、左記の宣言書を可決發表せり。

宣言書

日本基督教會の創立せられて、半世紀歴史は正に一進展を思はしむるの秋、不慮の大變災は突如國民の頭上に落下し、神の嚴なる教訓は示されたり。
 惟ふに維新以來我國民的努力は帝都を以て代表せられたる物質文化の建設に、傾倒せられ、人間の本領と、人生の目的とに對する正しき考慮を缺きたり、其積弊の及ふ所人心徒らに感

覺的快樂を懐ひ、浮華滌蕩風を作し質實敬虔の徳地を拂ふに至れり、此の時に當り、天殃倏ち下り、國民誇負の幻影轉瞬の間に覆滅し、靈的教養を有せざる國民の實狀、白日の下に暴露せられたり、天災地妖の害は尙ほ耐ふべし、人爲の禍に至りては、轉た痛恨の情を禁せざるなり。

五十年記念運動は、爰に於て更に重大なる意義を加へられたり、我等深く自ら戒飾すると共に聖靈啓導の下に水火の冒し能はざる永遠の都を建設するに勵めざるべからず、豈啻に罹災教會のみと言はんや、我等は此の振古未曾有の時期に際し、國民的悔改を天下に宣明し以て十字架の恩寵に負ふ使命を完ふせんことを期す。

千九百二十三年十一月

於泉州濱寺第三十七回日本基督教會大會

第二 大會及中會役員

(大正十四年度)

大會議長

多田素

大會副議長

毛利官治

大會書記

小林誠

一、大會常置委員

毛利官治(長)

多田素

小林誠

佐波亘

都留仙次

田川大吉郎

山本忠興

二、傳道局理事

毛利官治(長)

秋月致

多田素

桑田繁太郎
山本忠興

渡邊莊

渡邊暢

榊富安左衛門

新島善直

金井爲一郎

中松盛雄

三、財務局理事

田川大吉郎(長)

小林誠

多田素

四、日曜學校局理事

笹倉彌吉(長)

山本忠興

馬場久成

賀川豊彦
小林誠

新島善直

小杉徳治

高崎能樹

小平國雄

光晋

齋藤敏夫

五、教役者恩給扶助會計委員

林 西島 政之 藤 口 正 信 亮 長 野 嘉 吉 中 松 盛 雄

同 取 調 委 員

山 本 秀 煌 逢 坂 元 吉 郎 富 田 滿 光 晋

六、讚美歌委員

笹 倉 彌 吉 小 林 誠 ハ ナ フ オ ー ド

七、教師試驗委員

毛 利 官 治 佐 波 亘 川 添 万 壽 得 高 倉 德 太 郎

小 野 村 林 藏 溝 口 悅 次 多 田 素 都 留 仙 次

八、會堂建築局委員

秋 月 致 三 好 務 日 高 善 一 出 村 悌 三 郎

九、基督教聯盟委員

川 添 万 壽 得 田 川 大 吉 郎 小 林 誠 小 野 村 林 藏

十、中會議長及書記

石 川 四 郎 小 平 國 雄 井 口 彌 壽 男 多 田 素

都 留 仙 次 東 京 中 會 (議 長) 金 井 爲 一 郎 (書 記) 光

浪 花 中 會 (議 長) 谷 津 善 次 郎 (書 記) 秋 元 茂 雄

東 北 中 會 (議 長) 城 生 安 治 (書 記) 伊 藤 嘉 吉

鎮 西 中 會 (議 長) 袖 山 信 一 郎 (書 記) 藤 田 治 芽

山 陽 中 會 (議 長) 和 田 方 行 (書 記) 金 行 貞 一

北 海 道 中 會 (議 長) 小 野 村 林 藏 (書 記) 村 岸 清 彦

台 灣 中 會 (議 長) 上 與 次 郎 (書 記) 伊 江 朝 貞

滿 州 中 會 (議 長) 貴 山 幸 次 郎 (書 記) 山 口 重 太 郎

朝 鮮 中 會 (議 長) 秋 月 致 (書 記) 鈴 木 高 志

第三 各教會、牧師、神學教師及教師試補、

日曜學校長、役員

三六

(一) 東京中會所屬教會之部 (無印ハ牧師○印ハ教師△印ハ教師試補●印ハ中會未加入者(書)ハ書記(日)ハ日曜學校長)

名稱	位	置	設立年月日	牧師又ハ主任者	住	所	任職年月日
海岸	七	橫濱市山下町一六	明治五年三月十日	笹倉彌吉	八幡一二〇一	橫濱市中村町字	明治三十年十月十八日
(書) 河野 保		橫濱市大岡町字岸々峯二二〇二		大館才次郎	同	市瀧頭町七	同
神保藤次郎	七	同市柏葉三四二		林 貞	同市鷺山三六八	同	同市瀧頭町字宮下九九〇
早川 淺吉	六	同市相生町四ノ六一		木島鐵三郎	同市本牧町池田二二五七	同	同市中村町字相澤一五四六
長崎 次郎	四	同市青木町桐畑四五四		山埜井 久	同市天部	(日)高橋勇次郎	東京府大森入新井町不入斗谷中野二
新 榮	一〇	東京市京橋區新榮町一ノ一二	明治六年九月二十三日	千屋 和	東京市京橋區新榮町一ノ一二	同	明治三十一年十月二日
(書) 平野 龍亮		市外落合七四一		植木榮藏	同市同區長崎町一ノ六	同	同市芝區三田豊岡町六二
藤原鈎次郎	一六	下谷區御徒町二ノ一六		佐々木致太郎	同市芝區三田豊岡町六二	同	同市芝區三田豊岡町六二

指 路

橫濱市尾上町六ノ八二

明治七年九月十日

明治三十年十月

(書) 木村 喬

市外鷓見町東寺尾住宅地

毛利官治

同市根岸町櫻道三、五八七

同市本牧町池田二二六四

塚田 福三

同市中村町一、四〇九

大橋清藏

同市本牧町牛込二七〇四

岡部幸彦

同市本牧町牛込七〇四

佐藤 園

東京市外北品川本宿四五五大瀧方

黒川直胤

同市外保土ヶ谷町家庭學園

大橋シゲ

同市本牧町牛込寺尾住宅地

赤石久太郎

神奈川縣鷓見町東寺尾二〇八九

吉川真次郎

同市辨天通三丁目

横山榮二

同市外鷓見町東寺尾住宅地

芝

東京市芝區愛宕町二ノ一五

富田 滿

府下井萩村下萩窪三五一

塚田福三

同市中村町一、四〇九

(書) 岡見千吉郎

東京府下目黒二二

奧平敏子

同市芝區愛宕町二ノ一五

五月女忠藏

同市麻布區飯倉町五ノ三五

土生 瑾作

府下荏原郡駒澤新町

後藤 英

同市芝區三田豊岡町二

東條松五郎

同市芝區田村町一九

澤本 孟彦

同市麻布區飯倉町三ノ一二

矢島みす

同市赤坂區青山南町六ノ一一六

澤本孟彦

同上

麴 町

東京市麴町區平河町三ノ九

山田卯三郎

同市赤坂區青山南町六ノ一一六

高田秀男

同市外千駄谷八五八

(書) 青木金太郎

東京市外千駄谷八五二

四方謙三郎

東京市外澁橋町角一〇〇

片岡辰吉

同市外中澁谷八〇〇

四方謙三郎

東京市外澁橋町角一〇〇

大正十年四月十日

大正十年四月十日

大正十年四月十日

大正十年四月十日

大正十年四月十日

大正十年四月十日

三七

上田 長野縣上田市車坂 明治九年十月八日

(書) 遠藤鐵太郎 同市馬場町 渡邊浪治 同市常入踏入

淺草 東京市淺草區須賀 明治十年十一月十日 永井直治 同市淺草區須賀町二三

(書) 高城 衛 同市小石川區大塚窪町二〇 曾我正雄 神奈川縣鶴見町

金子勘藏 同市本所區龜澤町一ノ八 (目) 森脇克己 市外巢鴨町二ノ三五 大正十二年入會

本郷 東京市本郷區本郷 明治十一年九月四日 土方揆一 東京府下池袋町一七八八

(書) 林 止 同市本郷區本郷 二ノ三六 櫻井ちか子 同市同區向ヶ岡彌生町三

金子民三郎 同市本郷區富士前町四 今野幸吉 同市同區千駄木町七二 (目) 今野幸吉 同上 大正十一年四月

桐生 群馬縣桐生市本町 明治十一年十一月六ノ一六 新階鞆音 群馬縣桐生市本町六丁目同上教會内

(書) 田中喜久吾 同市新宿八九五 田島豊次郎 同市六丁目 川島善四郎 同上

堀 祐平 同市巴町 荻原四郎 同市新宿 (目) 田中喜久吾 同上

牛込 東京市牛込區拂方 明治十年十一月二十四日 田島進 同市牛込區拂方町二四 長束實 同市本郷區森川町一 明治四十年四月二十八日

(書) 寺尾完治 同市四谷區龜町一三ノ六 古門林太郎 市外大久保百人町五二

和久山駒子 麹町區二番町女學院内 畑正子 同市牛込區田町畑眼科院 別所孝三郎 同市牛込區東五軒町二七

齋藤宇一郎 秋田縣秋田市平澤町 岡慶治 埼玉縣浦和町 (目) 岡田茂男 市外中野町三七五田中方 大正四年四月二十九日轉入

兩國 東京市日本橋區矢ノ倉町一 明治十一年十二月八日 小林誠 東京市日本橋區矢ノ倉町一兩國教會内

(書) 中西美重藏 同市本所區外手町七九 渡邊省吾 府下代々幡村北 高岡宣次 同市日本橋區鐵砲町九

沖 カツ子 同市日本橋區村松町二三 井口元二 同市神田區猿樂町六 西村芳太郎 同市日本橋區新材木町一六

渡邊俊子 府下代々幡村北 笹塚一八五 渡部傳八郎 同市淺草區左衛門町一 馬淵万次郎 同市日本橋區藥研町四〇

海老名謙一 同市深川區越中島水産講習所 (目) 海老名謙一 同上

豐島岡 東京市小石川區大塚坂下町四〇 明治十二年十一月八日 末永英郎 府下西巢鴨町宮仲二二三六

(書) 宮部文臣 東京市本郷區駒込蓬萊町三一 平井磐雄 府下西巢鴨町宮仲二二三六 中田光治 府下高田町雜司ヶ谷水原六一七

西島政之 府下高田町巢鴨三五三二 (目) 中西光治 同上

日本橋 東京市日本橋區濱町二ノ一二 明治十二年十一月廿二日 原田友太 東京市芝區白金猿町四八

(書) 島 誠輔 同市日本橋區本船町一八 野本庄太郎 市外向島寺島村一六四八 渡邊熹十郎 同市神田區元岩井町二五

服部豊助 同市下谷區櫻木町二五 (目) 上澤謙二 市外下大崎一八四

高輪

東京市芝區二本榎
二ノ一九

明治十一年十一月十一日

山本喜藏 市外大崎上大崎七六一
野久米 芝區白金今里町八九

(書) 北村 勳

東京市外濠橋町
角筈百明治學院

岡見彦藏 東京市芝區白金
嶺町三四

三浦太郎 府下落合村下落
合一五二

山下岩太郎

同市芝區白金嶺
町四八

八木沼辰三郎 府下大崎町下大
崎一九八

木原三 同市芝區二本榎
町二ノ一六

齋藤勝次郎

同市芝區白金三
光町二九三

宮地利彦 市外下濠谷一
五二五

齋藤勝次郎 同上

橫須賀

橫須賀市深田町八
六

吉本一良 同市深田町八六

大正四年四月四日

(書) 溝呂木鶴治

同市外田浦町田
浦五〇七

菊地理一郎 市内不入斗町二
二三

鈴木儀 同市堀ノ内一
七八

岡部彦長

同市公郷二、三
八九

紺野尙雄 同市不入斗町三
五一

古場善吉 同市不入斗町二
一三

中村文徳

同市中里町一六
五

渡邊與三郎 同市大瀧町九
起明堂

渡邊與三郎 同上

米花伊太郎

同市中里町二七
九

波多野久 府下中野町本郷氷川神社脇

波多野久 同上

富士見町

東京市麹町區富士
見町六ノ三

南市 市外千駄ヶ谷町八七〇

明治四十四年二月二十六日

(書) 秋山晴雄

市外瀧ノ川町四
ヶ原一〇七二

巖谷冬生 同市麹町區上二
番町四〇

原戌吉 府下西大久保二
一

林 忠美

同市小石川區丸
山町三〇

渡邊暢 同市赤坂區青山
南町六ノ六一

高鳥武雄 市外巢鴨町三ノ
二六

田川大吉郎

同市小石川區小
日向台町三ノ二五

田中惠 同市本郷區西片
町一〇、二ノ九

土屋龜太郎 同市小石川區關
口町一八八

棟居喜九馬

同市芝區白金今
里町八九

小川潤次郎 府下杉並町高圓
寺四〇

矢野貫城 市外巢鴨町二ノ
五〇

山本忠興

市外高田町千登
世一

船尾榮太郎 市外日暮里町道
灌山一〇三五

福島正雄 市外池袋町大原
一、三三七

木岡甲子男

市内麹町區中六
番町四六

原志賀 府下西大久保二
一二

大江スミ 牛込區市ヶ谷富
久町一〇九

渡邊タツ

市内赤坂區青山
南町六ノ六一

河井道 市内牛込區神樂
町二ノ一六

川戸環 市外濠橋町柏木
九四八

菅野古宇

市外代々木西ヶ
原九五九

齋藤とら 市内麹町區五番
町二

川戸環 同上

(書) 山本忠興

同上

千葉

千葉市市場町
明治二十八年十月八日

森岡謹吾 千葉市寒川新宿
七一

明治四十四年四月二十日

(書) 武藤鎮夫

同市市場四八七

高梨千勢子 同市長州九二八

武藤秀子 同市場四八七

杉谷乙次郎

同市寒川新田三
七

高島秀男 同市高木女學校

長島幸助 同市外都村矢作

齋藤佐吉

同市吾妻町縣公
會堂通

齋藤應之助 同上

伊勢崎

群馬縣伊勢崎町本
町四

太田好景 群馬縣佐波郡伊勢崎町
本町四ノ一、四四一

大正十二年八月十二日

(書) 金井敬三 同縣伊勢崎町一〇八五 森村堯太 同縣佐波郡宮郷村連取 磯部市次郎 同縣同郡伊勢崎町二丁目

武安藏 同縣同郡殖蓮村下植木 金井直次郎 同縣同郡伊勢崎町二丁目 (書) 太田好景 同上

佐久 長野縣南佐久郡白田町 明治三十二年一月二十九日

(書) 田原秀人 同縣南佐久郡白田町 櫻井毛三郎 同縣南佐久郡白田町 日向與茂治 同縣同郡青沼不

新津忠太郎 同縣同郡青沼不 三井國助 同縣同郡榮村 渡邊常太郎 同上

植松弘之 同縣同郡野沼町 (書) 田原秀人 同上

市ヶ谷 東京市牛込區原町 明治三十四年三月十日 金井爲一郎 東京市牛込區原町一ノ五〇 大正三年五月二十三日

(書) 大澤佐四郎 同市牛込區富久町九四 野田半三 若松町一三一 河田茂 同市同區辨天町一五一

河田良子 同上 太田兼次郎 同市同區原町二ノ六五 中島與會八 市外平塚村月越五八

關口林太郎 同市同區市ヶ谷町七四 伊倉源一郎 同市同區喜久井町三一 土居譽雄 市外上目黒別所四七

鷺山弟三郎 市外下目黒四二 高木 高 同市同區鴨卷町五

大森百合子 同市同區仲ノ町一四 (書) 金井爲一郎 同上

角筈 東京府下澁橋角筈 明治卅七年四月二十三日 松原英一 府下澁橋町角筈一〇二 大正五年四月十六日

(書) 浦田清 府下中野町打越二〇二四松原方 佐藤いよ子 東京市麴町上手三ノ七 白山清 府下幡ヶ谷一〇

ミス、マクドナルド 荻窪女大内 太田恒代 府下角筈五七六 水村寅吉 府下代々幡笹塚一〇八一

河田力 府下東大久保四八三 高木猛且 市内四谷花園町六八

高宮儉節 府下大久保百人町一六五 (書) 武侯勇住 府下代々幡町代々木山谷二九九

鷺山 橫濱市根岸町鷺山三、六五八 松山昌三郎 橫濱市青木町木覺寺山馬場方

(書) 月野振吾 東京市外目黒町中目黒七二九 笹尾清史 橫濱市根岸町立野善山城方 (書) 笹尾清史 同上

水戸 水戸市西町六七七 明治二十年九月 柏井光藏 水戸市西町六七七 大正十四年四月

(書) 宇野藤熊 水戸市西町六七七 海老原登 同市久保町 平山彦六 同市泉町

海野信之助 同市仲町 (書) 宇野藤熊 同上

山梨 山梨縣甲府市春日町一五 明治四十二年二月二十八日 上田丈夫 甲府市横近習町二二 大正十二年十二月十六日

(書) 濱口永雄 甲府市百石町 島田正己 同縣南豆摩郡歐澤町 志村誠策 甲府市春日町

坂上直道 東京市本郷區彌生ハウス内 秋山春吉 甲府市東青沼町

笠井勉 同市百石町 (書) 上田丈夫 同上

青山

東京市赤坂區青山 明治四十三年四月
南町五ノ五三 月三日

川添万壽得

東京市赤坂區青山南町
五丁目六四

四四

明治三十年四月
十一日

(書) 古賀祥三

東京市麻布區材
木町三三

松本俊吉

同市赤坂區青山
南町五ノ四五

万納孫次郎

同市同區青山南
町六ノ二四

石幡五郎

同市外下澁谷一
一五八

小山田正直

同市同區青山
高樹町一三ノ六

橋本清水

同市外西大久保
九一

大森

東京府荏原郡入新
井町不入斗七六七
六日

佐波

亘同上

中松盛雄

東京府荏原郡入新
井町新井宿三三九
七日

(書) 馬場榮夫

東京市本郷區丸
山福山町三

中松盛雄

東京府荏原郡入新
井町新井宿三三九

中松秀子

同上

德澤治

同府同郡新井宿
一三〇九

志佐信子

同府同郡新井宿
二二九八

曾根廉郎

同府同郡不入斗
四四九

高村甚平

同府同郡大井町
出石五、一六五

溝尻房藏

同府同郡平塚村
戸越一二七

千駄ヶ谷

東京府豊多摩郡千
駄ヶ谷町八五八
二十一日

中川景輝

同府豊多摩郡井荻
村大字上荻窪三三

赤井米吉

同府同郡吉祥寺
町一、九八四

(書) 青木元次

同府同郡澁橋町
大字柏木四三一

赤井米吉

同府同郡吉祥寺
町一、九八四

溝尻房藏

同府同郡平塚村
戸越一二七

野島新之函

東京市小石川區
音羽町八ノ一四

豐田末吉

東京府下千駄ヶ
谷町五〇一

高野昇

府下東中野町一
七二三

赤井米吉

同上

中澁谷

東京市外澁谷町中
澁谷四二五
九日

本間誠

市外高田町大原
一、五五六

淺野順一

市外中澁谷四〇

(書) 井上朋三郎

市外中澁谷四二
五

山田松苗 麻布區霞町七

柳田孝子

東京市外中野町
二、三六三

宮崎貞子

東京市外高田町
巢鴨二、五九〇

山本茂男

市外上荻窪三四

金谷重義

府下浦和町鹿島
台二、〇一二

小田垣光之輔

東京市本郷區台
町五七渡邊方

牛岡 熙

山口縣德山町

鷺津貞二郎

東京市下谷區竹
町一五

淺野順一

同前

明星

東京市下谷區竹町
一五

鷺津貞二郎

東京市下谷區竹
町一五

淺野順一

明治四十四年九
月十八日

(書) 平田泰次郎

東京市本郷區駒
込神明町六八

小杉德治

同市同區竹町四

田草川太郎吉

同市同區谷中三
崎町四九

新井静子

同市同區竹町一
二ノ一〇號

秋庭濱太郎

市外青山七丁
目一、田藤方

小杉德治

同前

夏目重作

同市小石川區久
堅町七一

外村義郎

東京市半込區市
ヶ谷台町五

君袋健一

同上

小名木川

東京府大島町五二
六

外村義郎

東京市半込區市
ヶ谷台町五

君袋健一

明治二十八年七
月四日

(書) 荏部鎌五郎

東京市外大島町
八ノ一五九

君袋健一

同市外大島町
五ノ二六

君袋健一

同上

大崎

東京府下大崎町篠
谷二六

逢坂元五郎

東京市芝區白金
猿町六八

杉山慎一

大正元年十二月
二十二日

(書) 中井正愛

同府品川區品川
鐘崎三廣谷方

牟田易太郎

同府品川町御殿
山七七八

杉山慎一

同品川町北品川
小關六六六

杉泰一

同品川町南品川
鐘ヶ崎八一〇

豐間靖

同平塚村府營住
宅三一號

杉山慎一

同前

齋藤竹次

同品川町北品川
小關五〇八

豐間靖

同平塚村府營住
宅三一號

杉山慎一

同前

四五

上海

上海北四川路一〇號

川崎義敏

上海北四川路一〇號

大正十年四月五日

(書) 與田豐蕃

上海老鞠子路壽彭里六五

內山完造

同北四川路魏盛里六九五

稅田隆輔

同文路x十五號

五十嵐寬彌

同真山花園二二

門田耕成

同狄思威路祥茂里二五

岩岡武博

同赫司克而路三六常盤舍

田中榮太郎

同黃羅路十二號

澤規矩雄

同北四川路麥合里一三

田中マサ

同愚園路三三一

藤卷ヒデ

上海威賽路八八

寬谷ハンナ

同狄思威路八〇九

田中マサ

同愚園路三三一

井川幸子

同海能路二

青島

青島桓台路三〇八日

島村穗吉

青島桓台路三〇

明治三十五年八月十六日

(書) 村田正亮

同廣西路六

北野順吉

同陽信路三二

星田脩四郎

同武寶路七

岩崎卯一

同淄川路

前島勇

同齊東路正金銀行社宅

同武寶路七

小石川

東京市小石川區原町七一

光

同同上

前島勇

同齊東路正金銀行社宅

(書) 齋藤義一

同市小石川區西原町二二

島田伊作

同市小石川區西原町二二

渡部幸雄

同市小石川區原町二二五

菅沼すみ

同市小石川區原町一二五

佐々木小鹽

同市本郷區富士前町四

菅沼誠一

同市小石川區原町一二五

鈴木猛子

市外東大久保新田裏四八九

大井町

東京府下荏原郡大井町四〇九

秋葉省像

東京市芝區白金猿町三五

平林簡之助

同大井町一、一月二十日

(書) 池田兼麿

同府下荏原郡大井町四〇九

笠原勝造

同郡平塚村戶越二〇七

平林簡之助

同大井町一、一月二十日

吉田モレ

同大井町四七三

松尾造酒藏

同橫濱市南太田町一、九八四

松尾造酒藏

同同上

鎌倉

神奈川縣鎌倉町大町字藏屋敷七八八

清水富喜子

同縣鎌倉町雪ノ下一、〇六九

榊富照子

同東京市外上目黒五八〇

(書) 榊富安左衛門

同東京市外上目黒五八〇

結城さか子

同縣藤澤町鶴沼川袋

榊富照子

同東京市外上目黒五八〇

木山勇司

同神奈川縣戶塚町字旭町

武田政助

同新瀉市學校町二番町

松尾造酒藏

同同上

新瀉

新瀉市寄居町四四

渡邊熊三郎

同市旭町一番町

高橋助七

同市礎町四ノ丁

(書) 大島太郎

同市學校町二番町

桐澤金重

同市寄居町

木村貫一郎

同市旭町二番町

齋藤正直

同市西仲町

邊見由太郎

同市西大畑町

齋藤正直

同同上

三島

靜岡縣田方郡三島町一、六〇五

林三喜雄

同同上

小出正吾

同一二四

(書) 間宮珪雄

靜岡縣田方郡三島町一、三三七

花島周一

同一二五

林三喜雄

同三島町字芝王子六〇五

(註) 林三喜雄 三島町字芝王子六〇五

白金 東京市外大崎町上 大正十三年五月 四日 郷司 慥爾 東京市芝區白金 嶺町六一 大正八年四月二十七日

(書) 原 基一郎 東京市外大崎町 上大崎四四四 門田 ツヤ子 同目黒町下目黒 九六四 加藤市太郎 同目黒町上目黒 二〇一

菊地 酉治 同大崎町上大崎 三五八 小林 隆雄 同目黒町下目黒 黒九四七 (書) 郷司 慥爾 同上

松本 松本市東町一丁目 大正十三年九月十三日 手塚 縫藏 松本市西町藤塚 小原 福治 同縣東筑摩郡島内村

(書) 瀧澤 万治郎 長野縣東筑摩郡 筑摩地村 福與 英治 同縣東筑摩郡松本村

松岡 弘 同縣南安曇郡温村 外村 義郎 同市牛込區市ヶ谷台町五

市ヶ谷 町 東京市牛込區市ヶ谷台町 三十一日 坪内 信 東京市外西巢鴨 池袋四〇八 荒木 庄次郎 東京市牛込區市ヶ谷 窪久町一九

(書) 西野 庄次郎 東京市外西大久保一三七 田邊 元次郎 東京市四谷區東信濃町二八 荒木 琴子 同市牛込區市ヶ谷 窪久町一九

伊賀 秀雄 東京市外大井町 水神下二二〇九 大井上 よね子 同市牛込區市ヶ谷台町一

静岡 静岡市水落町三ノ一七 大正十年 (書) 清水 重治 同市外安東村大岩入小路 大正二年十二月二十三日

(書) 佐々田 勝重 同市西草深町一四

(一) 二 東京中會所屬傳道教會之部

名稱	位	置	設立年月日	牧師又ハ主任者	住	所	任職年月日
小俣	栃木縣足利郡小俣村町田		明治三十一年十月十九日			(書) 齋藤 紫香 群馬縣山田郡廣奉村松原	
小山	静岡縣小山町音淵		九〇ノ二				
本所	東京市本所區龜澤		明治十六年一月二十三日			(書) 鹽路 武輝 同市本所區龜澤町一ノ二六牧師館内	大正十三年四月
(書) 望月 眞平	同市深川區西大工町一					(書) 安藤 政吉 同教會内	
柏崎	新潟縣柏崎町						
長野	長野市縣町七六						
(書) 海野 盛美	長野市淀ヶ橋					(書) 石田 三代治 同市花咲町	
村上	新潟縣村上町庄内		明治十七年八月二十日			雨宮 道雄 同上教會内	
(書) 加藤 五郎	同縣村上町						
伊那	長野縣上伊那郡伊那町青木町					宮本 桃喜 同上教會内	
(書) 加藤 茂	同縣同郡伊那町古町					(書) 宮本 桃喜 同上	

飯田 長野縣下伊那郡飯田江戸町

△宮本桃喜前同

五〇

(書) 肥後金四郎

同縣下伊那郡飯田町

①宮本桃喜前同

諏訪 長野縣上諏訪町新小路六七五ノ二

明治四十三年八月一日

○西山和義

同縣上諏訪町新小路

大正九年二月二十七日

白鳥敬藏

同縣上諏訪町大手町

①白鳥敬藏同

神田 東京市神田區美土代町二ノ一

明治十七年四月七日

○小平國雄

東京府荏原郡調布村田園都市六

大正八年四月八日

(書) 岩住良治

府下巢鴨町一四七〇

①小平國雄同

越谷 埼玉縣越ヶ谷町

○長尾丁郎

埼玉縣越ヶ谷町

大正四年四月十四日

(書) 白杵親正

同縣越ヶ谷町

①石垣武治同縣越ヶ谷町

忍町 埼玉縣北埼玉郡忍町大字行田三二九

明治十七年十月

△宇木津保

同縣忍町行田三二九

大正十二年四月二十日

麻布 東京市麻布區廣尾町三五

大正十年五月十五日

○瀨上廣成

東京市麻布區廣尾町三五

①宇津木保同上

(書) 舟木盛一郎

同市麻布區櫻田町二八

①瀨上廣成同上

木更津 千葉縣木更津町山ノ手

以下北長老

△伊藤道夫同市牧師館

大正十四年四月

①伊藤道夫同縣木更津町山ノ手

九十九里 千葉縣山武郡松尾町松尾六一

明治十六年一月十六日

○三浦宗三郎同

①大藤曠一同縣同町

(書) 里見富三郎

同縣同郡同町松尾

①寺内庄吉同市一條町

宮都宮 宇都宮市旭町一丁目市役所前

明治十九年

山本彌一郎同市牧師館

①寺内庄吉同市一條町

(書) 大西古筑

同市三條町

①寺内庄吉同市一條町

枋木 栃木縣枋木町倭町三丁目五四

○小林格同上

(書) 石川松治

同縣枋木町祝町

①門脇良逸同市同區茗荷谷町四七

礪川 東京市小石川區小日向台町一ノ二八

明治四十一年二月十一日

△牧野實枝治

同市小石川區小日向台町一ノ二六

①門脇良逸同市同區茗荷谷町四七

(書) 松原昌治

同市同區茗荷谷町六一

①門脇良逸同市同區茗荷谷町四七

共立 千葉縣君津郡大貫町小久保

明治四十五年七月八日

●安川ヤス

同縣同郡富津町富津

①門脇良逸同市同區茗荷谷町四七

東金 千葉縣東金町岩崎

明治四十五年七月八日

●堀内千代

同縣同郡富津町富津

①門脇良逸同市同區茗荷谷町四七

池袋 東京府下池袋八八

大正十二年三月十八日

○金井爲一郎

東京市牛込區市ヶ谷原町一ノ五〇

大正三年五月二十三日

(書) 森喜四郎

東京府下池袋一〇三七

五一

北豊島 府下西巢鴨町池袋 大正十一年十月。土方揆一 府下西巢鴨町池袋一七八八

五二

大正十二年入會

(書) 佐谷 正 東京市本郷區四片町 一〇はノ一〇同志會

(書) 土方揆一 同上

十字 東京府下淀橋町相木九一伊東方 大正十三年三月。金井爲一郎 東京市牛込區原町一ノ五〇

大正十三年五月二十三日

(書) 伊東 保士 同上

鴻巣 埼玉縣北足立郡鴻巣町官本町三八三(以下合衆國リホームド) 明治十七年。宇津木 保 埼玉縣北埼玉郡忍田行田

(書) 木村 元助 埼玉縣北足立郡田間宮村大字大間

(書) 吉田菊太郎 同上

大宮 埼玉縣北足立郡大宮町大門町三三七 大正十三年四月。吉田菊太郎 埼玉縣大宮町大門町三六七七

明治四十年四月二十九日

(書) 淺見 忠亮 同縣大宮町

(書) 吉田菊太郎 同上

長岡 新潟縣長岡市長町二丁目 大正十三年八月二十四日

小千谷 新潟縣北魚沼郡小千谷町 大正十二年十一月廿九日

山本 晋 同縣北魚沼郡小千谷町

(書) 大北順太郎 同上

岩本 靜岡縣富士郡岩松村岩本 明治三十三年

小川よね 同教會内

(書) 武澤 力三 同縣同郡加島村國久鈴木水車内

(書) 曾根とは 同上

西巢鴨 東京市外西巢鴨町宮仲一、九四七 大正十四年四月

青芳 勝久

粕壁 埼玉縣粕壁町六二三〇

早川友三

香港 2 King Hang Terrace Wantsai HongKong.

伊藤琴壽

(書) 下川 憲久 香港山崎齒科醫院

霜越 四郎

(一) 三 東京中會所屬傳道所之部

名稱 位 置 設立年月日 牧師又ハ主任者 住 所

任職年月日

澁谷 東京府下中澁谷七一七 (以下自註) 明治四十五年四月。尾島 眞治 東京府下澁谷町中澁谷七一七

明治三十五年四月六日

(書) 鶴 養 伯 府下中澁谷三〇五高橋方

(書) 鶴 養 伯 同上

館山 千葉縣安房郡館山町館山一〇五四 明治二十四年六月

吉田菊太郎

岩槻 埼玉縣岩槻町丹道 明治三十三年三月十五日

門馬 勝子

(以下合衆國リホームド) (書) 永谷 幾 衛 同縣同郡同町中井銀行舍宅

(書) 永谷 幾 衛 同上

蓮田 埼玉縣綾瀬村字蓮田 明治三十四年十月二十八日

吉田龜太郎

(書) 長谷部 習吉 同縣綾瀬村蓮田

(書) 吉田龜太郎 同上

五三

大正十年五月三十日

浦和 埼玉縣浦和仲町二 明治四十四年十月十日 吉田龜太郎 埼玉縣浦和岸町 三、七九二

五四

明治二十五年十月

(二) 浪花中會所屬教會之部

名稱 位 置 設立年月日 牧師又ハ主任者 住 所

金澤 金澤市石浦町 明治十四年五月一日 秋保孝次 金澤市川崎町二

任職年月日 大正八年四月二十四日

(書) 中島郁夫 金澤市新堅町三ノ五二 淡中彰義 同市長町三番町一〇

赤尾直松 同市下主馬町一九

上田泰嗣 同市上松原町一七

中村久三郎 同市杉浦町 (書) 森下勇二 同市

中澤正七 同市早道町五三

名古屋 名古屋市中區南外堀町 明治十七年五月三日

吉川逸之助 名古屋市中區白壁町四ノ二七

明治三十六年五月二十四日

(書) 松田幸吉 同市中區廣路町字南山四三

佐藤利惣治 同市西區江中町二丁目

塚村彌太郎 同市中區伊勢山町一八

館野三郎 同市中區御器所町門屋敷

馬場銚作 同市西區京町堀通三ノ一二

(書) 鳥羽雄吉 同市東區武平町 明治二十一年十月十三日

大阪西 同市西區阿波堀通三ノ五 明治十七年十月三日

福富徳次郎 同市西區阿波堀通一ノ三六

清水英三 同市西區江戶堀通一ノ一九

(書) 増穂龍吉 同市東區仁右衛門町五一九

庵原嘉十良 同市南區難波元町一ノ七七三

小島喜三郎 同市西區九條北通一ノ一一

中村美登志 同市北區旅籠町三三

清水タネ 同市西區九條北通一ノ一一

清水欣 兵庫縣武庫郡東山村岡本中島 (書) 増穂龍吉 同上

和歌山 和歌山市三木町堀 明治十八年四月十二日

石川四郎 和歌山市三木町堀 明治四十二年二月二十八日

(書) 山東敏二郎 同市東長町

楠本榮二 同市六番町 有本常太郎 同市南仲間町

村越いし子 同市北田邊町

天笠とも子 同市若屋町 吉村真一 同市吹上中學校前

西山 貞市 外 高松

(書) 小川佐代楠 同市南仲間町 明治三十五年十月七日

大阪北 同市北區常安町 明治十八年五月六日

桑田繁太郎 兵庫縣武庫郡西宮町西濱二ノ二七ノ四

宇賀武茂 同市東區北濱二丁目四七

(書) 神尾永三郎 同市北區岩井町二ノ二三

山本五郎 同市南區逢阪上ノ町三四

竹内完二 同上

阪出鳴海 同市西區八條通二ノ一三

山中範太郎 同市北區堂島中一丁目四九

(書) 飯沼素基 高知市水道町 高知市外櫻馬場 高知市築屋敷三丁目四十番地 田村美廣方

竹内完二 大阪府泉北郡濱寺日明山

小關小一郎 高知市水道町 高知市築屋敷三丁目四十番地 田村美廣方

明治二十九年十月二十一日

高知 高知市本町 明治十八年五月十五日

多田素基 高知市水道町 高知市外櫻馬場 高知市築屋敷三丁目四十番地 田村美廣方

明治二十九年十月二十一日

(書) 長尾良博 同市帶屋町

森下高茂 同市本町

一柳喜之助 同市永國寺町

山崎四郎 同市中島町

西山龜七 同市種崎町

池本浩靜 同江ノ口町

五五

久保熊治 土佐郡鴨田村 高野清喜 高知市石井中澤寅吉 香美郡岸本町 竹本 廣 香美郡香宗村 (日)川澤丑治 同市外小高坂 同市外小高坂

大阪南

大阪市南區南縮屋 町四九ノ一 明治十八年十二月十八日

森田殿丸 大阪市南區南縮屋町四九ノ一

龍口己之輔 同市南區難波元町三ノ一四三

吉田常一 同市東區神崎町

大正十年一月十六日

(書) 宮澤佳治

同府東成郡天王寺村 天王寺西高道三宅二

倉橋万壽雄 同府東成郡中村岡上ノ町

森田殿丸 同上

同市東區神崎町

同市東區神崎町

室町

京都市室町通丸太町上ノ東側 明治二十七年五月十三日

日高善一 京都市上京區室町通丸太町上ノ東側

堀外喜男 同市下鴨中川原八

堀外喜男 同上

同市下鴨中川原八

(書) 吹田憲一

同市北野白梅町 衣笠園内

和田琳熊 同市下鴨下川原

堀外喜男 同上

堀外喜男 同上

同市下鴨中川原八

山本勝三郎

同市日暮通丸太町角

伊東不耻男 同市外嵯峨村天龍寺内松殿寺方

山谷省吾 同市吉田神樂岡町三六ノ八

三宅フサ 同市外堀内村

吹田憲一 同上

井街輝子

同市堺町通丸太町下

馬場久成 同市楠谷町二

丸川 合同上

合同上

同市楠谷町二

神戶

神戶市再度筋平野淨水池東下 明治三十五年五月十五日

間野松藏 同市平野再度筋日本基督教會西隣

丸川 合同上

合同上

同市平野再度筋日本基督教會西隣

(書) 國吉政次郎

同市再度筋二妙見下

杉岩次郎 同府下豐能郡箕面村字平尾

國吉政次郎 同上

同上

同市再度筋二妙見下

穗永實全

同市中山手通四丁目一〇一ノ三

飯島誠太 同市大町西四ノ一

飯島誠太 同上

同上

同市中山手通四丁目一〇一ノ三

堺

堺市大町西四丁目一 明治三十八年四月十六日

飯島誠太 同市大町西四ノ一

飯島誠太 同上

同上

同市大町西四ノ一

柿崎洋吾

同市錦之町大道

三木元三 同市九間之町東二丁目

大枝淺吉 同市市之町東一丁目

同上

同市市之町東一丁目

片平英夫

同市車之町東二丁目

大枝正三郎 同市市之町東一丁目

柿崎洋吾 同上

同上

同市車之町東二丁目

大野又イ

同市甲斐町東二丁目

溝口悅次 同市市之町東一丁目

丹羽豊之助 同市東須磨西之口一七

末高興次郎 同市生田町一ノ七

波多好文 同市山本通四ノ一〇一ノ三

神戶

神戶市下山手通三丁目 明治三十九年十月二十八日

溝口悅次 同市市之町東一丁目

丹羽豊之助 同市東須磨西之口一七

末高興次郎 同市生田町一ノ七

波多好文 同市山本通四ノ一〇一ノ三

(書) 藤澤次郎

同市上筒井通六丁目十五ノ三

波多好文 同市山本通四ノ一〇一ノ三

福田敬太郎 同市外西灘村上野三四ノ二

同上

同市上筒井通六丁目十五ノ三

高木玉夫

同市平野梅元町一八

波多好文 同市山本通四ノ一〇一ノ三

福田敬太郎 同市外西灘村上野三四ノ二

同上

同市平野梅元町一八

梶原キミ子

同市葦合町二、一六ノ二

高田銀造 同市葦合町二、一六ノ二

山下儀平 同市宮脇町

山下儀平 同上

同市葦合町二、一六ノ二

高松

高松市三番町一二 明治四十年十月二十七日

高田銀造 同市葦合町二、一六ノ二

山下儀平 同市宮脇町

山下儀平 同上

高松市三番町一二

(書) 中村平

同市濱ノ町

山下儀平 同市宮脇町

山下儀平 同上

同市濱ノ町

大川茂平

同市餌指町

大田儀一 同市楠谷町八五

同上

同市餌指町

鎌倉全三

同市宮脇町

大田儀一 同市楠谷町八五

同上

同市宮脇町

湊川

神戶市永澤町四ノ五 明治四十一年四月八日

大野直周 同市上筒井通一丁目三八ノ一三

太田儀一 同市楠谷町八五

同上

神戶市永澤町四ノ五

(書) 福田實

同市若松町十一丁目三五

柳田通郎 同市上筒井通一丁目四八

太田儀一 同市楠谷町八五

同上

同市若松町十一丁目三五

柳田通郎

同市上筒井通一丁目四八

柳田通郎 同市上筒井通一丁目四八

太田儀一 同市楠谷町八五

同上

同市上筒井通一丁目四八

大野直周

同市上筒井通一丁目三八ノ一三

柳田通郎 同市上筒井通一丁目四八

太田儀一 同市楠谷町八五

同上

同市上筒井通一丁目三八ノ一三

太田儀一

同市楠谷町八五

柳田通郎 同市上筒井通一丁目四八

太田儀一 同市楠谷町八五

同上

同市楠谷町八五

明治四十四年四月

同市市之町東一丁目

大枝淺吉 同市市之町東一丁目

同上

同上

同市市之町東一丁目

明治四十五年二月

同市市之町東一丁目

大枝淺吉 同市市之町東一丁目

同上

同上

同市市之町東一丁目

明治四十四年四月

同市市之町東一丁目

大枝淺吉 同市市之町東一丁目

同上

同上

同市市之町東一丁目

明治四十四年四月

同市市之町東一丁目

大枝淺吉 同市市之町東一丁目

同上

同上

同市市之町東一丁目

明治四十四年四月

同市市之町東一丁目

大枝淺吉 同市市之町東一丁目

同上

同上

同市市之町東一丁目

明治四十四年四月

同市市之町東一丁目

大枝淺吉 同市市之町東一丁目

同上

同上

同市市之町東一丁目

明治四十四年四月

同市市之町東一丁目

大枝淺吉 同市市之町東一丁目

同上

同上

同市市之町東一丁目

明治四十四年四月

同市市之町東一丁目

大枝淺吉 同市市之町東一丁目

同上

同上

同市市之町東一丁目

明治四十四年四月

同市市之町東一丁目

大枝淺吉 同市市之町東一丁目

同上

同上

同市市之町東一丁目

明治四十四年四月

同市市之町東一丁目

大枝淺吉 同市市之町東一丁目

同上

同上

同市市之町東一丁目

寺尾喜六 同市西須磨西北野下三
木村常盤 同市荒田町四丁目二七ノ一〇六
前田富太郎 同山王町二ノ一

布引 神戶市生田町一ノ二六 明治四十四年五月七日
谷津善次郎 神戶市籠池通五ノ七
安福術三郎 神戶市葦合神若通五ノ六
岩下百々造 神戶市北長狹通三ノ三ノ一
齋藤四郎 同市西須磨墓之前六

(書) 鎌田源治 兵庫縣武庫郡西灘村河原二八
野田鍔五郎 同縣同郡芦屋沙見櫻前

齋藤四郎 同上
山田賢藏 大阪府東成郡天王寺村天王寺聖天坂下
門奈貞治 同府同郡天王寺村大字天王寺五八三ノ一
古谷新太郎 同所五一七

天下茶屋 大阪府東成郡天王寺村聖天坂下 明治四十四年五月七日
松井小一郎 大阪府東成郡住吉村大帝塚九壹
小師三郎 同所柳原通
濱口楠之進 同郡住吉村阿部野神社北裏
阪井隆三 同府西成郡玉出町岸ノ里

德島 德島縣德島市通町二丁目北側 大正二年三月二日
奧田鹿三 德島市通町二丁目北側牧師館
堤幸太郎 同上
小串信太郎 同市住吉島町

(書) 近藤茂登一 同市德島本町南五三
元木精一 同市富田浦仲ノ丁
前田治 同市脇陰町 〇宮本復吉 同上

宮本復生 同市德島町字新藏丁
百島操 同市東區館屋町一丁目乙一 明治四十四年六月
渡邊冬子 同縣同郡西宮町字夙川
宮川益子 大阪府外天下茶屋赤橋畔

大阪東 大阪府東區館屋町一丁目乙一 大正二年九月廿八日
寺井謹爾 兵庫縣武庫郡芦屋
高松政正 大阪府豊能郡池田町室町八番丁 〇百島操 同上

横江捷三 大阪府北區河内町一丁目
船橋作二 大阪府南區木津敷津町
富田諒吉 神戶市西代大谷町 大正三年十月十五日

湊西 神戶市兵庫下澤通五丁目 明治四十二年二月二十一日
梅野幾太郎 神戶市大手三ノ井一九ノ一
三木恒藏 同市水木通九丁目三四ノ一〇
瀧原保 同市西代大谷町

(書) 南澤猛 同市中山手通六丁目
秋山義一 京都市松尾町中立賣下ル橋本方
小西駒之介 同市五條大宮西入
飯高元春 同市今出川新町東入

聚樂 京都市松屋町中立賣下ル
高林宗一 同市葺屋町中立賣下ル
武市牧子 同上長者町淨福寺東入下ル

久保田八重子 同市東洞院丸太町下ル
津村米三郎 同市智惠光院中立賣下ル
川竹武夫 同市相國寺北門前町上ノ町

堺中央 大阪府堺市熊野町東四丁一八 大正十年五月十五日
齋藤敏夫 大阪府堺市熊野町東四丁目一八 大正十年十一月三十日

(書) 吉元 泰 同府泉北郡濱寺町母尾

宮庄二作 同府堺市市之町東一丁目

小松原 孝 同堺市榎町三三八

黒田りよ 同府堺市甲斐町東二丁目

棗田藤吉 同府泉北郡濱寺町母尾

(書) 棗田 愛 同府同市錦之町東一丁目

島田嘉穂 同府泉北郡濱寺町母尾

安藝 高知縣安藝町 明治二十二年

(書) 安田 稔 高知縣安藝郡安藝町

小松庫太郎 同上

佐藤丑吉 同上

清岡玄之助 同上

坂本政之 同上

(書) 安田 稔 同上

金城 名古屋市東區暨代官町一七

樋田豊治 名古屋市東區暨代官町一七

大正四年四月十八日

(書) 辻村三郎 同市東區往還町

福間イク子 同市東區芳野町二丁目一八

市村與市 同市東區東主税町一

市村英野 同上

佐々木静夫 同市東區暨代官町一七

尾關城一 同市東區千種町吹上二〇

五辻雪子 同市東區往還町

柴田久吉 同市東區古出町一七一

(書) 藤田忠守 同市東區杉村町船付一〇五

神戸住吉 兵庫縣武庫郡住吉村千歳道

今村好太郎 兵庫縣武庫郡住吉村字八甲田七三六

大正三年十一月二十六日

(書) 谷川 瑛 同縣武庫郡六甲村

小向政治 同縣御影町字阪地一〇五七

樋口卯太郎 同縣住吉村唐松八一〇

龜田房夫 同縣魚崎町二四七

山口民治 同縣魚崎町横屋五七一

(書) 龜田房夫 同縣武庫郡魚崎町二四七

岡本須美雄 同縣精道村芦屋百新田六三四

河村齋美 和歌山縣新宮町伊佐田

大正十一年四月二十一日

新宮 和歌山縣新宮町伊佐田

成江秀治 同上

中村熊吉 同上

(書) 小倉周三郎 和歌山縣新宮町

尾崎はな 同上

宇野ハナナ 同縣三輪崎町

小倉信男 同縣同町

(書) 中村熊吉 同縣新宮町出

西都 京都市東山五條下

井田健司 京都市東山五條下

(書) 田代 同縣新宮町

(書) 上杉俊作 京都市西洞院高辻下

淺尾藤次郎 同市東山宮井北門北入

岡本 昇 同市東九條

竹内璋二 同市猪熊高辻上

松岡伊三郎 同市佛具町五條下

三島田鶴 同市柳馬場佛光寺上

(書) 武田貞輝 同上教會内

山田 宇治山田市岩淵町 大正十四年。富山光慶 宇治山田市岩淵

大正十三年四月二十四日

(書) 松本好三 宇治山田市岩淵

(書) 富山光慶 同上

(二) 浪花中會所屬傳道教會之部

名稱	位	置	設立年月日	牧師又ハ主任者	住	所	任職年月日
津		三重縣津市玉置町	大正十一年八月十三日	西本	幹	津市殿町三一	大正十三年五月五日
(書)		宇佐美歲次	津市中河原				
愛		和歌山縣海草郡内海町大字名高	明治十六年五月	林		茂富	大正元年四月二十二日
(書)		青山定楠	和歌山縣海草郡内海町大字名高				
永		愛知縣瀬戸町	明治二十一年十月二日	雨宮	正士	愛知縣瀬戸町一	明治四十三年四月十三日
(書)		塚本朝市	同縣瀬戸町三一				
中		岐阜縣惠那郡中津川町堅清水町	明治二十四年十一月一日	坂口	龍雄	同縣同郡中津川町堅清水町	大正十三年四月二十四日
(書)		河原祐三郎	同中津川町花菱				
福		福井市寶永上町五〇ノ一	明治四十一年四月二十三日	山本	茂一	福井市寶永上町五〇ノ一	大正十三年四月二十四日
安		大阪市西區九條北通三丁目	明治四十二年四月十六日	麻生	岩雄	大阪市北區南安治川通一丁目一	大正十二年四月二十六日
(書)		石田隆照	大阪府下東郡北百濟村字桑津二七七				
龜		三重縣龜山町西丸	明治四十二年四月十六日	田中	幾太郎	同縣龜山町西丸	明治四十一年二月三日
(書)		時澤伊之助	同町				
茨		大阪府三島郡茨木町大字鳥屋町		小松	健兒	大阪府外北島神學舎	大正十四年四月
住		大阪府西成郡粉濱村四八六	明治四十四年九月二十日	福井	珍彦	大阪府西成郡粉濱村四八六	大正十三年四月二十四日
(書)		川添安太郎	同村神ノ木				
殿		金澤市中町	明治四十四年十月十日	中村	慶治	金澤市水溜町六	明治三十五年四月十七日
富		富山市總曲輪町六〇	大正元年四月十八日	龜谷	凌雲	富山市總曲輪町六〇	同市飛梅町五二ノ二
吉		京都市吉田二本松町四	大正元年四月二十日	秋元	茂雄	京都市吉田二本松町四	明治三十六年八月十六日

(書) 瀧浦文彌 京都市下鴨膳部 町一〇一

(書) 秋元茂雄 同上

難波 大阪市南區難波新 大正元年四月二 十日

高橋朝次郎 大阪府北河內郡 守口町 大正五年四月十 二日

(書) 松山準規知 大阪市西區築港櫻島 東洋木材防腐株式會社內

(書) 高橋朝次郎 同府北河內郡守 口町 同治三十六年四 月十三日

篠山 兵庫縣多紀郡篠山 大正元年四月二 十日

津久井新三郎 兵庫縣多紀郡篠山中 北新町八八ノ二

(書) 渡邊喜十郎 同縣同郡篠山町 吳服町

(書) 津久井新三郎 同上

新舞鶴 京都市新舞鶴町朝 日通三條西村直方

(書) 西村 直 新舞鶴町三條

姫路 姫路市東吳服町一 大正二年四月七 日

西端利一 姫路市坊主町四 八 大正六年四月二 十七日

四條 京都市高辻堀川西 入中島富吉方

橋本千二 京都市松屋町中 立賣下ル 大正四年四月十 四日

(書) 中島富吉 同市高辻堀川西 入

(書) 橋本千二 同上

伏見 京都市紀伊郡伏見 町字京町大黒

鹽井信次 同上 大正十一年四月 二十一日

(書) 橫井源三郎 伏見町字銀座二 丁目

(書) 石光新一 同郡堀內小字筒 井伊賀

波瀨 三重縣一志郡波瀨 大正六年二月十 五日

七條 京都市下京區新町 通三哲上ル 大正六年六月三 日

吉田英三 京都市新町通三 哲上ル 大正四年四月十 四日

(書) 長岡松雄 京都市烏丸通嵯 藥師南丸二方

(書) 石井喜三郎 京都市下京區七 條通烏丸西入ル 大正五年四月三 日

高岡 富山縣高岡市坂下 町九五

大山吉郎 同縣高岡市坂下 町九五 大正五年四月三 日

(書) 大井光高 高岡市片原橫町

(書) 大山吉郎 同上

阿倍野 大阪市外天王寺村 二六六〇

(書) 岩田新藏 大阪府北區中野 町一ノ二四三 大正三年四月十 三日

(書) 江幡 亮 大阪市外今宮町 五七〇

(書) 岩田新藏 大阪府北區中野 町一ノ二四三 大正七年四月十 二日

御坊 和歌山縣御防町 日

石倉德松 同上 大正七年五月五 日

相生 兵庫縣赤穂郡相生 町一八四四

輕部庄作 大正八年五月二 日

上野 三重縣阿山郡上野 町三之西町

好川二一 三重縣阿山郡上 野町福居町 大正八年九月十 六日 明治四十年四月 (復)

四日市 三重縣四日市市下 新町

(書) 好川二一 同上

北川直一 同市下新町

(書) 北川直一 同上 大正十年四月十 四日

粉河 和歌山縣粉河町 大正九年四月十日 兒玉充次郎 和歌山縣粉河町 七日

丸龜 丸龜市雜賀町十一 大正九年十一月七日 筑紫益人 丸龜市雜賀町十 二日

(註)ウヅロ、ハツセル 丸龜市中府四三 九

須崎 高知縣高岡郡須崎町一七六〇 大正十年四月十三日 坂東清人 高知縣須崎町一七六〇 七日

(書) 前田武彌 同町 坂東清人 同上

清水 名古屋市東區清水町六ノ六八 大正十年四月十日 武田公平 名古屋市東區杉村町 二日

(書) 前田勝良 名古屋市東區赤塚町 武田公平 同上

西野田 大阪市北區西野田 大正九年十二月五日 林弘之 大阪市北區西野田東町三 二日

城南 京都市坊城通御池上ル 大正十一年十二月四日 日高善一 京都市上京區室町通丸太町上東側 二日

(書) 上河原爲乙 同上 上河原爲乙 同上

田邊 和歌山縣田邊町大字片町一〇四 大正十三年二月十五日 椿種三 和歌山縣田邊町中屋敷町 十日

(書) 松場勢太郎 同縣田邊町下屋敷町 (註)ジュリア、レピツ 同縣田邊町中屋敷町 二日

上分 愛媛縣宇摩郡上分町字北新町五一八 大正十年五月四日 杉岡純司 愛媛縣宇摩郡上分町北新町五一八 二日

(書) 篠原完三 同縣同町 杉岡純司 同上

高知中村 高知縣幡多郡中村町中ノ町 (附長老) 大正十二年四月十一日 西山道五郎 同上

(註)岡村龜高 同上

(二)宮 神戶市布引町二ノ二 (以下北長老) 大正十年六月十日 黒田四郎 神戶市外西灘村字上野三四ノ二 二十四日

(書) 鈴木信五郎 神戶市關西學院高等商業學部教務課 黒田四郎 同上

兵庫 神戶市兵庫須佐野通六丁目 大正十二年五月十日 植村夏樹 同上

高芝 和歌山縣東牟婁郡下里村字高芝 大正十三年三月七日 須藤 晉 同上

敦賀 福井縣敦賀町御手洗二三 大正十三年五月二十五日 須藤 晉 同上

(書) 清水靜造 敦賀町北津内一五二ノ七 大正十三年六月五日 伊藤貫一 同上

串本 和歌山縣西牟婁郡串本町 大正十三年六月五日 伊藤貫一 同上

(書) 神田林太郎 同縣同町 伊藤貫一 同上

(二) 浪花中會所屬傳道所之部

名稱	位	置	設立年月日	牧師又主任者	住	所	任職年月日
△高槻	大阪府三島郡高槻大字高槻八九						
△小坂	大阪府中河内郡小坂村小坂		大正十三年五月二十五日	又吉全祐	同上		大正十年四月十四日
武生	福井縣武生町警察前			山本壽一	福井市金永上町五〇ノ一		
△小松	石川縣能美郡小松町京町八一		大正九年五月二十日				
池田	大阪府池田町三〇七二		明治四十年	小倉鐵之助	大阪府下池田町本町		大正元年四月二十四日
伏木	富山縣伏木町		明治四十年	大山吉郎	富山縣高岡市坂下町九五		大正五年四月二十二日
△八尾	大阪府八尾町		明治四十三年四月十三日				
△松坂	三重縣松坂町		明治三十九年十一月十一日	平尾重太郎	津市丸ノ内南町		大正六年四月二十九日
△桑名	三重縣桑名京町		明治四十五年六月廿日	大磯賴枝	津市下辨才町		明治四十四年四月二十一日
△尾鷲	三重縣北牟婁郡尾鷲町		明治四十二年十月	岩本錠治			
△大原	大阪府南河内郡柏原町		明治四十二年二月	宮田好章	同上		明治四十一年四月二十三日

(三) 東北中會所屬教會之部

名稱	位	置	設立年月日	牧師又主任者	住	所	任職年月日
仙臺	仙臺市東二番町六一		明治十四年五月一日	菰原信行	仙臺市東二番町六一		明治三十年四月十三日

佐野	大阪府泉南郡佐野町			大藤英規	同上		大正元年九月二十日
河北	大阪府北河内郡守口町		大正元年五月五日	高橋朝次郎	大阪府北河内郡守口町		大正五年四月十二日

柳山	津市柳山町		明治四十四年二月十五日	平尾重太郎	津市丸ノ内南町		大正六年四月二十九日
(書) 辻三千郎	同市下辨才町			大磯賴枝	同市下辨才町		

(書) 大磯賴枝 同上

久居	三重縣久居町		大正二年四月十九日	福島祐一	福井縣小濱町玉前八二		大正十年四月十四日
小濱	福井縣小濱町玉前八二			福島祐一	同上		

(書) 福島祐一 同上

外島	大阪府西成郡川北村		大正元年十一月十七日	福田荒太郎	大阪府豊能郡豊中村新免		大正十年四月十四日
△高濱	福井縣高濱町			福島祐一	福井縣小濱町玉前八二		

(書) 佐々木幸助 同市東三番町二
 宮本政之助 同市東四番町四
 眞山 良 同市大町二ノ一
 四九
 伏屋義一郎 仙臺市米袋下町二
 橋本よしぢ 同市柳町五二
 伊藤佐亮 同市米袋十二軒
 丁五
 鈴木重久 同市東九番町
 後藤兼文 同市向山長倉
 (會) 根 廣 同市北二番町一
 七
 岩沼 宮城縣名取郡岩沼町二一
 明治十八年十月三十日
 伊藤嘉吉 仙臺市荒町五八
 作間 やす 同上
 明治三十六年四月十三日
 (書) 作間達兒 同縣名取郡岩沼町櫻三七
 佐藤豊四郎 同縣名取郡岩沼町
 作間 やす 同上
 高澤和平 同縣名取郡岩沼町
 岡本龍吾 同上
 (會) 伊藤嘉吉 同上
 東六番町 仙臺市東六番丁四
 明治四十年七月二日
 門馬清次郎
 (書) 加藤主一 同市外原町南目一三九
 濱名 正 同市南五十人町五九
 (濱) 濱名 正 同上
 福島 福島市後田一三
 大正三年四月十日
 城生安治 福島市後田一三
 牧師館
 (書) 桐澤長明 同市中町
 芳賀甚吉 同市新町
 黑澤謹吾 同市置賜町
 山内爲壽 同市宮下
 兼松鐵雄 同市後田牧師館
 (會) 城生安治 同上
 荒町 仙臺市南鍛冶町一
 大正九年一月二十五日
 秋保親晴 同市南鍛冶町一
 大正三年四月十五日

(書) 一見 清 同市土樋一二
 清水東四郎 同市越路三四
 佐久間民治 同市東八番町
 高橋武治 同市東八番町
 石垣松三 同市裏柴田町
 大西 穰 同連坊小路
 門馬 操 同市三百人町
 伊藤わなよ 同市六十人町
 (會) 清水幸二 同市越路三四

(三) 二 東北中會所屬傳道教會之部

名稱 位 置 設立年月日 牧師又ハ主任者 住 所 任職年月日
 古川 (以下合流) 宮城縣志田郡古川町中里 十一日 小笠原政繁 同縣同郡同町中里 大正七年四月九日
 (書) 尾花 勇 同縣同郡古川町會所小路 (會) 小笠原政繁 同上
 石卷 宮城縣北鹿郡石卷町南鰯山ノ一 明治十四年 中山眞平 同縣同郡石卷町南鰯山 (會) 中山眞平 同石卷町 大正七年四月四日
 (書) 佐々木辰三郎 同町新田町 一 芦名武雄 同縣刈田郡白石町櫻小路 (會) 中山眞平 同石卷町 大正八年四月二十四日
 白石 宮城縣刈田郡白石町櫻小路 一日 同縣刈田郡大平村大字森合字幕之内二 加賀久子 盛岡市內丸二九 月二十九日
 (書) 高橋重太郎 同縣刈田郡大平村大字森合字幕之内二 加賀久子 盛岡市內丸二九 月二十九日
 盛岡 岩手縣盛岡市内丸二九 十日 加賀久子 盛岡市紺屋町八
 (書) 福地嘉吉 盛岡市上衆小路 (會) 土田熊治 同上

上ノ山 山形縣上ノ山町鶴 明治十九年十一月六日

○竹内虎也 同縣上ノ山湯町 新道 明治三十八年五月六日

(書) 京極教次郎 同縣上ノ山鶴野町

(書) 竹内虎也 同上

中村 福島縣相馬郡中村 明治十九年十二月六日

○諏訪修治 同縣同郡中村町 大手先

(書) 鎌田昌次郎 同縣同郡中村町 新町

(書) 鎌田昌次郎 同上

山形 山形市六日町二七 明治二十年

△渡邊良亮 同市六日町二七 大正八年四月二十四日

(書) 成原理三郎 同市香澄町

(書) 菅原清士 同市六日町専稱寺裏 大正八年四月二十四日

鶴岡 山形縣鶴岡市馬場 明治二十一年六月十一日

△梅津吉之助 同縣鶴岡市馬場町十日町口

(書) 千葉 武 同市高畑町

(書) 千葉 武 同上

米澤 米澤市元籠町三二 明治二十三年五月三三

△高木史郎 米澤市元籠町三二 大正十三年五月九日

(書) 伊東榮三 同市番正町

(書) 伊東榮三 同上

大河原 宮城縣柴田郡大河原町 明治二十三年十一月三日

○猪股譽平 宮城縣柴田郡大河原本町

青森 青森市長島町八三 明治二十四年十一月一日

○大和吉五郎 青森市長島町八三 門馬愛子 同市大工町一〇 大正二年三月九日

(書) 鬼木謙二 同市旭町 大正六年四月二十六日

(書) 瀨尾正夫 同縣同郡同町一 大正六年四月二十六日

(書) 瀨尾正夫 同上 大正六年四月二十六日

(書) 佐藤儀四郎 同縣同郡長岡村 明治二十四年十一月二十四日

△瀨尾正夫 同前 大正六年四月二十六日

飯坂 福島縣信夫郡飯坂町湯町一 明治二十四年十一月二十八日

△瀨尾正夫 同縣同郡同町一 大正六年四月二十六日

長岡 福島縣伊達郡長岡村字石城一九 明治二十四年十一月二十四日

△瀨尾正夫 同前 大正六年四月二十六日

(書) 佐藤儀四郎 同縣同郡長岡村 明治二十四年十一月二十四日

△瀨尾正夫 同前 大正六年四月二十六日

秋田 秋田市下長町六番 明治二十五年

○星野又吉 秋田市下長町六 明治二十七年四月三日

(書) 加賀谷龜吉 秋田市臺所町

(書) 小西源助 同市下長町六 明治二十七年四月三日

會津若松 若松市榮町三ノ四 明治二十七年九月十日

○丹 忠 若松市榮町三ノ四八 高玉いな 同 若松市千石町 大正三年四月十五日

角田 宮城縣伊具郡角田町西仲町一八九 明治廿七年

△遠藤甚四郎 宮城縣伊具郡角田町西仲町一八九 大正十一年三月八日

(書) 佐藤吉治 同縣同郡同町立

(書) 遠藤甚四郎 同上 大正十二年五月三日

一ノ關 巖手縣一ノ關中街 明治廿八年十月一日

△馬場慶一郎 同上 大正十二年五月三日

七三

七三

七三

七三

七三

七三

七三

七三

七三

七三

七三

七三

七三

七三

(書) 加藤春治 同縣同町南十軒

(書) 馬場慶一郎 同上

平 福島縣平町十五丁目二六

中村清次 同縣平町二六牧師館

明治四十四年五月十七日

酒田 山形縣飽海郡酒田町今町

三浦鐵造 山形縣飽海郡鶴渡川原村立町甲三六

明治二十七年七月一日

(書) 岡部徳次郎 同縣酒田町鷹町

(書) 三浦鐵造 同上

小高 福島縣相馬郡小高町

成瀬高子 同縣相馬郡原町幸町

(書) 渡邊安 同縣同郡小高下町

新庄 山形縣新庄町 明治三十七年△結城國義 山形縣新庄町

(書) 結城國義 同上

福島本郷 福島縣大沼郡本郷町

高久孝吉 若松市中一ノ町

大正八年四月二十四日

(書) 水野喜市 同縣大沼郡本郷町字瀬戸町

(書) 高久孝吉 同上

郡山 福島縣郡山市壇場

齋藤一 同縣郡山市壇場

大正十三年五月八日

(書) 久田克人 同縣郡山市堂前

(書) 齋藤一 同上

北四番丁 仙臺市外記町通り

小林龜太郎 仙臺市外記町通り

大正六年四月二十五日

(書) 樋口光平 仙臺市車町九

(書) 樋口光平 同上

八澤 福島縣相馬郡八澤浦南海老磯ノ上

齋藤一 同縣郡山市壇場

前出

本宮 福島縣安達郡本宮

齋藤一 同縣郡山市壇場

(書) 糖澤省吾

(書) 齋藤一 同上

喜多方 福島縣耶麻郡喜多方町新道

池野朝雄 福島縣耶麻郡喜多方町新道

大正九年六月二十五日

(書) 東條三郎 同縣同郡鹽川村外濱崎

(書) 池野朝雄 同上

横手 秋田縣平鹿郡横手町四日町下三

佐藤義郎 秋田縣横手町四日町下三

大正三年四月十五日

(書) 須藤雅一 秋田縣平鹿郡横手町上野台町

(書) 佐藤義郎 同上

東北學院 仙臺市東二番丁四

赤石義明 仙臺市東七番丁

(書) 津田郁 仙臺市東二番丁

(書) 出村剛 仙臺市北四番丁

宮古 巖手縣宮古町下築地第一地割一六

菅井喜七 同縣宮古町第一地割一六

明治四十三年五月十五日

(以下會黨同リ本ノ下)

(書) 菅井喜七 同上

伊達 福島縣伊達郡長岡村

瀨尾正夫 同縣信夫郡飯坂町湯町一二

大正六年四月二十六日

(三) 東北中會所屬傳道所之部

名稱	位	置	設立年月日	牧師又ハ主任者	住	所	任職年月日
登米	宮城縣登米町前小路	以下合築園リホムド	明治廿六年十二月二十五日	石川泰次郎	同上	中村傳道教會	大正五年一月一日
(書)	島原卓郎	同上					
亘理	宮城縣亘理町		明治二十三年	諏訪修治	同上	福島縣中村町川原町	大正九年十一月二十九日
(書)	渡邊清助	同縣亘理					
川俣	福島縣伊達郡川俣町八反田		明治四十年五月三十一日	後藤金治郎	同上	福島縣伊達郡川俣町八反田	
(書)	三浦宇之助	福島縣伊達郡川俣町寺窪					
原町	宮城縣原町苦竹一		明治三十六年	小林龜太郎	同上	仙臺市外記町通	大正十年四月二十一日
(書)	須賀川	福島縣須賀川町兵部田四七	明治二十七年二月八日	佐藤貞一	同上	同縣須賀川町兵部田四七	大正十年四月二十一日
(書)	柏村豐吉	同縣同町馬町					
楯岡	山形縣楯岡町		明治四十三年五月	近藤助四郎	同上	山形縣楯岡町	

名稱	位	置	設立年月日	牧師又ハ主任者	住	所	任職年月日
二本松	福島縣安達郡二本松町松岡五七		明治四十四年五月六日	山本岩吉	同上	教師館	大正三年七月一日
(書)	小熊啓正	同縣同郡同町					
白河	福島縣白河町愛宕町		大正四年六月十三日	佐藤貞一	同上	福島縣須賀川町兵部田四七	大正十年四月二十一日
大曲	秋田縣大曲町新町		大正六年四月十日	佐藤義郎	同上	秋田縣橫手町四日町下三	
(書)	佐藤欣一郎	秋田縣仙北郡大曲町新町					
△福岡	岩手縣二戸郡福岡町五日町二六六		明治四十五年一月十日	馬場慶一郎	同上	同縣一戸町上町	大正六年四月二十一日
猪苗代	福島縣猪苗代町字古城町		明治四十五年一月十日	佐々木安治	同上	福島縣猪苗代町古城町一一九	大正六年四月二十一日
(書)	佐々木安治	同上					
野邊地	青森縣上北郡野邊地町城内		明治四十一年六月十九日	佐藤信雄	同上	青森縣野邊地町城内	
(書)	佐藤信雄	同上					
日詰	岩手縣紫波郡日詰町仲町		大正五年一月一日	佐羽内哲三	同上		大正七年四月四日
置賜	山形縣宮内町旭町		大正七年六月四日	笹原	同上	周山形縣宮内町	大正十二年五月三日

(書) 小笠原利吉 同 町 柳 町 (註) 笹原 周 同上
 三 春 福島縣田村郡三春 明治四十四年七 齋 藤 一 福島縣郡山市壇 場二五ノ一
 (書) 佐藤利四郎 同縣田村郡三春 町北町 (註) 齋 藤 一 同上
 一ノ戸 岩手縣一ノ戸町上 羽生義三郎 同縣一ノ戸町上
 村 田 宮城縣柴田郡村田 明治四十三年 猪 股 譽 平 宮城縣柴田郡大河原本町
 △田尻 宮城縣遠田郡田尻 大正十一年五月 △小笠原政繁 宮城縣志田郡古 川町中里
 原ノ町 福島縣相馬郡原町 明治三十四年六 成 瀨 高 福島縣相馬郡原 町幸町教會内
 九 森 宮城縣伊貝郡丸森 遠藤甚四郎 宮城縣伊貝郡角田町 西仲町一八九
 (書) 村上伊藏 同縣同郡丸森町 齋 藤 遠 平 同 上
 小牛田 宮城縣小牛田驛前 △室井長治 宮城縣小牛田町 義見塚
 (註) 齋 藤 遠 平 同 上 大正七年四月四 日

(四) 鎮西中會所屬教會之部

名稱	位 置	設立年月日	牧師又ハ主任者	住 所	任職年月日
長 崎	長崎市大浦三一	明治九年十二月 二十三日	袖山信一郎	長崎市東山手一	大正二年四月六 日
(書) 山田五郎	長崎市矢ノ平七 一七	長崎市西山郷六 三	草野芳槌	長崎市東山手九	長崎市十人町九 三
熊 本	熊本市東外坪井町 七	明治四十年九月 二十六日	佐々木二一	長崎市東小島 一四四	長崎市東山手一 一
(書) 三宅俊輔	熊本市黒髮町	唐 牛 正	小林榮次郎	熊本市東坪井町 七	大正十二年四月 五日
中 川	熊本市京町	田 尻 鍛	津田正象	熊本市小幡町 河内村	熊本市小幡町
福 岡	福岡市天神町三 月八日	藤 田 治 芽	唐 牛 正 同上	福岡市天神町三 牧師館	大正十年四月五 日
(書) 脇坂良太郎	福岡市天神町三	板垣政參	稗田五郎	福岡市舞鶴町 屋五二七立花方	福岡市春吉先新 屋五二七立花方
征 矢	福岡市地行東町 五番町	(註) 板垣政參 同 上			
佐世保	佐世保市濱田町六 月一日	三 原 一 正	池田一索	佐世保市濱田町 六七	佐世保市城山町 一九八
(書) 馬郡喜八	佐世保市上京町 一〇四	北村德太郎	池田一索	佐世保市清水町 九	佐世保市城山町 一九八

若松 福岡縣若松市土井 明治三十二年四月八日

(書) 原 新太郎 福岡縣若松市土井町 藤崎 元和 福岡縣若松市濱ノ町 光安 友男 同 縣同市本町

田代 善吉 同縣同市中割町 (會) 田代 善吉 同上

小倉 小倉市博勞町二九五 明治廿四年四月五日 宮 松 治 同上 大正十二年四月二十三日

(書) 大島 忠雄 八幡市高見町二丁目一三號官舎 藤井 金之助 小倉市博勞町七 草刈 雄治 小倉市歸物師町三〇

並河 徹 小倉市室町鐵道驛長官舎 (會)

佐賀 佐賀市與賀町新地 永田 猪之介 佐賀市與賀町新小屋小路 古賀 美須 佐賀市西田代町東正丹小路

(書) 岡本 歌 佐賀市上田布施町舊訓練屋敷 栗原 荒野 小賀 赤松町精 武富 繁 佐賀縣佐賀郡鍋島村增田

中溝 爲六 佐賀市神野町三 園部 丑之助 同市同町虹馬場

都城 宮崎縣都城虹馬場 明治四十三年七月二十日

(四) 二 鎮西中會所屬傳道教會之部

名稱 鹿兒島市山下町三 設立年月日 明治十四年七月二十三日 番匠 鐵雄 鹿兒島市冷水町 二九二 任職年月日 大正十三年十一月二十七日

(書) 落合 兼文 鹿兒島市長田町 一三二 (會) 番匠 鐵雄 同上

門司 門司市小森江 大正五年五月二十八日 山田 幸一 門司市小森江 大正十二年十月二十日

(書) 福井 源吉 門司市清瀧町 (會) 原田 善一 門司市谷町

戸畑 福岡縣戸畑町東本 大正九年四月 河合 龜輔 八幡市枝光町北本 町六丁目宮司方 明治三十年四月二十五日

(書) 木舟 要太郎 小倉市外下到津 河合 龜輔 八幡市枝光町北本 町六丁目宮司方 明治三十年四月二十五日

八幡 八幡市枝光北本町 大正十年五月十五日 河合 龜輔 八幡市枝光町北本 町六丁目宮司方 明治三十年四月二十五日

(書) 陳 內 清 八幡市枝光北本 町六丁目 (會) 大森 辰二 八幡市荒生田日之出町

那覇 沖繩縣那覇市久米 大正十二年六月二十五日 芹 澤 浩 那覇市久米町二 大正十二年十二月六日

(書) 鮫 島 榮 吉 同市久米町二ノ五七教會內 (會) 芹 澤 浩 同上

首里 沖繩縣首里市山川 大正二年六月十九日 芹 澤 浩 沖繩縣那覇市久米町二ノ五七

(書) 比嘉 盛宮 沖繩縣首里市山川町一ノ三八 (會) 比嘉 盛宮 首里市山川町一ノ三八

(五) 山陽中會所屬教會之部

名稱	位	置	設立年月日	牧師又ハ主任者	住	所	任職年月日
下關	下關市田中町上筋	明治十三年十二月二十五日	松本德三郎	同上	牧師館	大正二年五月一日	
(書) 黒木五郎	下關市大坪町向山		富田菊次郎	下關市觀音崎町	井川直衛	同市外一宮	
都留	清	同市觀音崎町	足達くに子	同市講和園内	(自) 松本德三郎	同上	
廣島	廣島市國泰寺町一八九	明治十六年十一月二十八日	和田方行			明治三十七年十一月二十日	
(書) 芳我雄	廣島市南竹屋町三七		則武勝之進	同市皆實町	伊藤節二	同市白鳥町	
八	東光一	同市千田町	土屋一郎	同市鐵砲町一〇	戸田三郎	同市鐵砲町一〇	
豊浦	山口縣長府町	明治十六年十二月三日	辻德兵衛	同縣同町兼倉濱		大正四年十一月二十四日	
(書) 十川嘉太郎	同町侍町		高林キヨ	同町松原	佐々部謙一	同町里門	
門	未永頼太郎	同町中濱町	釘光甲子郎	同町南町	(自) 佐々部謙一	同上	
	弘中定潔	同町惣社町					

吳山	吳市中通五丁目六五	明治二十四年十一月十四日	中山國三	吳市中通五丁目六五		明治三十七年四月七日
(書) 十時菊子	同市下山手二五		岩崎利太郎	同市本通六丁目三〇二	小野德三郎	同市東二河通六丁目
三川	稻野修太郎	同市本通七丁目五二	湯本謹一	同市東堺川通四ノ一九	高龜昇一	同市城山町四五
岡山	岡山市西中山下町五二	明治四十三年五月七日	中山通夫	岡山市西中山下五二		大正十三年四月二十七日
(書) 水野浩四	同市東山通大道		神崎定次	同市柿屋町二三	三谷隆正	同市門田一五
西川政三	同市南方三四五		折井太一郎	同市一番町六	(自) 木村芸一	同市南方
野田璞水	同市廣瀬町二三		鈴木傳助	松山市榎町七		
榎町	愛媛縣松山市榎町七	大正十一年九月二十四日	矢野不二郎	同市豊坂町	越智一夫	同市中步行町
(書) 安平章	同縣伊豫郡原町大字麻生		宮上清	同縣伊豫郡郡中	岡田菊子	同市玉川町
山	首藤武好	同市二番町	兒島梅子	同市持田	(自) 田中忠夫	同縣温泉郡道後湯ノ町
山之内正惠	同市榎町		黒田覽一	同縣大洲村大字		明治四十二年十一月二十六日
大洲	愛媛縣喜多郡大洲町中町一丁目	大正十三年四月二十七日	朝山加壽百	同縣同町	伊藤豊治	同上
(書) 河野真琴	同縣同郡同町五					

西山キク 同縣同郡大洲村 岩城加壽雄 同上 (黒田覽 一同上)

(五) 山陽中會所屬傳道教會之部

名稱 位 設置 設立年月日 牧師又ハ主任者 住 所 任職年月日

山口 山口縣山口町字道 場門前 十四日 〇藤本保己 山口縣山口町 大正六年四月二十七日

(書) 三宅榮之助 同町字西門前第 三五 〇藤本保己 前出

津和野 島根縣鹿足郡津和野町大字森村 一月二十四日

彌富 山口縣阿武郡彌富村 明治二十五年三月十三日

(書) 村上卯八 同上

萩 山口縣萩町 明治二十年八月

(書) 池内壽一 同縣同町堀内

三田尻 山口縣佐波郡防府町三田尻中岡村 月二十八日 〇佐々木純一 山口縣德山町中

(書) 荒瀬壬生子 同縣同郡三田尻中岡村 〇佐々木純一 同上

德山 山口縣都濃郡德山町新町 明治二十四年 〇佐々木純一 山口縣德山町中

明治三十一年十月十一日

(書) 姫野忠治 同縣同町一番町

柳井 山口縣柳井町古市 明治三十八年九月

(書) 岩本清三郎 同縣同町樋ノ上

岩國 山口縣玖珂郡岩國町錦帯橋通り

(書) 松重孝一 同縣岩國本町四丁目

尾道 尾道市久保町坊地 月四日 〇仁田一三 尾道市久保町一三六

(書) 大久保昌治 同市土堂町本町

三原 廣島縣御調郡三原東館町 大正四年四月七日 〇大橋一男 同縣同町教會内

(書) 山本光義 同縣三原濱町

忠海 廣島縣忠海町 一月 〇井原郷祐 同上

(書) 多谷丈次郎 廣島縣豊田郡松江 〇井原郷祐 同上

福山 福山市下魚屋町六 十日 〇我妻金一郎 福山市下魚屋町六

(書) 山川安雄 福山市最善町

(書) 増山 明同市野上町

久萬 愛媛縣上浮穴郡久萬町 大正十年六月二十七日
三次 廣島縣双三郡三次町一六〇八 大正十三年七月二十七日
赤岩長吉 同縣同町 大正十一年四月二十一日

宇部 山口縣宇部市榮町二丁目 大正十四年〇辻本四郎
赤岩長吉 同上 大正十年十月十三日

(五) 山陽中會所屬傳道所之部

名稱 職位 設置 設立年月日 牧師又ハ主任者 住所 任職年月日
横川 廣島縣安佐郡三篠町字楠木六二六 大正三年七月二十一日
小松文與 同傳道所內 大正十二年五月

(六) 北海道中會所屬教會之部

名稱 職位 設置 設立年月日 牧師又ハ主任者 住所 任職年月日
函館 函館市相生町九八 明治十六年十二月七日
細川慶次 同館市相生町九八 大正十年四月五日
岩谷平八 同市谷地頭町七五 村田嘉作 同市青柳町六澤 八重 同市同町四五
近藤清次 同市相生町七九 相馬建一郎 同市西濱町三 伊東左次郎 同市新川町三一

札幌 札幌市北一條西六ノ二 明治二十八年十月二十三日
小野村林藏 札幌市北一條西六丁目 明治四十四年四月七日

(書) 井口政治郎 同市南五條西九丁目 新島善直 同市北六條西一 小笠原楠彌 同市北三條西二

原正夫 同市山鼻町七二 山田作次郎 同市北二十條西五 林竹治郎 同市北十七條西四

時任一彦 同市北六條西一 藤澤辰之助 同市北二條東一 新島善直 同上

鳥居さち 同市大通西五 村岸清彦 小樽市稻穂町西八丁目九 大正六年十月七日

小樽 小樽市稻穂町西八丁目九 明治二十六年二月十一日
青地行 同市綠町二ノ二 吉武才次郎 同市綠町東四ノ一 遠藤喜作 同市稻穂町西七

(書) 鎌田與四郎 同市花園町東三ノ七 笹尾節造 同市花園町一 飯塚貞治 同市色内町三ノ一

堀川勘吾 同市富岡町二ノ六 小辻節三 旭川市二條通一丁目左一〇號 赤坂清一 同市八條九ノ左

旭川 旭川市二條通一丁目左一〇號 明治四十三年六月二十六日
山田錠 同市五條一二ノ右一〇 小柳豐吉郎 同市九條一三 同市八條九ノ左

(書) 沼崎重平 同市二條一〇丁目左六中 原田幸六 野付牛町二條東 中川米次郎 大正元年八月四日

野付牛 北見國野付牛北二條東三丁目 大正十一年二月四日

(書) 村松藤兵衛 野村牛町鐵道官 渡邊 侶 同町農事試驗場 中田米太郎 同町北光社

北村 融 同町北二條西二

遠 輕 北見國遠輕村字遠 大正十一年四月二日 山下善之 北見國遠輕村字遠輕市街地 明治二十四年四月五日

(書) 柏倉貞二 同國遠輕村字向 加藤由太郎 同國遠輕村字向 山口助太郎 同國同村字向遠輕

小山田利七 同國同村字向遠 南 正義 同國同村字向 對馬正義 同國同村字向遠輕市街中通

瀧川 石狩國空知郡瀧川町字材木通 明治三十七年六月十五日 常葉隆興 同上

(書) 山田 哲 空知郡瀧川町 今村德治 空知郡瀧川町 山田東洋 同郡同町

聖園 石狩國樺戶郡浦白村 明治三十年十月

(書) 橫田猛馬 同郡同村 辻 義明 同郡同村

釧路 釧路市浦見町二丁目一五 大正十二年五月八日 矢代正親 釧路市浦見町二丁目一五 大正四年六月五日

(書) 吉岡加賀助 同市西幣舞 松田雄太郎 同市浦見町二丁目一五 鈴木四郎 同市春採市營住宅

山下留次郎 同市幣舞町 國松米太郎 同市幣舞町 大越吉信 同市春採市營住宅

(六) 二 北海道中會所屬傳道教會之部

名稱 位 置 設立年月日 牧師又ハ主任者 住 所 任職年月日

(室蘭以下北見老) 室蘭市幸町七 竹内 浩 同上 牧師館 大正三年四月十七日

(書) 村松彌一 同市大町 村松彌一 同上

紋 釧路國有珠郡伊達村 明治十九年十月 西紋龍村西小路二九二月

(書) 遊佐敬徳 同 國同郡同村 殿田清治 同國同郡同村船岡町

美 深 天鹽國中川郡美深町 明治三十七年二月九日 坂野龍雄 天鹽國中川郡美深八村西三 大正十二年四月十二日

(書) 高橋勝見 同上 坂野龍雄 同上

佐呂澗 北見國常呂郡佐呂澗村二一五 明治四十四年七月二十五日 山口庄之助 北見國常呂郡佐呂澗二一五 明治二十四年四月十日

(書) 山口庄之助 同上

士 別 天鹽國上川郡士別町西一條通四丁目 大正八年七月二十二日 坂野龍雄 中川郡美深町美深八彌西三 大正十二年四月十二日

(書) 富室辰正 同國同郡士別町

苦小牧 北海道勇拂郡苦小牧町二條通 大正十四年六月二十八日 竹内 浩 室蘭市幸町六 大正三年四月十七日

(書) 增山猛武 ○同街山子頂四六

(七) 臺灣中會所屬傳道教會之部

基隆 基隆田寮港九ノ一 明治三十年

名稱 地位 置 設立年月日 牧師又ハ主任者 住 所

屏東 高雄州屏東街八五 大正二年五月十日 伊江朝貞 高雄州屏東街二九六

伊江朝貞同上

新竹 新竹街字新竹南門 大正九年四月九日

(書) 下村正治 同街東門

(八) 滿洲中會所屬教會之部

名稱 地位 置 設立年月日 牧師又ハ主任者 住 所

大連 大連市西廣場 明治四十年九月八日 三好 務 大連市紅葉町

(書) 堀親道 同市嶺前屯 勝俣喜十郎 同市櫻町手塚 雄 同市櫻町

山縣賴咸 同市三室町 濱田美惠 同市伏見町 中川竹太郎 同市越後町

高野氣次郎 同市沙河口 佐藤英雄 同市沙河口渡邊 剛 同市淡路町

鈴木正雄 同市嶺前屯 深井 京 同市嶺前屯 (書) 鈴木正雄 同上

奉天 奉天八幡町五 明治四十一年十一月三日 山口重太郎 奉天八幡町五

(書) 清水洋司 奉天浪速通四〇 吉木郡太郎 奉天八幡町山下英勇 同宮島町

大久保太 同浪速通 岡崎潔丸 同紅梅町 安藤彦七 同富士町六

相澤駒之丞 同藤浪町 (書) 久永重男 同春日町

旅順 旅順市忠海町一三 明治四十五年六月二十六日 貴山 榮 旅順市忠海町一三

(書) 水谷 彬 新旅順千歲町八 尾花經造 同赤羽町九 島崎恒五郎 同高崎町八

岡本義治 旅順市鮫島町五 (書) 貴山 榮 同上

撫順 撫順西公園町 大正五年四月十日 貴山幸次郎 撫順西公園町

(書) 松永榮一 同朝日町大正寮 石山淳一 同南台町三 寺田秀丸 同南台町三ノ九

山口増次郎 同富士見町三丁 北島享亮 同東ヶ岡社宅 (書) 山岡信夫 同南台三ノ八

天津 天津日本租界明石街 明治三十六年三月十五日 清水久次郎 天津日本租界桃山街 明治三十年四月十日

天(書) 山原和吉 天津日本租界吾妻街江商會社内
兒島鷺麿 同英租界海大通
長田誠四郎 同日本租界常盤街
來德寬次 同日本租界福島街三星里
渡邊德太 同日本租界榮街一八號
清水久次郎 同上
金子嘉一郎 同日本租界旭街
安東 南滿洲安東縣六番通四丁目
大正六年五月二十七日
小島末喜 同安東縣大番通四丁目
瀧山靖次郎 同縣山手町日本領事館官舎
平岡光彦 同縣六番通七丁目
上田鎚彌 安東縣北二條通四丁目二
松下榮熊 同山下町一三ノ二
富永是保 同縣大和橋通二ノ一
皆田篤實 長春東二條通三八
長春 長春中央通九番地五日
伊東善吉 同錦町二丁目
(書) 灘波伊三郎 長春中央通リ九

(八) 二 滿洲中會所屬傳道教會之部

名稱 地位 設置 設立年月日 牧師又ハ主任者 住所 任職年月日
鐵嶺 鐵嶺青柳町 大正十年十一月二十三日 山田大藏 同鐵嶺社三ノ五
末廣榮二 鐵嶺北五條通五ノ一 同上 同上

(九) 朝鮮中會所屬教會之部

名稱 地位 設置 設立年月日 牧師又ハ主任者 住所 任職年月日
京城 京城府貞洞一番地 明治四十五年三月十六日 秋月致 京城府旭町二丁目六三
高橋慶太郎 京城府外新村 青木大淳 同府漢江通一六
齋藤武良 同府新橋洞二 佐々木正仁 同府大和町二丁目選信局官舎
武田弦介 同府三坂通鮮銀會宅二三
高木正人 同府練兵町七 富成半六 同府大和町一ノ八
德丸山魏 同府崇二洞二〇
戶塚房吉 同府新橋洞五内藤方 內藤俊太郎 同府新橋洞五
橋本金太郎 同府崇二洞九一
橋本幾代 同府崇二洞九一 長谷部巖 同府旭町二ノ二
福森清助 同府並木町三五
和田周 同府貞洞二 高橋慶太郎 同上
群山 群山府旭町二 明治四十五年三月二十四日 大川茂 群山府旭町二
都宗太郎 同府旭町九 大倉米吉 同府曙町七 鍛治アヤノ 同府新興洞三十七
武田基助 同府金州通二二 能見爲次郎 同府明治町五
武田基助 同府金州通二二
釜山 釜山府寶水町一丁目九三 大正三年九月二十九日 鈴木高志 釜山府寶水町一丁目九三
明治三十八年十一月十三日

(書) 篠崎 敬重 釜山府大廳町二丁目
 岩瀬 淺吉 同府本町一丁目
 小野 和 一同 府岸本町
 吉尾 萬太郎 同府榮町四丁目
 秋山 頼雄 同府辨天町一丁目
 鈴木 高志 同上
 新義州 新義州府榮町六丁目
 菅 日出男 新義州府榮町六丁目
 大正十二年四月三日

(書) 國方 品 同府雲井町一〇
 外島 常次郎 同府本町五
 加藤 長太郎 同上 松湯内
 田中 成信 同府本町五
 中村 柳吉 同府本町五
 高澤 幸吉 同府榮町二丁目
 石垣 源喜 同府綠町一
 宇佐 英雄 同府本町六
 鈴木 賢三郎 同府本町六
 中島 留五郎 同府櫻町營林廠官舎
 重實 直人 同府初音町一
 諏訪 原義衛 同府常盤町三
 大正十二年四月三日

大邱 大邱府東城町二丁目
 大正八年二月十一日
 佐藤 新五郎 大邱府東城町二丁目
 大正二年四月十三日
 (書) 下石 幸也 同府南旭町一三
 清水 德太郎 同府南龍岡町一
 吉武 甲子男 同府東雲町四八
 同府東雲町四八
 中山 政子 同府南町二〇
 下石 幸也 同上
 若草 京城府若草町一〇
 大正八年四月二十七日
 井口 彌壽男 京城府若草町一〇
 高木 五六 同府若草町九四
 野坂 清成 同府清涼里郵便所
 明治三十九年四月一日

山脇 熊人 櫻井町二ノ一三
 佐野 喜平次 黃金町三ノ一六
 木村 兼吉 黃金町二ノ二二
 高木 五六 同上

全州 全羅北道全州郡高砂町三七三
 大正十四年六月七日
 宮田 熊治 全州面高砂町
 大正十一年十月二十八日

(書) 正村 改一 全州面高砂町
 北本 松治郎 全州面花園町
 野口 東一 全州面高砂町
 丸岡 仲助 全州面大正町
 北本 松雄 全州面花園町

(九ノ二) 朝鮮中會所屬傳道教會之部

名稱 位 置 設立年月日 牧師又ハ主任者 住 所 任職年月日

龍山 京城府漢江通一一
 大正四年十二月十二日
 宮木 喜久馬 京城府漢江通一
 大正十三年四月八日

(書) 齋藤 富士子 同府漢江通一一
 田村 太平次 永登浦山ノ手
 平壤 平壤府幸町一五
 大正五年四月二十五日
 吉武 五右衛門 平壤府幸町一五
 明治四十二年四月二十二日

(書) 村田 吉彦 平壤府西町五
 福井 哲之助 同府港町
 裡 全羅北道裡里榮町
 大正十年五月八日
 杉山 義邦 全羅北道益山郡益山面裡里
 大正十二年四月二十六日

(書) 金井 宅治郎 同上
 河合 千秋 同上

木浦 木浦府大和町三丁目一〇
明治四十四年八月

小口 季隆 木浦府大和町二丁目一〇
大正十四年六月七日

落合 吉行 木浦府陽洞三七

若松元四郎 同 府山ノ手六

(九) 三 朝鮮中會所屬傳道所之部

鎮海 慶尚南道昌原郡高砂一五
大正三年四月
中村 則秋 鎮海面高砂町

任職年月日
大正四年四月十四日

山田 外記 鎮海面真鶴町

佐野 耕一 鎮海面高砂町

統營 慶尚南道統營河内一宗方
大正十年七月
中村 則秋 前出

前出

河内 一宗 統營面吉野町

河内 一宗 前出

馬山 馬山府新月里山口照平方

中村 則秋 前出

前出

大島國太郎 馬山府明月洞

山口 照平 馬山府新月里

榮山浦 全羅南道榮山浦二日
大正三年二月十日
小口 季隆 木浦府大和町二丁目一〇

大正十四年六月七日

鈴木 恭次 同上

(十) 申合ミツシヨソ所屬教會之部

(十) 一 東京中會地域内

御殿場 靜岡縣駿東郡御殿場町
明治四十年四月七日
大井上 武同 教會内

任職年月日
大正十一年八月六日

井村 宇三郎 靜岡縣御殿場町上町九

大井上 武同 上

御殿山 東京市外北品川御殿山七七八
大正元年八月
村上 潤次郎 東京市外北品川御殿山七七八

大正十三年四月

磯村 英一 東京市外北品川町御殿山七七八

磯村 英一 同上

柏久保 靜岡縣田方郡北狩野村柏久保三三
明治十九年一月七日
栗原 喜久治 同上二九二ノ三

明治三十一年一月十日

栗原 喜久治 同上

(十) 二 浪花中會地域内

大藪 岐阜縣安八郡大藪町
明治二十八年五月三日
笹 森 修一 大垣上市御殿場

任職年月日
明治四十四年四月二十一日

田中 耕同 大藪町

豊橋 豊橋市旭町 明治二十九年十月

岡本はる 豊橋市大字東新 明治二十四年四月十日

善通寺 香川縣善通寺町大字上吉田 明治三十三年五月二日

渡邊連平 善通寺町大字上吉田

三好 德島縣三好郡池田町

上堀照治 同上

高松築地 高松市築地町

宮内岩太郎 同 市鹽上町

岡崎 岡崎市康生町

美馬 德島縣貞光町 大正二年一月九日

河内シメ 同町

和食 德島縣那賀郡鷲敷町字和食八九ノ一

西川宗太郎 同縣同郡同町字和食八九ノ一

西川宗太郎 同上

關町 岐阜縣武儀郡關町 甲一六ノ一

伊達量平 岐阜縣武儀郡關町吾妻町

北村信治郎 同上

北村信治郎 岐阜縣武儀郡關町出來町

大垣 大垣市御殿町

笹森修一 大垣市御殿町

明治四十四年四月二十一日

湊町 豊橋市湊町一〇

西山道五郎

明治四十一年四月二十三日

助任 德島縣助任本町

笹森修一 同上

大道 德島市大道三丁目

古角權平 德島市大道三丁目

大正元年四月二十二日

森一雄 德島市富田定普請町二丁目

古角權平 同上

小松島 德島縣小松島町字松島一八八

東條五郎 德島縣小松島町仲町

大正十二年四月二十六日

旭 高知市旭町一丁目

マキルエン 高知市水道町二丁目

津野達吉 高知市中島町三丁目武本方

中山正城 高知市旭上町三三八

坂出 香川縣坂出町富士見町三五八六八

松井康平 同上 牧師館

大正九年五月二十日

多治見 岐阜縣可兒郡長瀬町長瀬二〇四五

山本眠虎 同上

山本眠虎 同上

大正九年五月二十日

△兼山 岐阜縣可兒郡兼山町

蒲郡 愛知縣蒲郡町府相

△中井正藏 愛知縣蒲郡町府相

大正十年四月十四日

⑧中井正藏 同上

△扇港 神戸市葦合町中尾 明治四十四年十月二二四ノ一

△大井 岐阜縣惠那郡大井町

△津島 愛知縣津島町片町

△山崎惣次郎 同上

△大井 愛知縣津島町片町

△古角權平

△大井 愛知縣津島町片町

△賀川豊彦 神戸市北本町六丁目二百二十

△大井 愛知縣津島町片町

△賀川豊彦 神戸市北本町六丁目二百二十

△大井 愛知縣津島町片町

△賀川豊彦 神戸市北本町六丁目二百二十

△大井 愛知縣津島町片町

△賀川豊彦 神戸市北本町六丁目二百二十

△大井 愛知縣津島町片町

△賀川豊彦 神戸市北本町六丁目二百二十

⑧川田幹一

⑧澤田義 同縣安城町農林學校教員養成所

大正十一年三月二十八日

⑧德廣正二 神戸市水木通三丁目一ノ三八

大正八年四月七日

△大井 愛知縣津島町片町

△賀川豊彦 神戸市北本町六丁目二百二十

△大井 愛知縣津島町片町

△賀川豊彦 神戸市北本町六丁目二百二十

△大井 愛知縣津島町片町

△賀川豊彦 神戸市北本町六丁目二百二十

△大井 愛知縣津島町片町

△賀川豊彦 神戸市北本町六丁目二百二十

△大井 愛知縣津島町片町

△賀川豊彦 神戸市北本町六丁目二百二十

△大井 愛知縣津島町片町

△賀川豊彦 神戸市北本町六丁目二百二十

△大井 愛知縣津島町片町

△賀川豊彦 神戸市北本町六丁目二百二十

△大井 愛知縣津島町片町

△賀川豊彦 神戸市北本町六丁目二百二十

△大井 愛知縣津島町片町

△賀川豊彦 神戸市北本町六丁目二百二十

△大井 愛知縣津島町片町

△賀川豊彦 神戸市北本町六丁目二百二十

△大井 愛知縣津島町片町

△賀川豊彦 神戸市北本町六丁目二百二十

△大井 愛知縣津島町片町

△賀川豊彦 神戸市北本町六丁目二百二十

△大井 愛知縣津島町片町

△賀川豊彦 神戸市北本町六丁目二百二十

△大井 愛知縣津島町片町

△賀川豊彦 神戸市北本町六丁目二百二十

△大井 愛知縣津島町片町

△賀川豊彦 神戸市北本町六丁目二百二十

△大井 愛知縣津島町片町

△賀川豊彦 神戸市北本町六丁目二百二十

△大井 愛知縣津島町片町

△賀川豊彦 神戸市北本町六丁目二百二十

△大井 愛知縣津島町片町

△賀川豊彦 神戸市北本町六丁目二百二十

△大井 愛知縣津島町片町

△賀川豊彦 神戸市北本町六丁目二百二十

△大井 愛知縣津島町片町

△賀川豊彦 神戸市北本町六丁目二百二十

△大井 愛知縣津島町片町

△賀川豊彦 神戸市北本町六丁目二百二十

△大井 愛知縣津島町片町

△賀川豊彦 神戸市北本町六丁目二百二十

△大井 愛知縣津島町片町

△賀川豊彦 神戸市北本町六丁目二百二十

△大井 愛知縣津島町片町

△賀川豊彦 神戸市北本町六丁目二百二十

△大井 愛知縣津島町片町

△賀川豊彦 神戸市北本町六丁目二百二十

△大井 愛知縣津島町片町

△賀川豊彦 神戸市北本町六丁目二百二十

△大井 愛知縣津島町片町

△賀川豊彦 神戸市北本町六丁目二百二十

△大井 愛知縣津島町片町

△賀川豊彦 神戸市北本町六丁目二百二十

(十) 三 鎮 西 中 會 地 域 內

名稱	位 置	設立年月日	牧師又ハ主任者	住 所	任職年月日
柳 河	福岡縣山門郡城內村本町 <small>(以下米納リホムド)</small>	明治十二年十一月一日	馬場正毅	福岡縣柳河町城內本町	明治四十二年四月二十一日
(書) 北島丈夫	福岡縣山門郡西宮永村		馬場正毅	同上	同上
白 杵	大分縣北海郡白杵町字白杵(八八)一	明治二十年十一月	黑川時之輔	大分縣北海郡白杵町字白杵(八八)一	同上
(書) 黑川時之輔	同上		黑川時之輔	同上	同上
唐 津	佐賀縣唐津町本町	明治二十二年五月十二日	篠原愛三	佐賀縣唐津町廓內	大正四年四月十九日
(書) 平山千代	佐賀縣唐津町山下五丁目		篠原愛三	同上	同上
大 分	大分市於北町	大正元年十一月七日	坂 文	大分市荷揚町一四六	明治三十八年四月二日
(書) 三好八百吉	大分市大道町五丁目		坂 文	同上	同上
佐 伯	大分縣佐伯町山際	明治四十年四月二十九日	山 田 益	大分縣佐伯町山際	同上
(書) 渡邊正雄	大分縣佐伯町		山 田 益	同上	同上
久留米	久留米市莊島町西	大正六年十二月二十二日	村中常信	久留米市莊島町西堅町一四	大正十四年四月

(書) 清田次男	佐賀縣鳥栖町藤木日山方		村中常信	同上	明治四十五年四月十二日
宇 佐	大分縣宇佐町高森都留喜一方		梅崎太郎次	大分縣西國東郡高田町新町	同上
(書) 都留喜一	大分縣宇佐郡宇佐町高森		佐藤銓藏	同上	大正五年四月五日
別 府	大分縣別府市不老町	大正二年二月十七日	佐藤銓藏	同上	同上
(書) 川島唯次郎	大分縣別府市田ノ湯		佐藤銓藏	同上	同上
八 女	福岡縣八女郡羽犬塚町和泉三五ノ三	大正九年二月八日	檜崎武三郎	同上	大正九年十二月二十五日
(書) 永井金太郎	福岡縣八女郡羽犬塚町和泉		檜崎武三郎	同上	同上
武 雄	佐賀縣武雄町松原通	大正十年四月二十六日	吉田穰太郎	同上	大正十年四月五日
(書) 池田繁夫	佐賀縣武雄町下西山		吉田穰太郎	同上	同上
日 出	大分縣速見郡日出町二ノ九	明治四十年四月十六日	森山角次郎	同上	大正五年四月五日
島 原	長崎縣南高來郡島原町新馬場		森山角次郎	同上	同上
大 川	福岡縣大川町字若津本町	大正三年十月	馬場正毅	福岡縣柳河町城內本町	明治四十二年四月二十一日

- (書) 横田京輔 福岡縣三浦郡大川町字若津本町 大正九年八月廿一日 留川一路 鹿兒島縣志布志町帖六四三五
- (書) 川畑泰藏 同縣同町字下町 大正十年四月廿五日 吉田穰太郎 佐賀縣武雄町松原
- (書) 深川清子 佐賀縣有田町白川 大正三年五月十八日 福永要藏 同 上
- 田代 鹿兒島縣肝屬郡田代村麓四九四〇 大分縣玖珠郡森町大字森 茂村德太郎 大分縣玖珠郡森町大字森鐵砲町
- (書) 茂村德太郎 同 上
- 長崎 弘道館 長崎市古町廿番地 大正八年三月 山口通知 同 上
- 高田 大分縣西國東郡高田町新町 大正十年四月六日 梅崎太郎次 同 上
- (書) 國友正雄 同縣同郡同町水取 梅崎太郎次
- 加世田 鹿兒島縣川邊郡加世田 大坪正通 同 上
- 枕崎 鹿兒島縣川邊郡枕崎町 大坪正通 同 上

津 沖繩縣津霸一三二 大正三年四月十日 新垣信一 同 上

(書) 新垣仁王 同縣津霸城間小 新垣信一 同 上

内間 沖繩縣西原村内間 大正三年十月十五日 新垣信一 同 上

(書) 大城真莉 沖繩縣内間屋號 大屋

(十一) 中會未加入傳道所

- | 名稱 | 位 | 置 | 設立年月日 | 牧師又ハ主任者 | 住 | 所 | 任職年月日 |
|-----------|--|------------|-------|---------|-----|---|------------|
| 佐渡 | 新瀧縣佐渡郡河原田字本町一九九 | 明治四十四年九月十日 | 杉田虎獅狼 | 同 上 | | | |
| (書) 杉田虎獅狼 | 同 上 | | | | | | |
| 濱松 | 濱松市 | | 相原正勝 | 同 上 | 教會内 | | 大正十四年四月十四日 |
| 鳥取 | 鳥取市片原三丁目 | | 上河原雄吉 | | | | 大正十四年四月十四日 |
| 新嘉坡 | Japan christian Church No2 Adis Rood Singapore | | 梅森豪勇 | | | | 大正十四年四月十四日 |
| (書) 奧田直常 | The Tropical Produce & Co.s Mess Surgei Paparg Rubber Estate Johore. | | | | | | 大正十四年四月十四日 |

(註) 高橋馨 No2 Adis Rood Singapore

神學教師

氏名	(所屬中會)任所	住	所	任職年月日
(い)之部 井深 梶之助	(東京) 明治學院(神)	芝區白金三光町三四六		明治十二年十一月八日
伊藤 嘉吉	(東北) 東北學院(神)	仙台市荒町五八		明治三十六年四月十三日
(か)之部 梶原 長八郎	(東北) 東北學院(神)	仙台市北三番町二二		明治三十年五月十九日
(た)之部 高倉 德太郎	(東京) 東京神學社	東京市外西大久保百人町二〇三		大正元年十二月二十九日
(つ)之部 都留 仙次	(東京) 明治學院(神)	東京府下平塚村戸越一五四		大正二年十二月六日
(む)之部 村田 四郎	(東京) 明治學院(神)	東京市外世田ヶ谷池尻四一〇		
(お)之部 大川 正	(台灣) 台北神學校			
(く)之部				

桑田 秀延	(東京) 明治學院(神)	東京市外下澁谷一五一五		
(や)之部 山本 秀煌	(東京) 明治學院(神)	東京市外上大崎二四五		明治十八年五月十三日
矢野 猪三郎	(東北) 東北學院(神)	仙台市新小路		大正元年四月十八日
(て)之部 手塚 儀一郎	(東京) 東京神學社	東京市麴町區五番町二		大正元年十二月二十九日
出村 剛	(東北) 東北學院(神)	仙台市光禪寺通		大正六年二月二十八日
出村 悌三郎	(東北) 東北學院(神)			
(あ)之部 赤石 義明	(東北) 東北學院(神)	仙台市東七番丁		大正十二年五月三日入會
(さ)之部 笹尾 糸太郎	(東北) 東北學院(神)	仙台市花京院通り二三		明治四十二年九月二十三日
(し)之部 白井 慶吉	(東京) 神學社	東京市麴町區飯田町四丁目東京神學社		明治四十二年十月十一日

教師

氏名	(所屬中會)	任所	住	所	任職年月日
(い)之部					
伊藤 藤吉	(東京)	休	鹿兒島		
稻垣 信	(東京)		東京市赤坂區青山高樹町一二ノ七		明治十二年四月二十六日
稻澤 謙一	(東京)		神奈川縣鎌倉町姥ヶ谷五四三		
(は)之部					
阪野 嘉一	(浪花)	休	津市中新町九七		明治十五年七月七日
濱田 珍重	(浪花)		東京市芝區白金猿町三		明治三十年四月
濱甚二郎	(東京)		和歌山縣東牟婁郡下里村高芝		
早川 友三	(浪花)		橫濱市西戶部大松久保七九四		
(に)之部					
西 健二	(北海道)		東京市高田町雜司ヶ谷一一〇五		明治三十九年二月十八日
(ほ)之部					
星野 光多	(東京)		東京市小石川區小日向台町三ノ七五		明治十七年五月十七日
堀内 眞澄	(東北)	休	仙台市東二番丁		大正三年四月十五日

(を)之部					
沖野 岩三郎	(浪花)		東京市小石川區宮下町五八		大正三年四月十七日
(か)之部					
鎌田 安通	(鎮西)		門司市小森江二六二二		明治四十三年九月二十八日
(よ)之部					
吉岡 弘毅	(浪花)	休	東京市小石川區丸山町東洋女學校前		明治二十二年六月
(た)之部					
田島 堅固	(東北)		在米國		大正八年四月二十四日入會
高崎 能樹	(東京)		東京府下杉並町阿佐ヶ谷小山三〇		大正五年二月五日
田口 泰輔	(東北)		在米國		大正七年四月四日
高尾 益太郎	(鎮西)		朝鮮		大正九年十一月六日
(つ)之部					
土田 熊治	(東北)	幹事	仙台市米ヶ袋上丁		明治三十九年四月二十九日
(な)之部					
中山 昌樹	(東京)	明治學院(高)	東京市芝區白金猿町九四		明治四十四年七月九日
成田 良太	(東北)	休	東京市芝區白金猿町		
(う)之部					

梅森豪勇 (東京)

シンガポールアジスロード二

大正八年

(く)之部

熊坂登三郎 (東北) 休

宮城縣岩沼町

明治四十二年

(ま)之部

丸山傳五郎 (北海道)

東京市四谷區須賀町三四

明治四十二年六月六日

(ふ)之部

古澤久治 (東北) 休

宮城縣長町教會内

明治二十五年五月八日

(え)之部

江村寛一 (東京)

在米國シヤートル

大正六年五月六日

(あ)之部

青木仲英 (浪花) 休

京都市御幸町御池下ル今村方

明治十六年十月

青山準二郎 (北海道) 休

札幌市山鼻町一四四

明治二十四年十一月十二日

秋保孝藏 (浪花)

和歌山縣和歌浦一ノ二

大正六年三月七日

荒木宗孝 (鎮西) 休

大阪市外天下茶屋板橋筋六一八

大正四年十一月二十二日

(さ)之部

佐藤六郎 (山陽) 休

兵庫縣川邊郡小田村久久和

明治三十九年四月

佐藤繁彦 (鎮西)

在獨乙國

大正八年三月九日

(き)之部

木村熊二 (東京)

東京市芝區白金三光町二七六

明治二十一年十月入會

及川勇五郎 (東京)

木山喜代五郎 (東北)

大正三年四月十五日

(ゆ)之部

俞弘濬 (朝鮮) 鳳翼洞

朝鮮京城鳳翼洞一九

大正四年十二月十八日

(み)之部

三浦徹 (東京)

東京市外落合村下落合五一

明治十四年五月三日

宮崎小八郎 (東京) 基督教聯盟

東京市外池袋五三五

大正十三年四月入會

(ひ)之部

久永重男

滿洲撫順

大正四年五月九日

(せ)之部

瀬川淺 (東京)

共立女子神學校 東京市芝區白金橋町五一

明治十二年十月五日

(す)之部

鈴木忠誠 (北海道) 休

札幌區北三條東三丁目第二御料地

大正元年五月十日入會

鈴木吉助 (元東北) (米國加州長老)

米國加州長老教會

教師試補

氏名	(所屬中會)任所	住	任職年月日
(い)之部 伊 耻 炳	(浪花)	朝鮮全北興德農場	大正五年四月十二日
池田 龜之助	(東北)	岐阜縣古井町	大正三年四月十五日
(は)之部 長谷川 計太郎	(浪花)	大阪市外住吉北島大阪神學院	大正六年四月二十七日
長谷川 仁	(東京)	東京市小石川區竹早町一〇	大正四年四月十四日
原 照	()	仙台市米袋	大正六年四月二十六日
羽生 義三郎	(東北)	傳道局	大正四年四月十四日
(ほ)之部 穂 永 實全	(浪花)	休	明治三十年四月十日
堀内 孝志	(朝鮮)	在米	大正元年四月二十二日
堀内 榮	()	東京市外高田町太田一五五八	大正九年四月二十三日
本間 誠	(東京)	休	大正十年四月五日
(り)之部 梁 泰 承	(浪花)	朝鮮全北興德樹宮農場	大正五年四月十二日
(を)之部 小島 謙太郎	(浪花)	高知市帶屋町下一丁目	大正八年四月二十四日
小川 永水	(東北)	在米國	大正十年四月五日
小川 隆	(東京)	東京市外下澁谷六九九旭館	明治四十三年四月
小澤 勤一	(浪花)	休	大正七年四月二日
大川 盡四郎	(同)	南滿洲撫順	明治四十四年四月三十七日入會
大塚 敏彦	(山陽)	休	大正十一年四月六日
大石 多喜雄	(鎮西)	東京市外柏木九二六	大正四年四月十九日
大坪 正通	(同)	鹿兒島縣枕崎町	大正九年五月二十日
大石 環	(浪花)	岐阜縣可兒郡豊岡町字長濱	明治二十六年八月九日
岡部 久	(同)	姫路市在住	明治三十一年四月九日
岡本 喜八郎	(同)	休	大正二年四月十七日
(わ)之部 若井 源吾	(山陽)	在ハワイ	大正元年八月四日
(か)之部 河内 廣三郎	(北海道)	札幌市山鼻町四一〇	一一五

川島直志 (浪花)

鳥取市

大正九年五月二十日
大正十年四月十四日

吉田喬 (た)之部

大正三年四月十七日

伊達覺太郎 (東京) 休

靜岡縣田方郡中郷中村二三

館岡剛 (東北) 休

在米國

大正六年四月二十六日

高橋一男 (浪花)

神戸市

大正二年四月十七日

高山豊三 (山陽)

在米國

大正二年四月十七日

長尾卷 (浪花) 休

名古屋市中區榮町七丁目基督教傳道館

明治十九年四月二十日

中村己之吉 (鎮西)

鹿兒島縣川邊郡加世田村鹿

大正十年三月三十一日

中澤豊兵衛 (東京)

在米國

大正十年四月十六日

内海十郎 (山陽) 休

山口縣吉敷村

明治二十八年十月四日

上野松治郎 (山陽)

京都市一條室町東へ入ル

明治十九年四月六日

熊野義孝 (東京)

東京市外代々木八六二

大正十年四月五日

栗原久雄 (同) ユニオン神學校

在米國

大正七年四月十二日

山下庄五郎 (山陽)

宇都宮市三條町クリスチヤン女學校

大正十年四月十四日

山本彌一郎 (東京) 女クリスチヤン學校

東京市本所區松倉町産業青年會

大正六年四月二十日

山田卯三郎 (東京)

東京市麻布區霞町七

明治三十年四月七日

山田松苗 (東京)

在米國

大正五年四月十二日

古瀬敏道 (鎮西)

在米國

明治二十四年十月六日

郡山源四郎 (東北) 東北學院

仙台市東七番丁四

大正五年四月二十日

齋藤信篤 (浪花)

在米國

大正五年四月二十日

齋藤周藏 (東北) 休

神奈川縣浦賀町大津一三三八

大正十一年三月八日

佐々木壽榮 (東北)

在米國

大正十一年三月八日

佐藤嬉重 (東北)

在米國

大正十一年三月八日

(き)之部

大正十一年三月八日

菊地 鮮 (山陽) 休

愛媛縣郡中町灘町松瀬方

大正元年四月十八日

(み)之部

宮崎 利道 (山陽)

在ハワイ

明治四十二年二月一日

三原 一正 (畿西)

佐世保市濱田町六七

(も)之部

森 喜代一 (東北)

在米國

大正七年四月四日

(す)之部

鈴木 照治 (浪花)

在米國

大正六年四月二十七日

第四 關係諸ミツシヨン宣教師

アメリカ、リホームド教會日本ミツシヨン所屬

氏名	住所	氏名	住所
Miss Florence Buss	横濱市フェリス女學校	Rev. H. V. E. Stegeman	歸米中
Miss S. M. Couch	長崎市大浦八	Miss E. V. Teets	歸米中
Miss Dora Eringa	横濱市フェリス女學校	Miss Minnie Taylor	長崎市東山學院
Miss H. E. Hospers	佐賀市北堀端	Miss H. M. Lansing	東京市牛込區北山吹町三二
Rev. W. G. Hoekje	歸米中	Rev. H. Kuyper	大分市衛生館
Miss J. A. Pieters	下關市梅光女學院	Miss J. Noordhoff	横濱市フェリス女學校
Rev. D. C. Ruigh	長崎市東山學院	Rev. B. C. More	長崎市東山學院
Rev. S. W. Ryder	佐賀市西堀端	Rev. A. Oltmans D.D.	東京市白金今里町明治學院
Rev. L. J. Shafer	横濱市フェリス女學校	Miss E. Oltmans	鹿兒島市下龍尾町四五

エイチ・ヴィ・エス、ピーク夫妻
 Rev. H. V. S. Peake. D. D.
 東京市白金今里町明治
 学院
 ナー・ター・ホルツ
 Rev. J. Ter. Borg
 鹿児島市下龍尾町四五

エー・バン・ブロックホスト夫妻
 Rev. A. Van Bronkhorst
 大分市南新地四三九

1110

ノウスプレス・ピテリアン教会日本ミッシオン所屬

氏名	住所	氏名	住所
Miss. Sallie. Alexander	大阪府濱寺	Rev. E. M. Clark ph. D.	大阪府住吉七三九
Rev. J. B. Ayres. D. D.	大阪府住吉七四〇	Miss. S. F. Clarke	廣島市國泰寺町
Miss. G. S. Bigelow	下關市梅光女學院	Rev. F. S. Curtis	下關市丸山町
Rev. Harvey. Brokaw D. D.	京都市室町一條通	Miss. G. P. Curtis	北海道北星女學校 (歸米中)
Rev. D. C. Buchanan	和歌山縣和歌山市	Miss. L. G. Daugherty	東京市外淀橋町角第一〇二
Miss. Louise Chapin	金澤市北陸女學院	Miss. F. E. Davidson	北海道札幌北星女學校
Rev. E. N. Chapman	和歌山縣新宮	Rev. R. J. Dosker	松山市常盤町
Rev. G. K. Chapman	北海道旭川	Rev. J. G. Dunlop. D. D.	三重縣津市ヘサイ町

Miss. A. G. Eaton	金澤市北陸女學校	Rev. L. C. Lake	北海道札幌市
Miss. E. Evans	北海道札幌北星女學校	Rev. Willis. C. Lamott	歸米中
Rev. G. W. Fulton D. D.	大阪府住吉七三	Miss. Julia Leavitt	和歌山縣田邊町
Miss. A. E. Garvin	退職(在朝鮮)	Miss. M. H. London	東京市麹町區上二番町女子學院
Miss. J. E. Gillian	東京市芝區白金今里町明治學院	Mrs. J. K. McCauley	退職2112. W. 27th. St. Los Angeles Cal.
Mrs. R. P. Gorbald	大阪府濱寺	Miss. C. H. McCrory	北海道小樽區留岡町
Rev. J. B. Hail. D. D.	退職和歌山縣和歌山市女子學院	Miss. M. D. McDonald	東京市外西萩東京女子大學校内
Miss. L. S. Halsey	東京市芝區白金今里町明治學院	Miss. Esther Macduff	東京市芝區白金今里町明治學院
Rev. H. D. Hannaford	廣島市國泰寺町	Miss. V. M. Mackenzie	大阪玉造ヴィルミナ女學校
Rev. W. F. Hereford. D. D.	退職7312. N. Park	Mrs. T. M. Macnair	退職156 Fifth. Ave. New York. u. s. a.
Rev. Wm. Imbrie D. D.	Chicago. St. Chicago 111 u. s. a.	Rev. D. P. Martin	山口市野田
Miss. Janet M. Johnstone	下關市梅光女學院	Miss. Mary Miles	金澤市北陸女學校
Rev. Wm. C. Kerr	朝鮮	Miss. E. P. Milliken	退職 6/5 Fifth Ave. New York. u. s. a.

1111

Miss. A. M. Monk
 Miss. A. E. Morgan
 Miss. H. M. Palmer
 Miss. Gertrude. Peters
 Rev. G. P. Pierson D. D.
 Miss. F. E. Porter
 Miss. M. H. Ransom
 Rev. A. K. Reischauer D. D.
 Miss. A. I. Reiser

北海道札幌北星女學校
 三重縣松坂
 大阪府玉造ウイルミナ女學校
 右 同
 北海道野付牛
 京都市五條橋東六丁目
 和歌山縣和歌山市
 (歸米中)東京市芝區白金今里町明治學院
 金澤市北陸女學校

Miss. Jessie Riker
 Miss. S. C. Smith
 Mrs. David Thompson
 Rev. G. W. Van Horn D. D.
 Miss. L. A. Wells
 Miss. A. B. West
 Rev. M. C. Winn
 Rev. F. C. Winn D. D.

三重縣山田市
 退職北海道札幌區
 東京市麹町區富士見町五丁目二二
 退職1915Hudsonst. Pasadena Cal. u. s. a.
 山口縣山口市野口
 退職%156Fifth Ave. New York. u. s. a.
 金澤市
 退職% Fifth Ave. New York. u. s. a.

サウスプレスピテリアン教會日本ミツシヨン所屬

Dr. & Mrs. C. K. Cumming

豊橋市旭二番地

Miss. Annie V. Patton

豊橋市

Rev. & Mrs. P. S. Van Dyke
 Miss. Florence D. Patton
 Rev. & Mrs. J. E. Coisar
 Dr. & Mrs. L. C. M. Smythe
 Miss. Leila G. Kirtland
 Miss. Emma Eve Gardner
 Miss. Mary F. Martin
 Rev. & Mrs. W. A. McLwaine
 Miss. Bess M. Blakeney
 Dr. Wm. C. Buchanan
 Dr. & Mrs. W. McS. Buchanan
 Dr. & Mrs. S. P. Fulton
 Dr. & Mrs. H. W. Myers

岡崎市カノ山
 岡崎市
 岡崎市(歸米中)
 名古屋市白壁町六四
 名古屋市金城女學校内
 名古屋市金城女學校内
 名古屋市金城女學校内
 名古屋市金城女學校内
 名古屋市東區葵町三七
 名古屋市(歸米中)
 岐阜市明治町
 神戸市葺合町二一八九
 神戸市上筒井五丁目四五
 神戸市山本通四丁目一一二

Dr. & Mrs. H. C. Ostrom
 Rev. & Mrs. J. W. Hassell
 Rev. & Mrs. I. N. McLroy
 Rev. & Mrs. S. M. Erickson
 Rev. & Mrs. H. H. Munroe
 Dr. & Mrs. J. W. Moore
 Miss. Maria J. Atkinson
 Dr. & Mrs. C. A. Logan
 Dr. & Mrs. C. Darby Fulton
 Miss. Estelle Lumpkin
 Rev. & Mrs. A. P. Hassell
 Rev. & Mrs. J. H. Brady
 Miss. Susan McD. Curvall

神戸市山本通五丁目三四
 丸龜市
 丸龜市(歸米中)
 高松市濱ノ町一二七
 高松市濱ノ町一二七
 高松市花園町三六
 高松市六番町
 徳島市寺島町一七一
 徳島市富田浦町一七八
 徳島市本町
 徳島市(歸米中)
 高知市永國寺町六〇二一
 高知市鷹匠町一八〇

Miss. Annie Dowd
 高知市(歸米中)
 Dr. & Mrs. W. B. McIlwaine
 高知市(歸米中)
 Dr. & Mrs. R. E. McAlpine
 高知縣高岡郡須崎町

114
 兵庫縣芦屋北三丁目
 駅前
 Rev. & Mrs. L. W. Moore
 神戸市葦合町二一八九
 Rev. & Mrs. C. R. Jenkins
 神戸市葦合町二一八九
 Miss. Ruth Buckland
 神戸市葦合町二一八九

合衆國リホームド教會日本ミツシヨン所屬

氏名 住所
 Rev. A. Ankeney
 仙臺市北二番町一一二
 Miss. L. Bolliger
 仙臺市東三番町一六八
 Miss. Katharine Dechant
 仙臺市東二番町一三五
 Rev. A. K. Faust, ph. D.
 ミツシヨン事務所
 Miss. Mary E. Gerhard
 仙臺市米袋上町二八
 Rev. P. L. Gerhard
 仙臺市南六間町
 Miss. K. I. Hansen
 仙臺市米袋十二間町

氏名 住所
 Miss. M. V. Hoffheins
 仙臺市東二番町ミツシ
 Miss. Edith H. Husing
 ヨン事務所
 Rev. C. D. Kriete
 同右
 Miss. Lydia A. Lindsey
 山形市新竹
 Rev. H. K. Miller D. D.
 仙臺市米袋十二間町
 Rev. J. P. Moore D. D.
 東京市牛込區市ヶ谷
 Rev. I. G. Nace
 道標 # 3327, North
 Seventeenth street
 Philadelphia. Pen-
 nsylvania. u. s. a.
 仙臺市鮫町東土手町

Prof. F. B. Nicodemus
 仙臺市光禪寺通
 Rev. O. Noss D. D.
 Laugaster, Pa. u. s. a.
 Prof. G. S. Noss
 仙臺市東二番町東北學
 Rev. W. C. Nugent
 院内
 Rev. G. E. Pamperien
 福島縣若松市島居町
 Rev. D. B. Schneider D. D.
 仙臺市東三番町一六三
 Rev. G. W. Schroer
 ミン事務所
 Rev. W. G. Seiple, ph. D.
 盛岡市大澤河原七一
 Prof. O. M. Stoudt
 仙臺市土樋一二五
 仙臺市光禪寺通六九

Miss. H. I. Weed
 Lawrence, Kansas.
 Rev. E. H. Zangg, ph. D.
 u. s. a.
 Mr. D. D. Baker
 仙臺市片平町六九
 Rev. F. L. Fesperman
 % Reformed chu-
 rch in the united
 states Schaff Build-
 ing Fifteenth j
 Race streets, Phil-
 adelphia. pa. u. s. a.
 Rev. E. H. Gunther
 同右
 Miss. B. C. Pifer
 同右
 Prof. A. D. Smith
 同右

第五 大正十三年度統計表

(大正十三年十二月三十一日現在)

(表中献金は圓未満四捨五入、△は編纂までに報告に接せざりしにより前々年度の統計を掲げたり)

北海道	山陽	鎮西	東北	浪花	東京	中區	
						名	分
940	970	774	2,195	5,099	6,115	男女計	兒
973	1,093	687	1,796	4,743	5,813	計	合
1,913	2,063	1,461	3,991	9,842	11,928	餐陪住現	
239	196	159	188	1,100	812	洗受人大	
2,152	2,259	1,620	4,179	10,942	12,743	洗受人小	
1,038	918	657	1,849	4,576	5,901	(減)△増	
126	181	116	273	557	622	朝夕拜禮曜日	
19	24	7	19	76	25	席出會禱祈	
80	118	125	212	440	178	徒生校學曜日	
490	612	452	810	2,204	2,655	金献持維會教	
259	263	159	730	1,337	1,060	金献ノ他其	
152	178	128	430	815	763	額總金献	
1,610	1,805	718	5,321	6,905	7,169		
12,175	9,565	8,341	10,141	50,475	59,950		
5,635	18,375	6,730	15,395	60,599	111,481		
17,810	27,940	15,971	25,536	111,074	171,431		
總計	申合	合計	朝鮮	滿洲	臺灣	中區	分
19,284	1,194	18,090	761	693	543	男女計	兒
17,865	1,050	16,815	675	501	534	計	合
37,149	2,244	34,905	1,436	1,194	1,077	餐陪住現	
3,556	364	3,192	128	191	179	洗受人大	
40,705	2,508	38,197	1,564	1,385	1,256	洗受人小	
18,176	1,237	16,939	763	747	490	(減)△増	
2,291	180	2,111	129	83	24	朝夕拜禮曜日	
246	27	219	24	19	6	席出會禱祈	
1,189	111	1,078	96	87	98	徒生校學曜日	
8,815	692	7,993	374	317	185	金献持維會教	
4,782	577	4,205	161	144	92	金献ノ他其	
5,186	388	2,783	128	120	69	額總金献	
30,515	3,870	26,645	1,214	1,079	824		
185,657	6,075	179,582	11,887	10,838	6,210		
248,182	6,985	241,197	11,211	7,158	4,913		
433,839	13,060	420,779	23,098	17,996	10,823		

未中	加入	會	29
			15
			44
			11
			55
			29
			19
			0
			0
			24
			17
			15
			28
			2,914
			1,692
			4,606
總	合	計	19,313
			17,880
			37,193
			3,567
			40,760
			18,205
			2,310
			246
			1,189
			8,815
			4,799
			5,186
			30,543
			188,571
			249,874
			438,145

第一 東京中會所屬

本郷	淺草	上田	麴町	芝	指路	新榮	海岸	未中
111	34	13	38	314	698	36	186	29
97	54	24	78	249	502	37	178	15
208	88	37	116	563	1,200	73	364	44
7	13	0	8	66	55	15	57	11
215	101	37	124	623	1,255	88	421	55
35	47	21	40	197	351	63	259	29
17	0	0	16	11	31	1	20	19
0	0	0	0	0	2	0	0	0
16	3	0	17	6	20	△ 3	2	0
40	14	15	74	80	99	30	94	24
28	7	5	25	35	27	10	14	17
27	3	7	18	8	21	5	9	15
63	30	90	81	80	68	120	54	28
1,161	478	570	145	1,972	2,421	977	918	2,914
724	2,992	29	4,772	21,892	1,602	977	1,082	1,692
1,885	3,470	599	4,917	23,864	4,023	1,954	2,900	4,606
富士見町	横須賀	高輪	日本橋	豊島岡	兩國	牛込	桐生	總
908	117	202	96	51	195	196	57	19,313
813	92	128	63	46	120	233	59	17,880
1,721	209	330	159	97	315	426	116	37,193
104	2	12	11	0	0	30	8	3,567
1,825	211	342	170	97	315	459	124	40,760
1,903	118	134	143	67	135	160	82	18,205
52	22	29	4	5	16	2	14	2,310
0	0	1	5	0	0	0	0	246
50	△ 98	30	9	38	13	6	11	1,189
316	42	73	30	24	39	80	28	8,815
46	33	41	19	15	49	10	17	4,799
35	13	20	10	8	5	5	10	5,186
408	156	351	53	135	125	110	130	30,543
9,927	965	1,367	1,374	309	1,508	1,290	1,116	188,571
17,272	1,623	1,228	2,862	614	2,922	1,459	215	249,874
27,199	2,588	2,895	4,236	1,013	3,530	2,749	1,331	438,145

谷 町	計 ④	松 本	白 金	三 嶋	新 瀉	鎌 倉	大 井 町	小 石 川	青 島	教 區 分	
										男	女
48	5,204	91	54	29	106	37	45	49	37	157	157
109	4,816	42	49	46	64	51	58	56	54	131	211
157	10,920	133	103	75	170	88	103	105	91	288	368
22	640	0	6	0	19	10	10	8	14	15	8
179	10,560	133	109	75	189	98	113	113	105	303	376
115	4,850	97	64	47	54	60	51	51	42	64	129
6	493	20	5	1	7	8	5	6	4	21	10
2	19	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0
7	382	21	10	△ 3	4	10	4	4	△ 3	22	11
65	2,075	63	41	13	31	33	35	42	20	40	38
30	727	0	11	21	15	13	20	19	8	34	21
17	507	18	9	12	13	8	10	12	8	22	10
150	4,400	45	101	125	145	116	100	0	100	45	85
349	52,599	465	1,384	690	1,229	714	433	1,592	1,246	1,210	832
588	91,856	741	8,833	574	533	2,986	384	849	470	1,026	934
937	144,455	1,206	10,217	1,264	1,762	3,700	817	2,441	1,716	2,236	1,766
靜 岡	柏 崎	本 所	計 ⑦	西 巢 鴨	十 字	小 山	池 袋	北 豐 島	小 俣	教 區 分	
42	9	29	109	—	9	14	7	10	21	136	104
37	9	20	207	—	12	60	12	7	7	101	110
79	18	49	316	—	21	74	19	17	28	237	214
4	2	0	30	—	6	0	2	0	0	17	10
83	20	49	346	—	27	74	21	17	28	254	224
34	18	29	221	—	15	27	19	17	28	134	101
2	5	9	17	—	0	2	6	3	0	7	9
0	0	0	2	—	0	0	0	0	0	1	0
4	5	△ 8	29	—	0	0	10	0	14	5	23
30	0	18	133	—	0	18	31	17	6	54	51
9	5	19	50	—	0	0	0	16	0	17	18
9	9	11	52	—	0	6	12	10	7	9	18
80	0	45	355	—	22	36	0	77	70	151	112
540	24	217	1,451	—	157	170	195	480	60	2,175	1,548
856	12	371	1,248	—	134	56	184	223	63	909	3,387
1,396	36	588	2,699	—	291	226	379	703	123	3,084	5,235

山 梨	水 戸	鷺 山	角 筈	市 ヶ 谷	佐 久	伊 勢 崎	千 葉	教 區 分	
								男	女
157	90	5	153	123	35	37	157	157	157
131	54	7	120	138	27	29	211	211	211
288	144	12	273	261	62	66	368	368	368
15	2	0	0	18	8	0	8	8	8
303	146	12	273	279	70	66	376	376	376
64	52	12	202	153	25	66	129	129	129
21	2	0	50	12	3	8	10	10	10
2	0	0	0	2	0	0	0	0	0
22	0	△ 4	52	△ 20	3	6	11	11	11
40	25	10	75	65	7	15	38	38	38
34	10	8	19	24	0	21	21	21	21
22	8	6	11	20	6	7	10	10	10
45	125	20	85	80	25	75	85	85	85
1,210	511	120	749	1,412	81	1,373	832	832	832
1,026	173	68	697	1,100	67	532	934	934	934
2,236	684	188	1,446	2,512	148	1,905	1,766	1,766	1,766
上 海	大 崎	小 名 木 川	明 星	中 澁 谷	千 駄 ヶ 谷	大 森	青 山	教 區 分	
136	62	32	68	175	70	100	104	104	104
101	50	206	57	204	61	117	110	110	110
237	112	238	125	379	131	217	214	214	214
17	26	5	32	14	14	15	10	10	10
254	138	243	157	393	145	232	224	224	224
134	69	124	84	125	81	108	101	101	101
7	7	14	6	30	7	11	9	9	9
1	0	0	2	1	0	1	0	0	0
5	8	14	5	37	11	6	23	23	23
54	33	53	26	90	52	85	51	51	51
17	10	0	15	0	17	25	18	18	18
9	7	42	5	20	6	16	18	18	18
151	26	35	60	135	105	450	112	112	112
2,175	1,208	561	691	1,518	1,301	2,668	1,548	1,548	1,548
909	694	246	1,596	1,089	803	1,778	3,387	3,387	3,387
3,084	1,902	807	2,287	2,607	2,104	4,446	5,235	5,235	5,235

大宮	鴻巣 (以下合衆國リホ 1△下傳道所)	計 (自給傳道所)二	館山	澁谷 (以下自給傳道所)	計 (北長老傳 道教會)七	東金	共立	礪川	朽木
12	13	28	11	17	179	—	12	14	44
15	13	46	8	38	161	—	17	27	19
27	26	74	19	55	340	—	29	41	63
1	0	4	0	4	21	—	4	9	3
28	26	78	19	59	361	—	33	50	66
18	20	47	10	37	177	—	20	29	32
1	3	1	1	0	16	—	2	0	6
0	0	0	0	0	0	—	0	0	0
0	2	5	0	5	9	—	1	1	6
11	6	32	10	22	85	—	8	12	16
13	13	9	0	9	40	—	14	5	8
6	6	8	0	8	49	—	15	7	7
60	35	188	140	48	711	—	135	51	281
166	72	311	0	311	1,267	—	49	256	247
138	35	4,145	102	4,043	1,452	—	80	242	231
304	107	4,456	102	4,354	2,719	—	129	498	478
合計 (東京中會)七八	計 (共立傳道所)一	岩本 (共立傳道所)	小千谷	長岡 (以下傳道所)	計 (合衆國リホ一 五)	浦和	蓮田	岩槻	
6,115	50	23	10	17	78	32	14	7	
5,813	30	14	8	8	67	26	5	8	
11,928	80	37	18	25	145	58	19	15	
812	2	2	0	0	5	3	1	0	
12,740	82	39	18	25	150	61	20	15	
5,901	59	21	13	25	101	32	19	12	
622	19	6	4	9	6	2	0	0	
25	1	1	0	0	0	0	0	0	
178	27	10	3	14	3	1	0	0	
2,555	21	9	0	12	36	19	0	0	
1,070	48	26	8	14	38	0	5	7	
763	23	16	0	7	21	5	0	4	
7,159	449	326	47	76	275	40	41	99	
59,950	423	210	90	123	505	189	29	49	
111,481	507	192	101	213	459	72	0	142	
171,431	930	403	191	336	964	261	29	191	

濱松	佐渡 (以下合衆國リホ 八)	計 (傳道所傳 道教會)八	諏訪	飯田	伊那	村上	長野	教區 分 名
—	64	249	32	20	26	78	13	男女計兒
—	61	271	60	21	29	83	12	計合
—	125	520	92	41	55	161	25	餐陪住現
—	3	32	8	2	11	5	0	洗受人大小
—	128	552	100	43	66	166	25	洗受人小
—	56	217	35	39	28	10	24	(減)△増
—	8	31	8	1	4	0	2	朝拜禮曜日
—	0	1	0	0	1	0	0	夕
—	8	61	5	59	12	0	4	席出會禱祈
—	16	86	11	13	8	0	6	徒生校學曜日
—	0	95	19	16	19	0	8	金献持維會教
—	7	67	13	12	11	0	2	額總金
—	185	397	107	80	60	0	25	額總金
—	139	1,810	476	170	114	88	181	額總金
—	209	1,850	259	94	86	55	117	額總金
—	348	3,660	735	264	200	143	298	額總金
宇都宮	九十九里	木更津 (以下北長老 傳道教會)四	計 (合衆國リホ一 四)	麻布	忍町	越ヶ谷	神田 (以下合衆國リホ 一)	教區 分 名
38	35	36	154	25	14	50	65	男女計兒
31	22	45	154	28	15	52	59	計合
69	57	81	308	53	29	102	124	餐陪住現
2	0	3	75	9	6	28	32	洗受人大小
71	57	84	383	72	35	130	156	洗受人小
26	35	35	173	46	18	52	57	(減)△増
2	4	2	31	3	0	10	18	朝拜禮曜日
0	0	0	2	0	0	2	0	夕
0	4	1	188	5	2	12	211	席出會禱祈
9	19	21	71	14	4	18	35	徒生校學曜日
5	0	8	53	5	6	18	24	金献持維會教
4	8	8	29	4	0	7	18	額總金
45	110	89	209	50	23	60	76	額總金
137	92	486	1,485	200	85	308	892	額總金
222	251	426	3,477	408	16	2,753	300	額總金
359	343	912	4,962	608	101	3,061	1,192	額總金

第二 浪花中會所屬

計 (獨立) 二五	教區名分								
	二宮	金城	田邊	湊川	室町	神戶住吉	安藝	堺中央	聚樂
3,226	27	60	67	229	178	36	13	45	166
3,120	28	71	43	169	186	31	22	23	118
6,346	55	131	110	398	364	67	35	68	284
740	13	18	18	60	50	4	10	19	28
7,086	68	149	128	458	414	71	45	87	312
2,749	42	66	50	132	125	49	30	53	40
252	3	9	1	12	1	9	3	6	8
43	5	3	0	2	0	0	4	1	2
240	2	14	1	16	3	10	4	10	6
1,405	20	49	14	62	73	38	23	37	22
557	12	6	12	25	0	18	14	30	32
336	10	5	7	15	11	13	7	10	14
2,503	90	112	108	90	110	103	55	53	145
36,213	192	602	573	1,267	1,586	916	245	2,223	688
45,886	397	211	416	1,715	463	921	148	9,087	694
82,099	589	813	989	2,982	2,049	1,837	393	11,310	1,382
西都	教區名分								
	安治川	山田	中津川	永泉	福井	殿町	新宮	愛(仰以下教民會若隣)	津(仰以下教民會若隣)
73	12	74	54	32	12	54	61	64	50
52	11	66	44	21	8	67	74	42	53
125	23	140	98	53	20	121	135	106	103
15	1	9	5	17	17	3	14	20	9
140	24	156	103	70	37	124	149	126	112
67	16	61	32	34	20	56	88	83	54
7	3	17	4	0	0	15	14	8	5
1	1	1	1	0	0	0	9	6	2
1	3	18	4	11	0	5	17	12	9
43	16	35	29	17	10	47	30	8	25
42	15	29	0	16	6	21	20	18	12
17	10	13	9	5	6	16	15	5	10
140	20	105	80	105	28	67	200	83	100
1,955	263	778	374	372	41	336	1,062	584	371
243	165	399	502	186	41	186	508	118	246
1,298	428	1,177	876	558	82	522	1,570	702	617

神戶	教區名分								
	大阪南	高知	大阪北	和歌山	大阪西	名古屋	金澤	津	堺
85	80	579	227	108	142	212	172	50	156
66	109	659	185	116	203	202	166	74	126
151	189	1,238	412	224	345	414	338	141	178
29	33	85	22	30	12	43	25	29	55
180	222	1,323	434	254	357	457	363	176	207
107	107	726	103	75	116	183	72	66	203
15	3	43	16	13	13	22	9	14	6
5	0	2	0	1	0	4	0	0	0
17	5	19	31	12	8	28	13	17	13
60	42	300	59	48	62	81	70	40	93
21	15	125	9	52	15	32	21	18	20
12	9	85	7	15	11	16	11	12	11
120	57	312	76	102	75	122	80	71	83
1,840	1,087	4,793	1,998	1,247	2,003	1,861	1,569	1,110	3,156
3,642	443	15,205	1,029	927	298	460	581	1,048	4,098
5,482	1,530	19,998	3,027	2,174	2,301	2,321	2,150	1,458	7,254
湊西	大阪東	德島	天下茶屋	布引	高松	神港	堺	教區名分	
64	136	134	70	86	104	156	50	男	50
58	147	116	74	55	74	126	73	女	73
122	283	250	144	141	178	282	123	計	123
22	11	26	38	35	29	55	25	兒	25
144	294	276	182	176	207	337	148	合	148
69	52	46	97	51	66	203	89	餐	89
4	0	8	6	7	14	6	17	陪	17
1	0	4	2	0	0	0	8	住	8
4	4	1	13	3	17	13	4	現	4
28	22	41	35	31	55	93	40	朝	40
10	7	26	6	14	18	18	20	夕	20
8	7	15	4	8	13	11	12	拜	12
79	59	70	120	81	130	71	83	禮	83
1,507	1,281	1,010	1,243	1,402	814	3,156	1,110	日	3,156
691	683	587	499	731	912	4,098	1,048	席	4,098
2,198	1,964	1,597	1,742	2,133	1,726	7,254	2,158	出	7,254

上分	城南	△新舞鶴	清水	須崎	丸龜	△河南	西野田	粉河	四日市
33	26	68	38	35	31	8	32	86	32
30	6	28	35	43	24	4	35	35	27
63	32	96	73	78	55	12	67	121	59
5	4	3	7	15	7	5	3	27	2
68	35	99	80	93	62	17	70	148	61
28	28	43	53	16	43	5	41	33	9
0	3	7	5	1	11	1	4	1	3
0	0	0	1	0	4		0	0	0
△ 2	3	5	△ 6	0	12		△ 10	△ 8	2
8	0	14	48	20	33	13	12	0	8
11	21	7	14	18	25	7	16	23	7
5	7	8	9	12	20	7	7	4	6
134	72	60	150	97	120	40	135	100	77
95	344	353	322	184	500	25	92	180	109
75	119	232	1,624	210	437	46	145	142	74
170	463	585	1,946	394	947	71	237	322	183
柳山 (弓之形)	串本	△八尾	武生	敦賀	△高槻 (以下由長老 道教會)	計 (御道教會三八)	計 (北長老御三七 道教會)	幡多	相生
28	29	6	2	25	21	1,458	1,408	15	20
65	12	11	3	18	20	1,321	1,268	24	12
93	41	17	5	43	41	2,779	2,676	39	32
4	3	0	0	2	8	321	312	9	5
97	44	17	5	45	49	3,100	2,988	48	37
56	27	0	0	25	9	1,369	1,315	5	19
21	12	4	2	9		223	218	3	
0	0		0	0		32	30	0	
△ 12	12	9	1	10	4	139	130	6	
13	6	0	0	14	6	674	649	10	15
25	15	21	6	13		539	527	10	11
13	12	11	0	12	4	339	329	6	11
160	150	101	55	191	22	3,988	2,988	60	50
110	72	8	26	318	94	12,588	12,217	50	618
206	42	115	13	374	2	13,135	12,889	50	453
316	114	122	39	692	96	25,723	25,106	100	1,071

姫路	篠山	吉田	富山	住吉	茨木	難波	龜山	教會區 名分
18	28	36	33	51	10	36	64	男女計兒
13	19	23	42	60	11	39	176	計合
31	47	59	75	111	21	75	240	餐陪住現
4	6	11	6	11	0	19	18	洗受人小
35	53	70	81	122	21	94	258	(減)△増
23	14	33	25	55	15	20	66	朝夕拜禮曜日
3	0	4	8	9	0	4	54	席出會講祈
0	0	0	0	3	0	0	0	徒生校學曜日
1	13	△ 30	3	11	0	3	38	金獻持維會教
10	9	28	19	24	14	9	21	金獻ノ他其
19	7	7	10	17	0	14	6	額總金獻
6	4	7	12	14	5	0	8	
64	36	72	110	50	18	50	120	
240	50	277	288	492	252	162	358	
145	225	242	120	380	91	189	149	
385	275	519	408	872	343	351	507	
上野	△御坊	△阿倍野 (東天橋)	七條	高岡	伏見	△波瀨	四條	教會區 名分
55	29	33	57	18	42	19	19	男女計兒
31	12	23	48	16	24	25	18	計合
86	41	56	105	34	66	44	37	餐陪住現
16	4	2	0	2	2	10	1	洗受人小
102	45	58	105	35	68	54	38	(減)△増
37	15	40	65	27	35	42	23	朝夕拜禮曜日
3	2	6	11	2	2	3	0	席出會講祈
0		0	0	0	1	2	0	徒生校學曜日
△ 2		△ 2	11	1	4	4	△ 8	金獻持維會教
6		20	28	20	13	12	0	金獻ノ他其
14	13	11	27	25	7	13	0	額總金獻
10	9	12	10	18	6	5	5	
85	63	115	77	70	30	35	70	
189	44	500	1,000	386	86	76	70	
156	145	1,886	985	90	116	2,000	15	
345	189	2,386	1,985	476	202	2,076	85	

第三 東北中會所屬

石卷	小高 <small>(以下合衆國リ本 1△下傳道教會)</small>	東北學院 <small>(自給傳道教會)</small>	計 <small>(編立五)</small>	荒町	福島	東六番丁	岩沼	仙台 <small>(以下期五教會)</small>
57	5	86	733	97	78	88	49	421
60	6	55	685	101	78	81	33	392
117	11	141	1,418	198	156	169	82	813
5	2	2	34	12	3	6	1	12
122	13	143	1,452	210	159	175	83	825
64	0	136	413	118	39	63	41	152
10	0	35	53	14	10	8	6	15
0	0	0	3	2	1	0	0	0
5	0	50	18	5	10	5	4	2
25	0	124	254	58	31	61	20	84
21	7	0	80	22	22	0	0	36
7	6	17	75	15	14	11	16	19
127	96	344	665	186	125	125	99	130
231	42	1,257	3,516	602	652	459	258	1,545
191	75	1,019	2,081	501	336	278	164	802
422	117	2,276	5,597	1,103	988	737	422	2,347
角田	秋田	長岡	飯坂	鶴岡	山形	中村	上ノ山	白石
16	48	107	16	25	59	20	31	47
17	33	77	13	44	33	37	11	15
33	81	184	29	69	92	57	42	62
0	7	5	5	4	8	5	7	3
33	88	189	34	73	100	62	49	65
6	35	93	12	27	43	35	27	45
0	3	25	2	8	5	9	0	6
0	0	3	1	2	0	0	0	0
△ 1	14	47	△ 7	11	3	10	3	△ 5
0	12	0	0	23	29	15	9	14
8	9	34	13	14	12	17	13	21
6	8	0	8	12	10	13	4	8
52	90	60	40	54	75	143	65	140
39	172	136	106	137	374	186	44	151
57	64	1,109	183	255	272	465	30	252
96	236	1,245	289	392	646	651	74	403

伏木	小濱	河北	佐野	柏原 <small>(大)</small>	尾鷲	桑名	松坂	教會區 名分
2	8	5	10	12	13	14	25	男女計兒
1	9	9	18	10	9	4	25	計合
3	17	14	28	22	22	18	50	餐陪住現
0	0	10	4	1	0	1	2	洗受人小
3	17	24	32	23	22	19	52	洗受人小
	11	5	20	16	16	16	16	(減)△増
	1	0	5	1	0		9	朝拜禮曜日
	0	0	0	0	0		0	夕
1	2	△ 6	5	4	1		8	席出會禱祈
0	0	0	0	11	0	10	0	徒生校學曜日
10	7	5	17	7	14	10	17	金獻持維會教
0	5	4	6	6	6	0	0	金獻ノ他其
10	79	30	59	59	82	15	82	額總金獻
40	0	61	93	36	0	0	33	
10	24	75	66	32	217	12	53	
50	24	136	159	68	217	12	86	
合計 <small>(東北中會所屬)</small>	計 <small>(傳道所)</small>	高濱	外島	久居	小松	池田	高芝	教會區 名分
5,099	415	—	160	12	5	14	24	男女計兒
4,743	302	—	43	8	2	19	16	計合
9,842	717	—	203	20	7	33	40	餐陪住現
1,100	39	—	0	4		0	0	洗受人小
10,942	756	—	203	24	7	33	40	洗受人小
4,576	458	—	165	14	6	33	23	(減)△増
557	82	—	11	2	3	2	0	朝拜禮曜日
76	1	—	0			0	0	夕
440	61	—	8	2	3	2	1	席出會禱祈
2,204	125	—	35	5		25	3	徒生校學曜日
1,337	240	—	35		25	8	5	金獻持維會教
815	140	—	35	4	10	7	5	金獻ノ他其
6,905	1,314	—	0	30	9	80	100	額總金獻
50,475	1,674	—	0	86		417	280	
60,599	1,578	—	0	607	79	137	60	
111,074	3,252	—	0	693	79	554	340	

楯岡	須賀川	原町	川俣	亘理	登米	計三〇	△松山	△八澤	若松
2	8	19	27	19	24	1,036	15	20	91
0	10	23	10	10	10	873	9	2	65
2	18	42	37	29	34	1,959	24	22	156
0	0	0	0	14	2	123	0	0	25
2	18	42	37	43	36	2,082	24	22	181
2	13	10	21	19	14	1,056	18	16	79
0	0	3	0	4	4	141	0	0	14
0	0	0	0	0	0	15	0	0	2
0	△ 1	2	3	2	△ 6	96	0	0	17
0	0	0	0	0	11	395	0	20	42
5	7	11	10	14	0	430	13	0	13
0	4	9	7	7	5	226	0	13	10
33	47	62	59	55	70	2,902	70	0	180
0	42	0	28	77	33	4,666	36	0	416
0	72	93	143	74	60	10,454	78	0	381
0	114	93	171	151	93	15,120	114	0	797
一戸	三春	置賜	日詰	山田	猪苗代	野邊地	大曲	白河	二本松
0	12	28	19	20	5	12	25	11	7
7	4	12	5	2	9	12	6	12	8
7	16	40	24	22	14	24	31	23	15
0	0	2	3	0	0	5	1	0	1
7	16	42	27	22	14	29	32	23	16
6	11	14	14	10	7	8	11	15	10
0	0	2	3	0	2	1	1	14	3
0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
1	0	2	2	0	4	△ 1	0	14	3
0	0	0	0	0	0	0	8	0	0
10	10	37	21	7	15	7	6	9	10
5	5	7	15	0	15	6	1	6	10
115	70	33	253	77	34	55	43	49	63
6	8	103	95	42	37	24	24	16	32
80	69	287	171	0	80	89	51	82	0
86	77	390	266	42	117	113	75	98	32

古川	喜多方	本宮	一ノ關	青森	北四番丁	郡山	新庄	教會區 名分
28	13	19	19	34	51	17	36	男女計兒
36	18	2	21	50	61	10	22	計合
64	31	21	40	84	112	27	58	餐陪住現
4	0	0	0	11	2	0	2	洗受人小
68	31	21	40	95	114	27	69	洗受人小
25	19	9	18	47	90	18	28	(減)△増
1	5	0	0	7	8	1	1	朝拜禮曜日
0	0	0	0	0	0	0	0	夕拜禮曜日
0	1	0	△ 52	10	6	7	△ 8	席出會禱祈
0	11	0	7	19	36	9	8	徒生校學曜日
17	7	13	7	14	0	9	17	金獻持維會教
13	0	12	6	8	7	5	5	金獻ノ他其
95	155	60	80	80	149	61	50	額總金獻
135	108	55	62	274	356	35	168	
2,403	171	3	178	819	285	177	160	
2,538	279	58	240	1,093	641	212	328	
宮古	横手	盛岡	本郷	酒田	平	大河原	米澤	教會區 名分
33	20	31	18	57	60	38	55	男女計兒
21	22	26	10	22	53	31	46	計合
54	42	57	28	79	113	69	101	餐陪住現
9	1	0	1	0	5	1	11	洗受人小
63	43	57	29	79	118	70	112	洗受人小
28	31	45	5	67	26	31	69	(減)△増
6	2	4	0	11	1	0	12	朝拜禮曜日
6	0	0	0	0	0	0	1	夕拜禮曜日
11	1	3	0	13	0		7	席出會禱祈
9	12	25	0	15	13	16	26	徒生校學曜日
13	11	15	0	71	14	7	20	金獻持維會教
9	0	15	0	18	0	11	12	金獻ノ他其
140	161	95	45	157	147	128	107	額總金獻
167	103	343	54	251	168	125	192	
187	93	311	48	1,594	302	100	111	
354	196	654	102	1,945	470	225	303	

吳	豐浦	廣島	下關 <small>(以下獨立教會)</small>
109	28	90	79
86	50	70	236
195	78	160	315
7	0	36	13
202	78	196	328
83	39	77	183
9	4	8	45
0	0	6	0
6	△ 50	6	34
39	26	56	136
19	11	22	20
13	6	17	15
113	80	90	118
1,035	909	795	1,406
1,361	367	11,891	757
2,396	1,276	12,686	2,163

第五 山陽中會所屬

戶畑	門司	鹿兒島 <small>(傳道局傳道教會)</small>	佐賀 <small>(自給傳道教會)</small>	計 <small>(獨立)六</small>
14	32	93	49	504
10	27	83	51	424
24	59	176	100	928
4	16	12	23	88
28	75	188	123	1,016
12	28	48	33	417
3	1	11	1	79
0	0	1	0	4
5	3	△ 2	1	87
8	12	49	32	312
0	7	26	16	97
0	5	18	13	68
0	43	56	73	432
107	413	435	457	6,323
282	210	468	343	5,013
389	623	903	800	11,336

山口 <small>(以下獨立教會)</small>	計 <small>(獨立)六</small>	榎町	岡山
84	407	37	64
81	581	40	99
165	988	77	163
15	76	0	20
180	1,964	77	183
59	526	50	94
11	94	7	21
2	8	0	2
11	16	5	15
51	344	44	43
11	105	17	16
11	74	13	10
140	582	91	90
454	5,722	651	926
287	15,657	510	771
741	21,379	1,161	1,697

福岡	熊本	長崎 <small>(以下獨立教會)</small>
83	99	175
90	89	74
173	188	249
34	2	21
207	190	270
122	54	141
16	9	35
1	0	1
22	6	47
86	42	122
30	17	16
20	10	13
133	62	140
1,450	613	1,290
801	493	2,582
2,251	1,106	3,872

第四 鎮西中會所屬

原町	田尻	村田	大寺	教會區 名分
9	9	14	1	男女計兒
10	7	12	1	合計
19	16	26	2	餐陪住現
1	0	0	0	洗受人大小
20	16	26	2	(減)△增
15	9	19	0	朝拜禮曜日
2	1	2	0	夕會禱祈
0	0	0	0	席出會禱祈
4	0	2	1	徒生校學曜日
0	0	18	0	金獻持維會教
6	15	0	3	金獻ノ他其
5	0	0	5	額總金獻
44	51	59	34	
80	18	31	0	
103	197	93	17	
183	215	124	17	

小倉	若松	佐世保
41	24	82
44	48	79
85	72	161
4	12	15
89	84	176
38	20	42
4	0	15
2	0	0
2	△ 4	14
20	11	31
7	0	27
6	6	13
45	32	20
976	689	1,305
269	85	783
1,245	774	2,088

合計 <small>(東北中會)五入</small>	計三 <small>(合衆國リキト)</small>	小牛田	丸森	教會區 名分
2,195	290	9	10	男女計兒
1,796	183	6	7	合計
3,991	473	15	17	餐陪住現
188	29	0	0	洗受人大小
4,179	502	15	17	(減)△增
1,849	244	8	8	朝拜禮曜日
273	44	0	2	夕會禱祈
19	1	0	0	席出會禱祈
212	48	15	1	徒生校學曜日
810	37	0	0	金獻持維會教
730	220	11	6	金獻ノ他其
430	112	0	0	額總金獻
5,321	1,410	65	39	
10,141	702	0	6	
15,395	1,841	80	0	
25,536	2,543	80	6	

瀧川	野付牛	遠輕	旭川	小樽	札幌	函館 (以下獨立教會)
46	74	68	95	98	254	70
31	58	75	81	105	361	67
77	132	143	176	203	615	137
7	39	17	17	5	74	8
84	171	160	193	208	689	145
30	65	76	57	99	403	71
4	7	0	3	8	68	13
0	4	0	0	0	*5	1
1	13	△ 2	△ 7	△ 44	△ 68	6
20	26	30	29	48	193	25
18	14	0	23	34	48	21
10	11	0	9	16	16	5
69	79	94	120	185	283	82
578	901	815	1,003	2,748	2,636	582
231	866	334	256	704	590	491
809	1,767	1,149	1,259	3,452	3,226	1,073
美深	紋龜	佐呂洞	室蘭 (以下獨立教會)	釧路 (獨立)	釧路	聖園
11	7	32	44	814	71	38
10	14	18	40	865	52	35
21	21	50	84	1,579	123	73
5	5	1	7	198	11	20
26	26	51	91	1,877	134	93
21	21	23	35	892	56	35
3	0	1	5	105	0	2
1	0	0	0	10	0	0
△ 2	0	2	11	△ 109	△ 8	0
19	9	10	21	414	20	23
19	15	0	12	168	10	0
11	8	6	8	81	5	9
128	59	41	84	1,062	92	58
184	130	178	712	10,577	998	416
150	25	142	984	4,084	591	21
334	155	320	1,696	14,761	1,589	437

第六 北海道中會所屬

計 (北長老傳道所三)	字部
34	8
28	3
62	11
1	0
63	11
33	0
13	6
0	0
18	11
25	14
29	13
13	7
115	20
186	50
215	82
401	132
合計 (山陽中會三)	
970	
1,093	
2,063	
196	
2,259	
918	
181	
24	
118	
612	
263	
178	
1,905	
9,555	
18,375	
27,940	

尾ノ道	岩國	柳井	徳山	三田尻	萩	彌富	津和野	教會區 名分
39	53	62	22	14	26	12	6	男女計兒
23	57	34	27	15	23	15	7	計合
62	110	96	49	29	49	27	13	餐陪住現
4	17	15	3	2	3	3	0	洗受人小
66	127	111	52	31	52	30	13	洗受人小
26	40	29	26	6	17	18	7	(減)△増
7	2	2	0	0	2	0	0	朝拜禮曜日
0	3	0	0	0	0	0	0	夕拜禮曜日
9	2	2	△ 1	0	2	0	△ 1	席出會禱祈
16	21	11	16	7	14	10	14	徒生校學曜日
6	11	12	8	0	11	0	0	金獻持維會教
7	6	9	9	0	4	5	0	金獻ノ他其
45	45	85	158	50	18	57	20	額總金獻
169	311	324	176	30	105	74	8	
291	343	3	86	11	87	46	43	
460	654	327	262	41	192	120	51	
横川	三 次 (老以下 傳道所長)	計 (北長老傳道所二)	久万	福山	忠海	三原	大洲	教會區 名分
10	16	529	50	27	40	29	65	男女計兒
6	19	484	24	27	27	28	96	計合
16	35	1,013	74	54	67	57	161	餐陪住現
0	1	119	9	6	18	0	24	洗受人小
16	36	1,132	83	60	85	57	185	洗受人小
10	23	359	15	25	17	31	43	(減)△増
0	7	74	5	6	10	10	19	朝拜禮曜日
0	0	16	0	0	3	0	8	夕拜禮曜日
0	7	84	0	9	14	13	24	席出會禱祈
3	8	243	12	14	12	23	22	徒生校學曜日
7	9	129	16	12	10	8	24	金獻持維會教
0	6	91	9	7	8	7	9	金獻ノ他其
45	50	1,108	88	52	72	100	178	額總金獻
7	129	3,657	183	482	236	263	842	
49	84	2,497	112	133	181	136	744	
56	213	6,154	295	615	417	399	1,586	

計 (獨立)六	安東	天津	撫順	旅順	奉天	大連 (以下獨立教會)	合計 (滿洲中會)八	長春	鐵嶺 (以下獨立教會)
446	39	46	75	39	64	183	55	10	
1,075	90	106	185	116	153	425	119	25	
185	0	8	40	16	28	93	6	1	
1,260	90	114	225	132	181	518	125	26	
621	40	48	114	39	85	295	747	32	
61	1	2	14	9	19	16	83	7	
18	0	1	11	1	2	3	19	0	
42	△ 3	6	12	7	13	7	87	6	
268	27	35	31	28	45	102	317	15	
128	19	10	19	20	28	32	144	0	
92	17	8	16	19	17	15	120	15	
855	149	80	151	126	140	209	1,079	104	
9,865	1,127	1,575	1,931	912	1,458	2,862	10,838	243	
6,228	333	456	2,723	665	972	1,079	7,158	485	
16,093	1,460	2,031	4,654	1,577	2,430	3,941	17,996	728	

第八 滿洲中會所屬

計 (自給傳道教會)四	新竹	合計 (台灣中會)八
76	11	534
174	30	1,977
21	8	179
195	38	1,256
85		490
9	0	24
2	0	6
△ 23	△ 18	△ 98
44	10	185
35	6	92
23	4	69
284	71	824
1,631	692	6,210
1,187	94	4,613
2,818	786	10,923

高雄	臺中	臺南	臺北 (以下獨立教會)	合計 (獨立)四	屏東	嘉義	基隆 (以下獨立教會)	合計 (獨立)六
50	37	116	255	14	48	3	458	
99	67	227	510	23	115	6	903	
21	10	53	74	5	8	0	158	
120	77	280	584	23	123	6	1,961	
55	39	102	209	14	65	6	405	
2	2	2	9	1	8	0	15	
0	1	1	2	0	2	0	4	
△ 38	△ 19	5	△ 23	△ 4	6	△ 7	△ 75	
21	25	39	56	14	20	0	141	
12	16	10	19	12	11	6	57	
8	12	15	11	11	8	0	46	
55	98	185	202	75	138	0	540	
736	473	975	2,395	146	696	97	4,579	
339	320	327	2,440	131	962	0	3,426	
1,075	793	1,302	4,835	277	1,658	97	8,005	

第七 臺灣中會所屬

苦小牧 (以下獨立教會)	計 (北長老傳道所)五	士別	教會區分	
			名	分
7	107	13	男女計	兒
5	95	13	計	合
12	202	26	餐陪住現	
0	40	22	洗受人	大
12	242	48	洗受人	小
12	116	16	(減)△增	
1	17	8	朝夕	拜禮曜日
0	9	8	席出會	禱祈
0	26	15	徒生校學	曜日
0	64	5	金獻持維	會教
14	56	10	金獻	其他
10	40	7	額總	金獻
101	372	60		
147	1,310	106		
30	1,380	79		
177	2,690	185		

合計 (北長老傳道所)二	計 (北長老傳道所)二	近文	教會區分	
			名	分
940	19	12	男女計	兒
973	13	8	計	合
1,913	32	20	餐陪住現	
239	1	1	洗受人	大
2,152	33	21	洗受人	小
1,938	30	18	(減)△增	
126	4	3	朝夕	拜禮曜日
19	0	0	席出會	禱祈
△ 80	3	3	徒生校學	曜日
490	12	12	金獻持維	會教
259	35	21	金獻	其他
152	31	21	額總	金獻
1,519	176	75		
12,175	188	41		
5,635	171	141		
17,810	359	182		

第九 朝鮮中會所屬

計	若草	大邱	新義州	釜山	群山	京城	教會區分	
							名	分
588	64	63	61	67	60	273	男女計	
495	56	35	54	58	63	229	兒計	
1,083	120	98	115	125	123	502	合計	
93	4	4	5	40	19	21	餐陪住現	
1,176	124	102	120	165	142	523	洗受人	
570	81	45	58	84	66	236	洗受人	
101	21	4	12	17	9	38	(減)△增	
11	0	0	1	5	3	2	朝夕拜禮曜日	
90	24	5	8	14	5	34	席出會禱祈	
261	50	30	26	35	25	95	徒生校學曜日	
112	25	21	15	23	17	11	金獻持維會教	
82	17	13	15	10	11	16	金獻ノ他其	
757	72	80	120	133	85	267	額總金獻	
8,922	1,245	1,767	1,053	1,064	1,501	2,292		
9,626	1,217	269	684	1,869	747	4,840		
18,548	2,462	2,036	1,737	2,933	2,248	7,132		
鎮海	木浦	計	裡里	全州	平壤	龍山	教會區分	
3	33	105	18	19	18	50	男女計	
3	40	107	19	23	17	48	兒計	
6	73	212	37	42	35	98	合計	
0	12	13	1	1	5	6	餐陪住現	
6	85	225	38	43	40	104	洗受人	
6	38	104	19	34	31	20	洗受人	
0	4	22	2	8	9	3	(減)△增	
0	4	4	0	0	3	1	朝夕拜禮曜日	
2	8	7	4	4	5	2	席出會禱祈	
7	23	68	10	17	20	21	徒生校學曜日	
0	12	33	12	17	0	4	金獻持維會教	
0	9	32	10	10	9	3	金獻ノ他其	
33	95	243	65	73	60	45	額總金獻	
57	572	2,067	778	665	216	408		
56	212	1,081	65	284	325	407		
113	784	3,148	843	949	541	815		

第十 申合ミツシヨン所屬

統營	馬山	榮山浦	御殿場		柏久保	浪花中會管轄地域内		三好	善通寺
			以下米國リキ	以下米國リキ		以下米國リキ	以下米國リキ		
9	15	8	27	33	21	7	13	22	7
7	15	8	21	43	8	4	9	17	4
16	30	16	48	76	0	11	22	39	11
6	0	4	15	2	0	1	0	0	1
22	30	20	63	78	39	12	22	39	12
16	14	15	21	49	18	11	22	18	11
2	0	0	8	7	3	1	2	3	1
4	0	1	0	0	0	0	0	0	0
5	3	1	7	2	5	1	26	5	1
9	6	0	16	11	△ 17	△ 26	18	0	12
0	0	4	16	10	45	18	12	15	4
0	5	0	12	7	38	12	14	22	4
33	20	33	48	97	25	6	14	195	45
0	96	0	45	179	215	70	181	0	16
106	84	106	46	194	332	108	725	0	56
106	180	106	91	373	394	158	458	0	72
					726	262	1,183		
合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計
761	60	60	73	13	73	13	60	761	60
675	65	65	73	9	73	9	65	675	65
1,436	125	125	146	22	146	22	125	1,436	125
128	18	18	17	0	17	0	18	128	18
1,564	143	143	163	22	163	22	143	1,564	143
765	74	74	92	22	92	22	74	765	74
129	6	6	17	2	17	2	6	129	6
24	8	8	0	0	0	0	8	24	8
96	2	2	△ 17	△ 26	△ 17	△ 26	2	96	2
374	45	45	45	18	45	18	45	374	45
161	12	12	38	12	38	12	12	161	12
128	14	14	25	6	25	6	14	128	14
1,214	181	181	215	70	215	70	181	1,214	181
11,987	725	725	332	108	332	108	725	11,987	725
11,211	458	458	394	158	394	158	458	11,211	458
23,998	1,183	1,183	726	262	726	262	1,183	23,998	1,183

新町	兵庫	加茂名	安城	イニス團	△鞆	△津島	旭	△大井	△扇港
4	49	14	10	57	7	1	20	5	19
10	19	10	1	27	1	2	21	2	18
14	68	24	11	84	8	3	41	7	37
3	2	0	0	0		0	5	0	4
17	70	24	11	84	8	3	46	7	41
14	39	24	11	46	7		40		17
3	6	9	3	2					8
0	1	0	0	0					
0	7	10	3	1			△ 3		9
6	21	7	0	35		18	30		18
12	20	24	4	29	6	16	16		9
8	13	8	0	26		9	8		6
32	114	36	55	316		50	60		40
52	172	75	2	305			300		0
65	88	82	15	318		10	65		195
117	260	157	17	623		10	365		195
					(仰南道長所三四計)	岐阜	加納	(高知)東部	佐川
					663	40	3	16	6
					472	39	4	8	9
					1,135	79	7	24	15
					114	18	0	4	0
					1,249	97	7	28	15
					662	43	7	20	15
					87	3	1	6	1
					8	2	0	0	0
					90	10	4	6	2
					386	29	8	18	12
					355	12	13	23	13
					214	12	9	7	6
					2,643	20	110	139	90
					2,700	275	0	41	0
					3,763	125	0	38	0
					6,463	400	0	79	0

△南新町	△湊町	大垣	關町	和食	美馬	△岡崎	築地(高松)	教會區名分
—	0	18	16	17	33	29	42	男女計兒
—	0	7	10	3	25	32	16	計合
—	0	25	26	20	58	61	58	餐陪住現
—	0	1	2	4	3	18	2	洗受人大小
—	0	26	28	24	61	79	60	(減)△増
—	0	25	18	18	49	39	45	朝夕拜禮曜日
—	0	1	5	3	1	0	8	席出會禱祈
—	0	0	2	1	0	0	1	徒生校學曜日
—	0	△ 1	7	3	△ 2	0	8	金獻持維會教
—	0	19	6	7	11	22	8	金獻ノ他其
—	0	12	10	13	14	12	0	額總金獻
—	0	5	5	8	9	9	0	
—	20	22	153	143	45	90	130	
—	0	225	130	0	192	114	99	
—	0	156	171	296	133	50	74	
—	0	381	301	296	325	164	173	
△兼山	蒲郡	多治見	坂出	石井	小松島	大道	助任	教會區名分
7	2	7	11	32	46	64	19	男女計兒
10	0	3	11	14	21	72	25	計合
17	2	10	22	46	67	136	44	餐陪住現
0	1	1	3	6	5	20	0	洗受人大小
17	3	11	25	52	72	156	44	(減)△増
17	2	10	10	0	11	64	10	朝夕拜禮曜日
	0	1	2	1	3	8	8	席出會禱祈
	0	1	0	0	0	0	0	徒生校學曜日
	△ 6	2	2	1	2	12	8	金獻持維會教
10	0	5	4	11	9	34	14	金獻ノ他其
	0	10	6	0	7	31	10	額總金獻
9	0	4	4	0	5	0	5	
70	60	60	30	188	57	120	23	
	0	0	57	0	0	379	58	
	0	0	47	0	32	1,529	103	
	0	0	104	0	32	1,908	161	

三 鎮西中會管轄地域内

久留米	佐伯	都城	大分	唐津	臼杵	柳河	教會區	
							名	分
44	17	25	29	62	24	12	男	12
37	16	33	24	46	22	24	女	24
81	33	58	53	108	46	36	計	36
14	13	14	17	22	4	5	兒	5
95	45	72	70	130	50	41	合	41
46	22	23	29	50	18	10	餐陪住現	10
4	4	1	4	4	1	2	洗受人	2
1	1	0	1	0	0	3	洗受人	3
3	4	0	4	4	2	4	(減)△增	4
14	7	19	36	17	8	12	朝夕	12
11	7	10	18	24	5	7	拜禮曜日	7
9	7	8	16	10	3	6	席出會禱祈	6
75	20	120	50	125	55	23	徒生校學曜日	23
218	90	383	241	542	163	106	金献持維會教	106
409	37	286	130	276	144	132	金献ノ他其	132
627	127	669	371	818	307	238	額總金献	238
島原	計	日出	武雄	八女	別府	宇佐	教會區	
10	316	19	11	37	31	5	男	5
12	316	22	5	31	42	14	女	14
22	632	41	16	68	73	19	計	19
0	125	8	6	14	6	2	兒	2
22	757	49	22	82	79	21	合	21
12	328	24	10	52	31	13	餐陪住現	13
2	57	3	1	32	1	0	洗受人	0
0	16	1	2	7	0	0	洗受人	0
2	21	△	13	19	6	8	(減)△增	8
10	168	9	6	16	17	7	朝夕	7
7	114	15	0	8	9	0	拜禮曜日	0
7	90	13	4	8	6	0	席出會禱祈	0
61	636	80	20	50	18	0	徒生校學曜日	0
46	2,363	310	48	233	29	0	金献持維會教	0
125	2,100	156	44	221	265	0	金献ノ他其	0
171	4,463	466	92	454	294	0	額總金献	0

第十一 中會未加入傳道所

新嘉坡	香港	高田	長崎	森	田代	有田	志布志	大川	枕崎	津霸	首里	内間	合計	合計
18	11	12	5	5	4	17	15	13					1,194	142
8	7	8	6	12	0	13	7	7					1,950	189
26	18	20	11	17	0	30	22	20					2,244	327
7	4	5	1	3	0	6	1	0					364	108
33	22	25	12	20	4	36	23	20					2,608	439
11	18	16	6	12	0	16	12	6					1,237	155
12	7	5	1	0	0	2	3	1					180	19
0	0	3	0	0	0	0	0	0					27	3
0	0	10	2	△	2	△	1	2					111	17
11	13	0	12	5	4	4	9	0					692	93
17	0	0	7	7	0	7	8	6					577	70
7	8	0	5	4	0	0	8	0					388	59
28	0	63	66	31	0	15	36	0					3,770	376
2,164	750	108	72	37	11	87	42	16					6,075	680
1,548	144	177	22	96	0	50	49	0					6,985	728
3,712	894	285	94	133	11	137	91	16					13,960	1,408
	計													
	29													
	15													
	44													
	11													
	55													
	29													
	19													
	0													
	0													
	24													
	17													
	15													
	28													
	2,914													
	1,692													
	4,606													

第六 日本基督教會關係教育事業

一五二

(一) 專門學校、神學校

名	稱	主 任 者	位 置	創 立 年 月 日	創 立 以 來 ノ 卒 業 生	大 正 十 四 年 四 月 末 現 在 徒
東 北 學 院		デー、ビー、 シユ、ネーダー	仙臺市南町通	明 治 十 九 年	1	1
同 神 學 部		イー、エチ、ゾーグ	同 市 同 町	同	112	312
同 專 門 部		出 村 悌 三 郎	同 市 東 二 番 町	同	253	271
明 治 學 院		田 川 大 吉 郎	東 京 市 芝 區 白 金 今 里 町	明 治 二 十 年 一 月 廿 二 日	1	1
同 神 學 部		都 留 仙 次	東 京 市 外 濠 橋 町 角 一〇〇	同	309	51
同 高 等 學 部		文 中 山 昌 樹 商 石 橋 近 三	東 京 市 芝 區 白 金 今 里 町	同	323	270
東 京 神 學 社		高 倉 德 太 郎	東 京 市 麴 町 區 飯 田 町 三ノ二七	明 治 三 十 七 年 十 一 月 三 日	102	50
大 阪 神 學 院		ジ、ダブリュー、 フルト	大 阪 市 住 吉 區 住 吉 町 北 島	明 治 三 十 九 年	76	19
神 戶 神 學 校		エス、ビー、フルトン	神 戶 市 葦 合 町 二一 一六ノ四	明 治 四 十 年 九 月	64	34

共立女子神學校

ミスエス、エー
プ、ラ、ツト

横濱市山手町一一
二

明 治 三 十 三 年 九 月

一六三

二五

(二) 中 學 校

名	稱	主 任 者	位 置	創 立 年 月 日	創 立 以 來 ノ 卒 業 生	大 正 十 四 年 四 月 末 現 在 徒
明 治 學 院 中 學 部		水 芦 幾 次 郎	東 京 市 芝 區 白 金 今 里 町	明 治 二 十 年 一 月 廿 二 日	1,324	790
東 北 學 院 中 學 部		五 十 嵐 正	仙 臺 市 東 二 番 町	同	1,087	567
東 山 學 院 中 學 部		デー、シー、ライク	長 崎 市 東 山 手 町 九	同	588	353

(三) 女 學 校

名	稱	主 任 者	位 置	創 立 年 月 日	創 立 以 來 ノ 卒 業 生	大 正 十 四 年 四 月 末 現 在 徒
共 立 女 學 校		ルクラ、デー、 ス	横 濱 市 山 手 二一 二	明 治 四 年 十 一 月	310	120
女 子 學 院		エー、ケイ、ライシャワー 三 谷 民 子	東 京 市 麴 町 區 上 二 番 町 三三	明 治 十 九 年	500	380
北 陸 女 學 校		中 澤 正 七	金 澤 市 柿 木 島	明 治 十 八 年 三 月 二 十 一 日	639	350

一五三

二宮幼稚園	ミセス、エス、ピー、 フル、メ、リン	神戶市
幼稚園	ミセス、ダエ、ダブリ ユー、ハ、ミセル	丸龜市
幼稚園	ミセス、アール、イー マカ、ル、ピン	高知縣須崎町

(五) 研究會並夜學校

名	稱	主	任	者	位	置	創	立	年	月	日	創	立	以	來	大	正	十	四	年	四	月	末	現	在
英語研究會	伊江友子	臺灣高雄州屏東街 二九六	大正十四年三月	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八
編物研究會	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
臺灣語研究會	吳蒼玉	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
指路女子會	山下せう	橫濱市住吉町六ノ 七七教會内	大正十三年二月十二日	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
江東英語夜學校	外村義郎	東京府下大島町 五ノ二六	大正十三年十一月	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七
女子裁縫夜學校	同上	東京市牛込區市ヶ 谷台町八	大正十四年一月七日	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四

第七 日本基督教會關係社會事業

名	稱	主	任	者	位	置	創	立	以	來	收	容	大	正	十	四	年	四	月	現	在	創	立	年	月	日
基督教傳道義會醫院	外村義郎	東京市牛込區市ヶ 谷臺町八	二〇〇、〇〇〇人	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇
南洋醫院施療部	伊江朝貞	臺灣屏東街二九六	每月平均 十五名	大正八年五月	大正八年五月	大正八年五月	大正八年五月	大正八年五月	大正八年五月	大正八年五月	大正八年五月	大正八年五月	大正八年五月	大正八年五月	大正八年五月	大正八年五月	大正八年五月	大正八年五月	大正八年五月	大正八年五月	大正八年五月	大正八年五月	大正八年五月	大正八年五月	大正八年五月	大正八年五月
人事相談所	三浦鐵造	山形縣飽海郡鵜渡 川原村立町	登錄件數 三六五	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九
託兒所	同上	山形縣酒田町今町	二	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九
民衆娛樂會	同上	同上	每月一回 三〇〇	大正十三年三月	大正十三年三月	大正十三年三月	大正十三年三月	大正十三年三月	大正十三年三月	大正十三年三月	大正十三年三月	大正十三年三月	大正十三年三月	大正十三年三月	大正十三年三月	大正十三年三月	大正十三年三月	大正十三年三月	大正十三年三月	大正十三年三月	大正十三年三月	大正十三年三月	大正十三年三月	大正十三年三月	大正十三年三月	大正十三年三月
貧民慰安會	同上	同上	每年一回 一五〇	明治四十二年十月	明治四十二年十月	明治四十二年十月	明治四十二年十月	明治四十二年十月	明治四十二年十月	明治四十二年十月	明治四十二年十月	明治四十二年十月	明治四十二年十月	明治四十二年十月	明治四十二年十月	明治四十二年十月	明治四十二年十月	明治四十二年十月	明治四十二年十月	明治四十二年十月	明治四十二年十月	明治四十二年十月	明治四十二年十月	明治四十二年十月	明治四十二年十月	明治四十二年十月
新宮購買組合	宮賴一	新宮町本町	二三〇	大正十三年九月二日	大正十三年九月二日	大正十三年九月二日	大正十三年九月二日	大正十三年九月二日	大正十三年九月二日	大正十三年九月二日	大正十三年九月二日	大正十三年九月二日	大正十三年九月二日	大正十三年九月二日	大正十三年九月二日	大正十三年九月二日	大正十三年九月二日	大正十三年九月二日	大正十三年九月二日	大正十三年九月二日	大正十三年九月二日	大正十三年九月二日	大正十三年九月二日	大正十三年九月二日	大正十三年九月二日	大正十三年九月二日

第八 日本基督教會關係新聞雜誌

名	稱	主	任	者	位	置	創	立	年	月	日
福音新報	佐波亘	東京市麴町區上二番町四〇	發行回數 週一	一	一	一	一	一	一	一	一

聖書研鑽	榊富安左衛門	月	一	東京市外上目黒五八〇
新生	桑田繁太郎	月	一	大阪市北區常安町三六
海南新報	多田素	月	一	高知市本町八八高知教會内
大	道古角權平	月	一	德島市大道三丁目
樂	園宮内光	月	一	高松市樂地町
まきぶる	高木史郎	年	四	米澤市元龍町三二三
緑のまきば	秋保親晴	月	一	仙臺市南郷治町一一一荒町日本基督教會
復活	伊藤貫一	月	一	和歌山縣串本町串本傳道教會
小	路三浦太郎	月	一	東京市芝區二本榎二ノ一九高輪教會
天	津長井	月	一	天津日本租界明石街天津教會
信	友橋本千二	月	一	京都市上京區松屋町通中立賣下ル聚樂教會
平	和村岸清彦	年	四	小樽市稻穂町西八ノ九小樽教會
基督	者手塚縫藏	月	一	松本市東町二丁目松本教會内信州教報社

さかひの燈	齋藤敏夫	月	一	堺市熊野町東四丁目一八
葡萄樹	上田丈夫	月	一	山梨縣甲府市春日町一五山梨教會青年會
德島福音	宮清八	月	一	德島市西新町一三
レバノン	レバノン會雜誌部			東京市外濠橋町角第一〇二角
行	道小倉周三郎	月	一	和歌山縣新宮町六六五
牧	笛藤本保己	月	一	山口縣山口町西門前三三
教會新報	伊江朝貞	月	一	臺灣屏東街二〇二
生命之水	鈴木高志	月	一	釜山府寶水町一ノ九三
福音之使者	中山國三	月	一	廣島市國泰寺町一一八
神	人門馬清次郎	月	一	仙台市東二番町一三五
會津教壇	丹忠	月	一	若松市榮町三ノ四八
濱之燈	笹倉彌吉	月	一	橫濱市山下町一六七
大洲教會週報	青年會週	週	一	愛媛縣大洲町笹川浩方

大正十年五月一日

桐生教會集會月報

桐生教會月

一 桐生市本町六丁目

一六〇

復活之朝

金井爲一郎

一 東京市牛込區原町一ノ五〇

河

兩國教會青年會

一 東京市日本橋區矢ノ倉町一

大正十四年九月十五日印刷
大正十四年九月十八日發行

編輯者兼

小林

誠

發行所

東京市赤坂區新町四丁目三番地

日本基督教會大會事務所

振替東京六五一六三番

印刷者

東京市京橋區築地一丁目六番地

下石幸也

印刷所

東京市京橋區築地一丁目六番地

大邱印刷合資會社東京出張所

明治學院

東京芝白金

電話高輪(二四三二)總理室
電話四谷(四五〇〇)高等學部
電話四谷(八二〇〇)中學部
電話四谷(二七〇〇)神學部

◆中 學 部

○總ての特典公立中學校に等し
○現在學級數十五學級——生徒數七九〇

◆高 等 學 部

專門學校令に據る

○文藝科 英文學及高等普通學を授く
○商業科 英語の熟達と人格修養とに重きを置き
主として外國貿易に適せしむ
○特 典 商業科卒業生は英語並に商業に關し無試験檢定の特典あり

◆神 學 部

專門學校令に據る

○豫 科 高等學部文藝科三箇年を以て之に當つ
○本 科 三箇年(豫科修業者を入學せしむ)
○別 科 三箇年(中學卒業程度の者を入學せしむ)

▲一覽入用の向は志望學部長宛に二錢切手送附のこと

東北學院

仙臺市東二番町

電話

六三四(中學部)
二二五六(專門學部)
一五〇九(神學部)

◆中學部

○總ての特典公立中學校に等し

○現在學級數十五學級——生徒數五百五十名

◆專門部

專門學校令に據る

○文

科…英文學及高等普通學を授く

○英語師範科

卒業者は中等教員無試験檢定にて免許狀を受く

○商

英語の熟達と人格修養とに重を置き
健實なる實業家の養成に努む

◆神學部

專門學校令に據る

○豫

科…專門部文科三箇年を以て之に當つ

○第一

部…三箇年(豫科修業者を入學せしむ)

○第二

部…三箇年(中學卒業以上の者を入學せしむ)

▲一覽入用の向は志望學部長宛に二錢切手送附のこと

○修業年限

五ヶ年

○入學資格

中學卒業者若くは同程度以上の學力を有する者

神戸神學校

神戸市
熊内橋通り

○新學期

毎年四月上旬

○規則書

入用の向は校長宛申込まるべし

類書圖般一及教宗

新刊圖書目錄發行。
内外を問はず御注文に應
ず。
新らしい古本取扱。
圖書館、學校、團體並に家庭
用書は御望により撰擇し
取揃へます。
東京市内は何方へも無料
配本いたします。

店書社柏香

平俊松三

五三〇一内の堀町鴨巢西京東
内社信大一〇三グンデルビ内の丸前驛京東 所張出
二一三三野長同 〇〇二三三京東替振

共立女子神學校

横濱市山手町
二百九番地

目的 婦人傳道者及日曜學校教師の養成
入學資格 高女卒業若くは同等以上の學力を有す
る年齢十八歳以上の者

牧師の推薦、醫師の證明を要す

修業年限 四箇年

入學期 毎年四月初旬及九月下旬

本校は別に社會專業講習科を設け講習生を募集す

規則書は郵券二錢送附を要す

—著生先樹能崎高—

新刊

水の子物語

四六版約二百頁
函入挿畫數葉
裝幀優美高尚
定價壹圓送料八錢

空想から空想へ、天翔り行く少年少女の心には、一つの指針を與へることが大切です。そして思ひつきり想像の翼を擴げさせ、驚異の眼を見張らせて、自由に行ける所まで行つて見させることが一番好いのです。此の理想によく適つてゐる物語として私は「チャールズ・キングスレー」の名著「ウォーター・ベビー」を推薦致します。私は今回の出版に際し、裏心から願つて止まないことは、誰かが全譯を出して下さつて、廣く日本の大人達に讀まして頂きたい事です、そして原著者が如何に「コードモ愛護」の爲めに熱情を以て叫んでゐるかを知らせて頂きたいのです。私は先づ私の使命としてゐる子供の世界へ、原著者の「コードモ愛護」の熱情と、又彼が愛の贈物として「コードモ」等へ提供してゐる「指針」をを紹介致します。(序文より)

四版

子供に聞かせたいお話

四六版四號活字
裝幀優美
定價壹圓送料六錢

本書は著者が十數年間に亙つて試みられた兒童說教百數十篇より拔萃せる童話、實話、寓話、理科、傳説等より秀優なるものを二十篇を趣味深く簡易に説いたものであります。

○三二七手大話電 店書社籃搖 三町吹金橋本日京東
四〇〇八六・ヘイノモドコ京東替振

新古

基督教書類
其 他 各 種 書 籍



△各種新刊は

迅速御取次仕候

△古本は和洋共

誠實賣買仕候

御用命願上候

前「場留停車電町砂真」郷本市京東

店書原木

六七九五三京東替振

—著生先樹能崎高—

新刊

水の子物語

四六版約二百頁
函入挿畫數葉
裝幀優美高尚
定價壹圓送料八錢

空想から空想へ天翔り行く少年少女の心には、一つの指針を與へることが大切です。そして思ひつきり想像の翼を擴げさせ、驚異の眼を見張らせて、自由に行ける所まで行つて見させることが一番好いのです。此の理想によく適つてゐる物語として私はチャールズ・キングスレーの名著ウォーター・ベビーを推薦致します。私は今回の出版に際し、衷心から願つて止まないことは、誰方が全譯を出して下さつて、廣く日本の大人達に讀まして頂きたい事です、そして原著者が如何にコードモ愛護の爲めに熱情を以て叫んでゐるかを知らせて頂きたいのです。私は先づ私の使命としてゐる子供の世界へ、原著者のコードモ愛護の熱情を、又彼か愛の贈物としてコードモ等へ提供してゐる「指針」を紹介致します。(序文より)

四版

子供に聞かせたいお話

四六版四號活字
裝幀優美
定價壹圓送料六錢

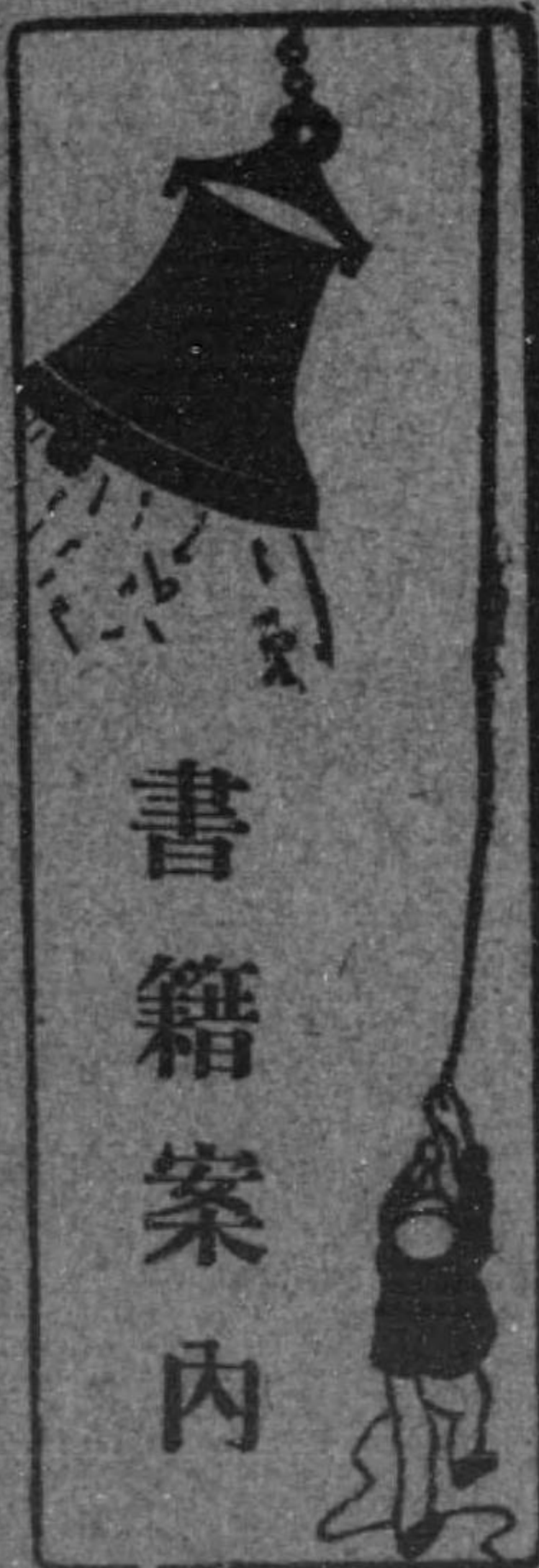
本書は著者が十數年間に亙つて試みられた兒童說教百數十篇より拔萃せる童話、實話、寓話、理科、傳説等より秀優なるものを二十篇を趣味深く簡易に説いたものであります。

○三二七手大話電 店書社籃搖 三町吹金橋本日京東

四〇〇八六・エイノモドコ京東替振

新古

基督教書類
其 他 各 種 書 籍



書籍案内

△各種新刊は

迅速御取次仕候

△古本は和洋共

誠實賣買仕候

御用命願上候

前「場留停車電町砂真」郷本市京東

店書原木

六七九五三京東替振

日曜世界社の事業

基督教文藝 日曜世界
 少年少女雑誌

月刊一部二十錢・半年一圓二十錢・一年二圓四十錢
 (送料不要)

國際共通 級別教案
 日曜學課

期刊一年四回一部六十錢一年分送料共二圓五十錢

國際 日曜學校讀本
 學課

週刊一年五十二回送料共一ケ年三十四錢
 (但し三ヶ月分宛發送)

日曜學校用品製造
 基督教圖書出版

大阪市浪速區貝柄町三三〇電戎九九五番

日曜世界社

東京市芝區神谷町一八

日曜世界社支局

日曜學校用品・基督教圖書目錄定價表
 御申越し次第直ちに進呈いたします



大邱印刷合資會社

本社

朝鮮大邱府上町(道廳前)
 電話長一四六・八七七

出張所

東京市京橋區築地二丁目
 電話銀座座六三七三

弊社製品の特長

◇小切手類

特許安全紙に獨特の印刷加工をなし
 絶對に改竄及變造を防止す

◇洋式帳簿

國產特製改良紙を用ひ頻繁に使用す
 るも綴目の切離する虞なし

右は特許抄造機に依る製作品にして理想的逸品なり
 その賞讃を博せり

325

425